

はじめに

平成25年度は、「第28回国民文化祭・やまなし2013」の開催、そして富士山の世界文化遺産登録と、山梨県の文化にとって記念すべき一年となりました。

山梨県立博物館においても、国民文化祭と連動した企画展を前年度から実施し、本年度も国文祭の記念事業として「水の国やまなし」「山梨の近代人物と鉄道」「山梨の名宝」の3つの企画展を相ついで開催しました。また富士山関係の展示としてシンボル展「北斎の富嶽三十六景」を開催し、世界の宝となった富士山の魅力を北斎の浮世絵を通して紹介いたしました。

国文祭・世界遺産は、開催・登録が終着点ではなく、それぞれ今後の県内の文化振興、世界に向けた情報発信と環境保全のための取り組みが、いっそう求められるのです。博物館では、山梨の歴史・文化および「富士山の自然と信仰・芸術」に関する調査研究や展示を、着実に進めてまいりたいと思います。

調査研究事業では、科学研究費による2課題の研究報告書を刊行するとともに、県の事業として甲州金出土地点（甲州市福寺遺跡）の詳細調査、富士山信仰に関わる河口御師の調査研究についても報告書を刊行し、充実した調査研究とその成果の刊行という、博物館が担う使命のひとつを果たすことができました。

また県民参画事業においては、平成24年度に開館した県立図書館と連携した事業を実施するなど、より県民の皆様に親しんでいただける事業となるよう努めております。

来年はいよいよ開館10周年という節目を迎えることとなりますが、これまで以上に充実した事業・活動を展開し、皆様のご期待に応えられるよう、館員と共に努め、前進していきたいと思っております。今後とも博物館に対する皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

山梨県立博物館

館長 平川 南

目次

はじめに

第Ⅰ編 山梨県立博物館の目指すところ

第1章 県立博物館の評価制度 …… 1

- (1) 県立博物館の使命 …… 1
- (2) 県立博物館の評価制度の策定 …… 1

第2章 通信簿ツアーの実施 …… 5

- (1) 通信簿ツアーの内容 …… 5
- (2) 通信簿ツアーの結果 …… 7

第Ⅱ編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス …… 18

- (1) 運営・ミュージアムサービスの方針 …… 18
- (2) 平成25年度利用者状況一覧 …… 18

第2章 調査・研究 …… 22

- (1) 外部資金による調査・研究 …… 22
- (2) 県費による調査・研究 …… 26
- (3) 個別調査・研究 …… 28
- (4) 調査・研究成果の公表 …… 30
- (5) 富士山世界文化遺産学術調査・研究 …… 32

第3章 資料の収集・保管・活用 …… 33

- (1) 資料収集の方針 …… 33
- (2) 資料の収集 …… 34
- (3) 資料の整理・目録（データ）化 …… 34
- (4) 資料の修復・管理 …… 35
- (5) 資料の活用 …… 37

第4章 展示 …… 38

- (1) 常設展示 …… 38
- (2) 企画展・シンボル展 …… 49
- (3) 展覧会関係行物 …… 65

第5章 企画交流事業 …… 66

- (1) 特別イベント「かいじあむ交流広場」 …… 66
- (2) 生涯学習サービス事業 …… 66
- (3) 博学連携 …… 69
- (4) 博物館同士のネットワーク …… 76
- (5) 広報 …… 77

第6章 施設の整備・管理 …… 78

- (1) 安全快適な施設づくり …… 78
- (2) 施設開放 …… 78

第7章 情報の発信と公開 …… 79

- (1) 資料閲覧室の利用状況 …… 79
- (2) 博物館総合情報システム …… 80
- (3) 博物館ホームページ …… 81

第8章 県民参画 …… 82

- (1) NPOとの連携 …… 82
- (2) 博物館協力会（ボランティア）との連携 …… 83
- (3) かいじあむ みんなの研究 …… 84

第9章 組織・人員 …… 85

- (1) 職員の資質向上 …… 85
- (2) 第三者委員会 …… 85

第10章 外部支援と連携 …… 87

- (1) 外部支援 …… 87
- (2) 外部との連携 …… 87

第Ⅲ編 各種資料

1 組織・職員等名簿 …… 88

2 平成25年度予算額 …… 90

3 年間日誌 …… 90

凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については平成17年度年報を参照されたい。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、全て平成25年度におけるものである。
- ・原則として、各種名簿の順序は五十音順である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て山梨県立博物館を指す。

（表紙）常設展示「城下町の賑わい」のジオラマの人形

第Ⅰ編 山梨県立博物館の目指すところ

第1章 県立博物館の評価制度

(1) 県立博物館の使命

使命1

■山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶ場を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶことは、現在はもとより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の拠り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

使命2

■山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。

こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館は、県内各地の様々な文化施設、史跡・自然をはじめ、県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

使命3

■山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。

山梨県立博物館は、最新の調査・研究成果を展示やイベント内容等に反映させ、絶えず新しい情報の発信に努めます。

また、社会情勢の変化や、利用者の知的関心、学習意欲の高まりに対応して、歴史・文化の視点に立った新たな価値観や未来像を、展示等をとおして考えてもらう場となることを目指します。

特に、山梨県の県立博物館として、農林業・伝統産業・観光や水資源・過疎化等、現在の山梨が抱える様々な課題を乗り越えていくために、県民の皆様とともに未来の山梨のあり方を考え、連携を進めます。

これらをとおして、山梨県立博物館は、その事業・活動等が広く県民の皆様とともに成長して、全国の目標となるような博物館を目指します。

(2) 県立博物館の評価制度の策定

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

そこで、県立博物館が開館した平成17年度から平成19年度にかけて、県民の代表から構成される第三者委員会「みんなで作る博物館協議会」（以下「みんなつく」、第Ⅱ編第9章参照）において、県立博物館の評価制度の検討を行い、運営委員会にも諮った上で、平成19年10月10日（水）に開館5周年目までの評価制度（以下「第1期評価制度」という）を策定、さらに平成24年12月25日（火）に開館6周年目から10周年目までの新たな評価制度（以下「第2期評価制度」という）を策定した。

第2期評価制度では、県立博物館の事業・活動等が現状で停滞することなく、将来に向け、利用者ニーズや調査・研究の進展に応じて成長していくことをめざし、第1期評価制度で掲げた使命1・使命2という県立博物館の使命に使命3を新たに加えた。

また、それぞれの使命に対応して別表「平成23年度から平成27年度までの評価項目」に掲げた評価項目を

設けるとともに、別表「平成23年度から平成27年度までの各活動分野における数値評価の目標値」に掲げた数値目標を定めた。

今後、第2期評価制度にもとづいて、平成23年度から平成27年度までの運営実績の検証を行い、平成28年度に総合評価を行う予定である。

■平成23年度から平成27年度までの評価項目

※評価方法Aは数値評価、評価方法Bは自己診断、評価方法Cは通信簿ツアーをそれぞれ指す。
 ※評価A、B、Cをふまえて、平成28年度に運営委員会において総合評価を実施し、総合評価報告書を刊行する。

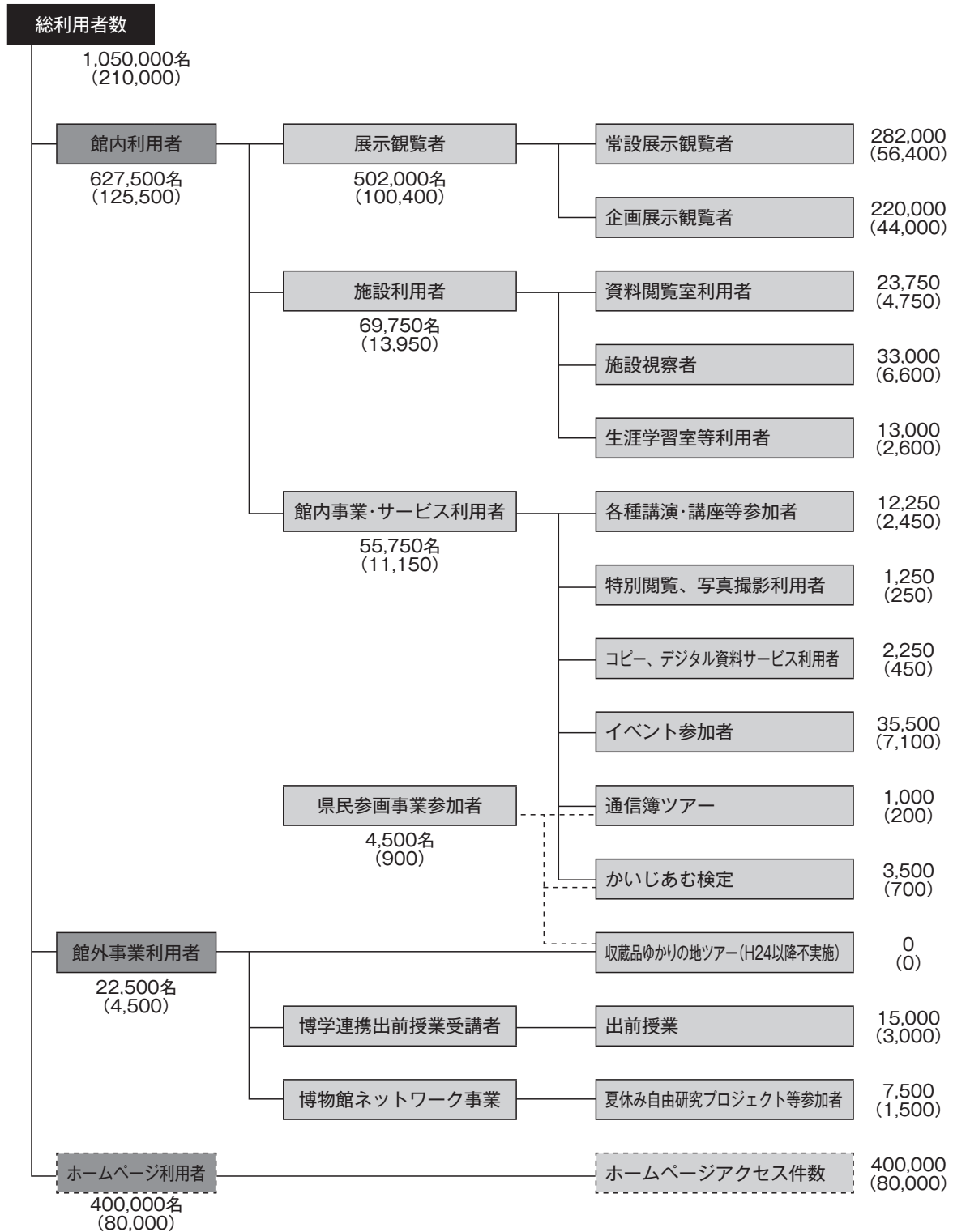
使命1	使命2	使命3
使命1に対応した活動目標	使命2に対応した活動目標	使命3に対応した活動目標
活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目

山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(1) 運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービスについて	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県立博物館が整備されて良かったと思い、思われる博物館づくりを目指して、当館が提供するあらゆるサービスの利用者数の増加に努めます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに1,050,000人の総利用者数を目指します。 山梨県立博物館のような使命を持って整備されたのかを分かりやすく明示し、職員・利用者ともに共通の理解を得られるように努めます。 博物館の使命がどの程度達成できたのかを館内外に明らかにするために、利用者の視点に立った活動目標を設定し、その実現に向けて最善の努力をします。 博物館が提供するあらゆるサービスについて多くの利用者に御満足いただけるよう、絶えず改善し続ける博物館づくりに館に携わる全ての人々が一丸となって努めます。そのために、常に博物館全体の活動について自己点検を行い、また利用者の側からの評価の声を受け入れ、その結果を公開します。 NPOとの協働などとおして、広く県民が参画できる事業活動を推進し、県立博物館及び山梨県への親しみや関心が深められるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査・研究の最新成果を展示や講座等の機会をとおして積極的に公開し、利用者の知的好奇心を満足できるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 学術研究機関としての博物館の魅力を高めるために、外部資金の導入などによって積極的に調査・研究を行い、その成果を論文や研究発表などとおして、広く社会に還元します。また、その実現に向けて県内外の人々との共同調査・研究を積極的に推進します。
(2) 調査・研究について	<ul style="list-style-type: none"> 「山梨の自然と人との関わりの歴史」をテーマとした調査・研究を精力的に実施し続けます。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究紀要や調査報告書類の作成・発行を行っているか？（評価方法B） 館主催講座の開催数（評価方法A） 館職員の館外担当講座数（出前授業も含む）（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館職員による論文執筆や講演・報告などの研究実績が定期的な蓄積されているか？（評価方法A） 科学研究費ほか外部資金の導入などとおして、共同調査・研究が行われているか？（評価方法B） 県民参画による調査・研究が行われているか？（評価方法B）
(3) 資料の収集、保存及び活用について	<ul style="list-style-type: none"> 資料保存機関としての博物館という魅力を高めるために、「山梨の自然と人との関わりの歴史」を明らかにする上で必要な資料の収集・保存に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集及び保管・調査資料の利用体制の充実化をはかります。これら資料の目録化（データベース化）を進め、館内外の人々にとって共に積極的な活用が可能となるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集した資料の活用を図り、展示やホームページなどとおして、新たな資料情報を積極的に公開します。
(4) 展示について	<ul style="list-style-type: none"> 展示をとおして魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」像を積極的に多くの人々に向けて発信し続けます。具体的目標としては、開館6周年目から開館10周年目までに502,000人の利用者数を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の現場との連携を深め、子ども達が楽しみながら山梨の歴史や文化を学ぶことのできる展示を作り続けます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに41,000人の学校利用者数を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズや調査・研究の進展に対応して、企画展の開催や、年間をとおした常設展示の展示替えを行います。
	<ul style="list-style-type: none"> 総利用者数（評価方法A） 館員及び利用者を対象として、博物館使命がどの程度認知されているのかの調査（評価方法C） 利用者の視点に立った目標を設定しているか？（評価方法B） 目標の達成状況については、自己及び他者評価を行い、その結果を公開しているか？（評価方法B・C） 県民参画事業の参加者数（評価方法A） 		<ul style="list-style-type: none"> 新たに展示やホームページに公開した資料点数（評価方法A）
	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集点数（評価方法A） 個々の資料について適切に資料保存・修復措置を行っているか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 全収集点数の内、目録化（データベース化）がなされた資料点数の割合（評価方法A） 資料の総利用件数（一次資料やマイクロフィルムなど二次資料も含んだ閲覧件数、館外資料貸出件数など）（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 常設展示の印象に関わるアンケート調査（評価方法CまたはB） 企画内容や展示手法の満足度に関するアンケート調査（評価方法CまたはB） 常設展示における年間の展示資料点数（どれだけ展示替えを行っているのか？）（評価方法A） 常設展示の来館者数増加に向けた取り組み（評価方法B）
	<ul style="list-style-type: none"> 常設展示の利用者数（評価方法A） 企画展示利用者数（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館への学校利用件数及び参加者数（評価方法A） 展示をわかりやすく解説するワークシートなどを作成しているか？（評価方法CまたはB） 	

山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(5) 企画交流活動について	<ul style="list-style-type: none"> 県内外に対し、「山梨の自然と人との関わりの歴史」像の浸透に資する効果的な企画交流活動の立案・実行に努めます。 年間における企画交流活動数及びその参加者数（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の現場と密接に交流し、博学連携の強化に努めます。 県内各地の文化施設・史跡・自然と密接に連携し、多くの利用者を県内各地へと誘導する企画交流活動の立案・実行に努めます。 博学連携に関わる取り組み（評価方法B） 出前授業等の件数及び参加者数（評価方法A） 貸出用キットの利用件数（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応じて、企画交流活動の内容の見直しや新規の立案に努めます。 大学や図書館、研究団体など、新たな施設・団体との連携の強化に努めます。 企画交流活動に関わる取り組み（評価方法B） 各種連携事業を実施するにあたりどのような工夫を行っているか？（例えば、大学・図書館との連携やミュージアム甲斐ネットワークなど）（評価方法B） 地域インデックスの活用策を企画・実行したか？（評価方法B）
(6) 施設の整備・管理について	<ul style="list-style-type: none"> 山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、人にとっても安全かつ快適な施設・整備の管理に努めます。 魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」を知ることが出来る貴重な資料を永く後世に伝えていくために、資料にとって安全かつ快適な施設・設備の管理に努めます。 地震・火災等の緊急事態に対して、職員の研修をはじめとした対応を行っているのか？（評価方法B） 緊急の傷病者への対応に関して、職員の研修をはじめとした対応を行っているのか？（評価方法B） バリアフリー対策を行っているか？（評価方法B） 資料保存について措置を講じているか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者への施設開放（例えば生涯学習室の貸し出しなど）を積極的に行うことで、県民に親しまれる博物館づくりを推進し、開館6周年目から開館10周年目までに69,750人の利用者数を目指します。 利用者に対する施設開放件数及び利用者数（例えば、生涯学習室の貸し出しなど）（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応じ、未来に向けた新たな博物館のあり方について検討します。 国宝・重要文化財を展示する公開承認施設に指定されているか？（評価方法B） 展示施設の新規整備やその活用が図られているか？（例えば、体験型展示の充実など）（評価方法B）
(7) 情報の発信と公開について	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶ」ことについて支援することに努め、レファランスをとおし開館6周年目から開館10周年目までに3,000人が知的好奇心を満足できるように努めます。 レファランス対応件数（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県立博物館の活動全般について、県内外の人々に対して積極的にPR活動をするように努め、例えばHPをとおした場合は開館6周年目から開館10周年目までに400,000件のアクセス数を目指します。 HPアクセス数（評価方法A） HPの更新や利用者ニーズに応じた内容の検討を行っているのか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを使用した博物館通信の送信や館外におけるPRなど、新たな広報活動の取り組みに努めます。 どのような情報をどのような媒体で情報発信しているのか一覧表化がなされているか？（評価方法B）
(8) 市民参画について	<ul style="list-style-type: none"> NPOやボランティアなどの協力を得た事業活動の実施し、共同事業では開館6周年目から開館10周年目までに4,500人と交流できるように努めます。 NPOや協働会（ボランティア）との協働事業開催件数及び参加者数（評価方法A） 協働会（ボランティア）の登録者数（評価方法A） 協働会（ボランティア）ではどのような活動を実施したのか一覧表化がなされているか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の視点から博物館の評価を行い、その成果を博物館の成長や運営改善に向けて反映するよう努めます。 利用者による博物館評価を実施し、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法BまたはC） 	
(9) 組織・人員について	<ul style="list-style-type: none"> 職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。 第三者機関（運営委員会、みんなでつくる博物館協議会、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。 職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B） 第三者機関（運営委員会、みんなでつくる博物館協議会、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B）
(10) 外部支援と連携について	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部支援体制の導入に努めるとともに、地域連携を図ります。 館の運営のために外部支援体制の導入に努めたか？（評価方法B） 山梨県内外における歴史・民俗系博物館等との連携を図っているか？（評価方法B） 文化財レスキューなど、県立博物館が地域社会を支援する体制の整備に努めたか？（評価方法B） 		

■平成23年度から平成27年度までの各活動分野における数値評価の目標値

○「総利用者数」とは、当館の施設、提供するサービスを利用した者および当館の事業活動に参加した全ての利用者の統計である。



※ 1 数字…平成23年度（開館6周年年度）から平成27年度（開館10周年年度）までの目標値

※ 2 () 数字…平成23年度から平成27年度までの5年間における単年度の新規目標値

第2章 通信簿ツアーの実施

(1) 通信簿ツアーの内容

■平成25年度における通信簿ツアーの特徴

平成25年8月7日（水）及び同18日（日）、11月20日（水）に、県民参画事業（第II編第8章参照）の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者とともに県立博物館を評価する（県立博物館の「通信簿」を付ける）という利用者参加型の評価方法である（本事業の概要は平成18年度県立博物館年報第I編第2章参照）。

平成25年度の特徴は次のとおりである。

- ・毎年度夏期のみ実施してきたが、異なる時期により多くの参加者から意見をうかがうため、「県民の日」である平成25年11月20日（水）に初めて実施した。
- ・質問内容が多すぎるといった参加者からの声を踏まえ、平成24年度に引き続き、はい・いいえ方式の設問を導入して記載の簡素化を図った。
- ・質問では、館内における温湿度管理の理由（C01）など、なぜ県立博物館がそのような対応をしているのかを表記した上で、ご意見を伺った。
- ・あわせて、はい・いいえ方式による回答の理由などを把握するために記述式の設問も残し、多様な利用者からの声をすい上げる仕組みとした。
- ・3日間合計の参加者数は468名であり、例年を上まわる参加者数を得た。この内、解答を寄せていただいたのは341名であった。

■通信簿ツアー評価項目

A 山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりは順調でしたか？

1. 博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？
2. 最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですでしょうか？

B いよいよ館内に入ります。

1. チケット売り場はすぐにわかりましたか？
2. 受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたか？
3. かいじあむ通信「交い」や常設展・企画展のパンフレットは使いやすいですか？
4. 入場料が必要なところと、そうでないところの区別はすぐにわかりましたか？
5. 途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？
6. 館内マップやサイン（案内表示）はわかりやすいですか？
7. エントランス（入り口）にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？（複数回答可）ご意見もあればお聞かせください。（複数回答可）ご意見もあればお聞かせください。
・次回企画展とイベントの案内・県立博物館紹介の新聞スクラップ・エントランス中庭の説明案内・常設展のおすすめ資料・館内の禁止事項の案内・気がつかなかった
8. 広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。

C 館内は快適ですか？

1. 資料保存のために館内の温湿度を一定にしていますが、館内の温度は快適ですか？
2. 暑さ対策、寒さ対策に案はありますか？
3. 小さなお子さんが楽しめるようなところやサービスはありましたか？ ○をつけていただけますか？（複数回答可）ご意見もあればお聞かせください。
・石炭体験（8月7日、18日のみ）・積み木広場・キッズライブラリー・鉄道模型・映像コーナー・ない・その他
4. 障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？
5. 外国人の方に対応したサービスは充分だと思えますか？
6. 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？

D さて、展示室です。（常設展示／鑑賞・学習型展示について）

1. まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。自分のまちが見つかりましたか？
2. 常設展示室内では、2か月ごとに資料の展示替えを行っています。昨年度の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？
3. 常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。

展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありましたか？

4. 展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさはちょうどよかったですか？
 5. 室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。
- D 展示は楽しめましたか？（常設展示／体験型展示について）**
6. 衛星写真「山梨の舞台」の奥にあるにぎやかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12か所の「現場」がありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。
 7. 昨年度から、体験型展示に新しく「かいじあむ寺子屋」がオープンして、体験イベント「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用された方、楽しい体験ができましたか？また、「かいじあむ寺子屋」でこんなことができたなら…というご意見がありましたら、お寄せください。
 8. 体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？
 9. 展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？
- D 展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示について）**
- 「山梨の近代人物と鉄道」展を開催中です。（8月7日、18日）／「山梨の名宝」展を開催中です。（11月20日）
10. 今回の企画展は面白かったですか？よろしければ、どんなところが面白かったのか、感想も聞かせてください。
 11. お子さんでも展示を楽しめるように企画展のワークシートを作成していますが、今回のワークシートはわかりやすかったですか？
 12. 今後、どのような内容の企画展の開催を希望しますか？
- E 調べ物には「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。**
- ◎もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ。
1. 資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。
 2. 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？
 3. 本年度は10回、館内での「古文書相談日」が開かれています。知っていましたか？
 4. もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。
 5. 「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることのできる検索端末（パソコン）を知っていましたか？よろしければ、使い勝手の感想も聞かせてください。
- ◎山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ
6. 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？
 7. 常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？
- F ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？**
1. ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫をしています。いかがでしたか？
 2. レジの対応はいかがでしょう？
 3. 買ったもの、買いたいものはありましたか。品揃えはいかがでしょう？
 4. 現在、県立博物館オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？
 5. 軽食・喫茶コーナー「うらら」の雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段などはいかがでしたか？
 6. 軽食・喫茶コーナー「うらら」は、本年7月20日（土）から同9月1日（日）までの夏季期間中は、休館日を除く毎日営業しておりますが、通常では土・日・祝日のみの営業です。毎日営業していましたら、利用されますか？
 - ※6. 軽食・喫茶コーナー「うらら」は、通常では土・日・祝日のみの営業です。毎日営業していましたら、利用されますか？（11月20日のみ）
 7. オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。
 8. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？
- G 博物館で行われているイベントや普及プログラムに興味がありますか？**
1. 館長トーク・古文書講座・子ども工房などのイベントプログラムに参加されたことがある方にお聞きします。内容はいかがでしたか？ご意見もあればお聞かせください。
 2. こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？
 3. 博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博とNPOで制作した、まちミュージックガイドブックをショップで販売中です）
- H 博物館で働く人たちと交流できましたか？**
1. 館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？
 2. 展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？面白い話を聞けましたか？

3. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。あなたもなってみたいですか？
- I 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？
1. 県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られるなど、役に立ちましたか？
 2. 博物館に来る際に、どのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）
・ホームページ ・かいじあむ通信「交い」 ・ちらし ・新聞 ・テレビ ・その他 ・なし
 3. 山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（<http://www.museum-kai.net/>）、知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？
- J 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。
1. 館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？
 2. 入館料（常設展、企画展）は適当ですか？
 3. 1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や年間パスポート（ミュージアム甲斐in券）を知っていましたか？
 4. 定期観覧券や年間パスポート（ミュージアム甲斐in券）を利用したいと思いますか？
 5. 以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。
 6. 博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？
 7. もう一度、この館に来たいですか？
 8. 通信簿ツアーは、博物館がもっと利用しやすくなるよう、皆様のご意見をうかがうために毎年実施しています。質問項目が多くご迷惑をおかけしますが、通信簿ツアーが他の博物館・美術館にも、もっと広まればよいと思いますか？

(2) 通信簿ツアーの結果

■通信簿ツアー評価結果

回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No.
A	山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりは順調でしたか？		
A01	博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？		
	はい	262	
	いいえ	7	
	ご意見		
	山梨にいて、全然知らなかったです。		95
	駐車場がわかりにくかった。		106
	甲府方面から交差点の曲がり方がわかりにくい。		301
	甲府方面から来たが、とてもわかりやすい看板だった。		325
A02	最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですでしょうか？		
	はい	2	
	いいえ	3	
	利用していない	93	
B	いよいよ館内に入ります。		
B01	チケット売り場はすぐにわかりましたか？		
	はい	246	
	いいえ	13	
	【ご意見】		
	見やすい所にありスムーズにいった。		106
	はっきりとチケット売り場とわかるようにしてほしい。		118
	正面入り口から入らなかったで見逃してしまった。		122
	案内の人が親切だった。		126
	入館してすぐに展示室に向かいそうになるので、矢印を付けたほうがよい。		297

B02	受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたか？		
	よい	196	
	ふつう	66	
	わるい	2	
	【ご意見】		
	すぐに声をかけていただいてよかったです。		90
	やさしく声をかけてくれたり、パンフレットをくれるなど、親切な対応が盛りだくさんだった。		106
	笑顔がない。元気がない。		114
	お客様が少ないのに受付に数人いてびっくりした。		337
B03	かいじあむ通信「交い」や常設展・企画展のパンフレットは使いやすいですか？		
	はい	193	
	いいえ	9	
	【ご意見】		
	テーマがわかりにくい。		125
	パンフレットがどこにあるか、ちょっとわかりにくい。		130
B04	入場料が必要などところ、そうでないところの区別はすぐにわかりましたか？		
	はい	178	
	いいえ	65	
	【ご意見】		
	常設展の場所がわかりづらい。		123
	入館料を払わないと入れないと思っていた。		256
	売店に行って受付を通りすぎて来たが、それでもよいのか質問した。		337
B05	途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？		
	はい	95	
	いいえ	166	
	【ご意見】		
	自分が気にしていれば、すぐわかったのかもしれませんが。		92
	聞いてみました。		95
	チケット購入時に、一言伝えてもらえるとうれしいです。		98
	受付での説明があれば親切です。		123
	もぎりのところで言ってくれた。		125
	チケットに再入場OKと記入してあればわかると思う。		130
B06	館内マップやサイン（案内表示）はわかりやすいですか？		
	はい	217	
	いいえ	26	
	【ご意見】		
	案内の文字が細かい。		274
	トイレなど使用する場所の英語表示が少ないと思う。		297
	トイレの案内に戸惑った。		337
B07	エントランス（入り口）にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？（複数回答可）ご意見もあればお聞かせください。		
	次回企画展とイベントの案内	101	
	館内の禁止事項の案内	38	
	県立博物館紹介の新聞スクラップ	25	
	エントランス中庭（石舞台）の説明案内	36	
	常設展のおすすめ資料	47	

	気がつかなかった。	67	
	【ご意見】		
	ごちゃごちゃしている。掲示が離れていてわかりにくい。		126
	カメラで撮影できない場所の案内に気づかない。		329
B08	広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。		
	【ご意見】		
	駅弁フェア		89
	持ってきたおにぎりなど、ちょっとした食事ができればありがたい。		113
	知識人の、展示に関連した短い話が聞けたら楽しいかもしれない。		123
	スタンプは子供が喜びます。		124
	本が面白い。		125
	ロビーコンサートはいかがでしょうか。		287
	子供が自由に遊べるスペースが欲しい。		301
C	館内は快適ですか？		
C01	資料保存のために館内の温湿度を一定にしていますが、館内の温度は快適ですか？		
	はい	245	
	いいえ	23	
	【ご意見】		
	めっちゃ寒い。		107
	スペースごとに温度調節できたらよい。		335
	ゆっくり観ていると寒くなる。		337
C02	暑さ対策、寒さ対策に案はありますか？		
	【ご意見】		
	ブランケット(毛布、ひざかけ)の無料貸し出し		89
	夏はうちわ		98
	外の気温と5度以上の差をつけない。		107
C03	小さなお子さんが楽しめそうなところやサービスはありましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）ご意見もあればお聞かせください。		
	石炭体験（第1回・第2回のみ）	44	
	積み木広場	59	
	キッズライブラリー	41	
	鉄道模型	120	
	映像コーナー	45	
	ない	4	
	その他	10	
	【ご意見】		
	青春寺子屋		90
	特設のブラレールで遊ぶコーナーは、電池がなく動かないものもある。ボランティアの方が、ブラレールの楽しさや面白さを教えるイベントなどがあると、より子供も楽しめそうな気がする。下に敷いているマットは隙間が空いているとつまずき、けがをする可能性もある。無造作にレールと電車だけ置いてあり、片づけの箱を増やしたり、スペースを広げた方がよい。		98
	場所がわからず通り過ぎてしまった所があった。		110
	写真撮影や折り紙で遊べるコーナーが良かった。		276
	常設展の力で対応できる。		290
C04	障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？		
	はい	105	

	いいえ	9	
	【ご意見】		
	できるだけあちこちに椅子を多く置いてほしい。		329
C05	外国人の方に対応したサービスは充分だと思いますか？		
	はい	54	
	いいえ	34	
C06	館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？		
	はい	162	
	いいえ	40	
	【ご意見】		
	もうすこしほしい。		108
	授乳室とおむつを替えられる所が1つずつしかなく、待っていることが多かった。		110
	椅子に背中を当てられるものがあればよかった。		130
	ホールのソファで休憩してよいのか、飲み物を飲んでいいのかよくわからない。		337
D	さて、展示室です。（常設展示／鑑賞・学習型展示について）		
D01	まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。自分のまちが見つかりましたか？		
	はい	145	
	いいえ	48	
	【ご意見】		
	どこ？		91
	甲府駅や各駅の案内が欲しい。		126
	富士山とその周辺がよくわかった。		314
	山梨の地形がわかりやすかった。		325
D02	常設展示室内では、2か月ごとに資料の展示替えを行っています。昨年度の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？		
	はい	82	
	いいえ	96	
	【ご意見】		
	パネルを地図にして変わった場所を表した方が分かりやすい。入り口で地図を配った方がいい。		125
	～コーナーへ！という指示は地図が分かりにくい。パンフレットをおいてほしい。		126
D03	常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありませんでしたか？		
	はい	48	
	いいえ	129	
	【ご意見】		
	順路があるから逆にわかりにくい。		126
D04	展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさはちょうどよかったですか？		
	はい	157	
	いいえ	25	
	【ご意見】		
	照明が暗めなのでもう少し大きい方が見やすいと思います。		90
	暗いのに、ガラスに黒の文字はよくない。		125
D05	室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。		
	はい	158	

	いいえ	20	
	【ご意見】		
	わかりにくい。		126
	子供がタッチパネルにすぐに触りたがり、そればかりに気をとられてしまいがちなので困惑している。		318
D	展示は楽しめましたか？（常設展示／体験型展示について）		
D06	衛星写真「山梨の舞台」の奥にあるにぎやかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12か所の「現場」がありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。		
	はい	150	
	いいえ	11	
	【ご意見】		
	記憶の現場 ゲームがとても楽しかったのですが、小さい子には難しく、7分では時間が足りなかったです。小さい子向けに簡単なゲームにしてもよいのではないかと。		122
	ゲームが使いにくい。		126
	最近利用していないが、時間がある時には利用してみると面白い。		290
D07	昨年度から、体験型展示に新しく「かいじあむ寺子屋」がオープンして、体験イベント「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用された方、楽しい体験ができましたか？また、「かいじあむ寺子屋」でこんなことができれば…というご意見がありましたら、お寄せください。		
	はい	63	
	いいえ	7	
	利用していない	81	
D08	体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？		
	はい	72	
	いいえ	85	
D09	展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？		
	はい	117	
	いいえ	7	
	【ご意見】		
	解説グッズはあるが、どのようなことを説明しているのかわからなかった(図だけなど)。		125
	版木だけ展示していたが、何が書かれているのかを知りたい。		332
	常設展でも仏像関係には材質を紹介してもらいたい。		333
D	展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示について） 【第1回・第2回】 「山梨の近代人物と鉄道」展を開催中です。 【第3回】 「山梨の名宝」展を開催中です。		
D10	今回の企画展は面白かったですか？よろしければ、どんなところが面白かったのか、感想も聞かせてください。		
	第1回・第2回		
	はい	123	
	いいえ	3	
	第3回		
	はい	60	
	いいえ	0	
	【ご意見】		
	鉄道好きの子供が楽しく遊べました。		92
	身近な中央線の昔の様子が紹介され、興味深かった。		113
	ジオラマ、リニア体験、よかったですと思います。もう少し体験できるものが多いと、さらに子どもは楽しいかと思えます。		115
	クイズができて、電車のことを楽しく学ぶことができた。		116

	物足りない。500円の割に展示物が少ない。		121
	歴史(人物史)を学べたり、子供も楽しめるジオラマもありよかった。		123
	ふだん観ることのできない文化財が一堂に集まっていたよかった。		288
	県内にたくさんの重要文化財があることに驚いた。		297
	展示品を間近に観れてとてもよかった。		337
D11	お子さんでも展示を楽しめるように企画展のワークシートを作成していますが、今回のワークシートはわかりやすかったですか？		
	第1回・第2回		
	はい	80	
	いいえ	11	
	第3回		
	はい	32	
	いいえ	3	
	【ご意見】		
	知らなかった。		98
	案内の方がいたのでわかりました。		99
	まだ子供が小さいのでわからなかった。		306
	子供が楽しめた。家に持ち帰れるのもとてもよかった。		318
D12	今後、どのような内容の企画展の開催を希望しますか？		
	ご意見		
	鉄道展Ⅱ		89
	子どもが見ながら楽しく体験もできる企画がたくさんあれば、また来たいと思います。女の子向けのものもお願いします。		92
	遺跡、恐竜、水や自然(山梨の)、富士山の歴史または神秘		115
	県内の水力発電所の歴史、県内の山岳信仰について、富士川水運の歴史		123
	アンコールワットのような展示		126
	名宝展の続きをしてほしい。		297
	絵画展		324
	昭和展は賑わっていた。みんなが楽しめる企画展をお願いします。		337
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。(もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ)		
E01	資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。		
	はい	38	
	いいえ	87	
E02	古文書の即日閲覧(申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス)など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？		
	はい	29	
	いいえ	32	
	【ご意見】		
	見ませんでした。		123
E03	本年度は10回、館内での「古文書相談日」が開かれています。知っていましたか？		
	はい	14	
	いいえ	78	
	【ご意見】		
	今度利用してみたいです。		123
E04	もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。		
	はい	33	

	いいえ	43	
	【ご意見】		
	旧家を取り壊しの際、旧家の家主から額(漢文)をもらいました。中身を知りたい。		123
E05	「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることのできる検索端末（パソコン）を知っていましたか？よろしければ、使い勝手の感想も聞かせてください。		
	はい	14	
	いいえ	65	
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。（山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ）		
E06	博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？		
	はい	51	
	いいえ	15	
	【ご意見】		
	見ていない。		123
E07	常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？		
	はい	58	
	いいえ	11	
F	ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？		
F01	ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫をしていますが、いかがでしたか？		
	よい	42	
	ふつう	53	
	わるい	2	
	利用しなかった	38	
F02	レジの対応はいかがでしょう？		
	よい	26	
	ふつう	37	
	わるい	1	
	利用しなかった	49	
F03	買ったもの、買いたいものはありましたか。品揃えはいかがでしょう？		
	よい	29	
	ふつう	58	
	わるい	1	
	【ご意見】		
	笹子もちがあるとよかった。		125
F04	現在、県立博物館オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？		
	【ご意見】		
	鉄道グッズの充実		89
	ハンカチ、タオル		116
	山梨県のご当地グッズを全て集めてほしい。		301
F05	軽食・喫茶コーナー「うらら」の雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段などはいかがでしたか？		
	よい	16	
	ふつう	26	
	わるい	0	
	利用しなかった	62	

F06	【第1回・第2回】 軽食・喫茶コーナー「うらら」は、本年7月20日（土）から同9月1日（日）までの夏季期間中は、休館日を除く毎日営業しておりますが、通常では土・日・祝日のみの営業です。毎日営業してましたら、利用されますか？		
	【第3回】 軽食・喫茶コーナー「うらら」は、通常では土・日・祝日のみの営業です。毎日営業してましたら、利用されますか？		
	第1回・第2回		
	はい	31	
	いいえ	23	
	第3回		
	はい	6	
	いいえ	15	
F07	オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみたい方はご感想を。		
	はい	35	
	いいえ	51	
	【ご意見】		
	季節・天気によっては利用したい。		113
	暑かったのでパラソルがほしい。		116
	天候がよくとても良かった。もう少し椅子があるとよいですね。		325
F08	建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？		
	はい	28	
	いいえ	61	
G	博物館で行われているイベントや普及プログラムに興味がありますか？		
G01	館長トーク・古文書講座・子ども工房などのイベントプログラムに参加されたことがある方にお聞きします。内容はいかがでしたか？ご意見もあればお聞かせください。		
	よい	15	
	ふつう	19	
	わるい	0	
	参加していない	54	
G02	こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？		
	【ご意見】		
	子供たちが行きたい、子供たちにやってほしいと思うものがあれば、親たちは喜んで博物館に連れて行くと思う。子供だけを預かって教えるみたいなのは、親には大人気だと思います。	289	
G03	博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博とNPOで制作した、まちミューガイドブックをショップで販売中です。）		
	はい	46	
	いいえ	25	
H	博物館で働く人たちと交流できましたか？		
H01	館内スタッフの案内や誘導はいかがですか？		
	よい	73	
	ふつう	62	
	わるい	2	
	【ご意見】		
	よく勉強していて、タイムスリップしているようで、話が楽しくできた。	109	
	接客を見ると対応はあまりよくない。ただそこにいるだけという印象。	114	
	各職域にいる監視員(男女)は無愛想で、いかにもアルバイトの感じがする。	130	

H02	展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞けましたか？		
	よい	49	
	ふつう	52	
	わるい	1	
	【ご意見】		
	子どもが興味を持つように話して下さりよかったです。		90
	聞いていない。		126
	各パネルの前において、パネルを読んでいる時など、近くに寄って笑顔で説明してくれれば身近に感じる。		130
H03	館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。あなたもなってみたいですか？		
	はい	32	
	いいえ	60	
	【ご意見】		
	知識がないため。		123
I	博物館に行く前に、情報は入手できましたか？		
I01	県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？		
	はい	65	
	いいえ	9	
	見ていない	56	
I02	博物館に来る際にどのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）		
	ホームページ	40	
	かいじあむ通信「交い」	11	
	ちらし	37	
	新聞	30	
	テレビ	18	
	その他（ ）	11	
	なし	26	
I03	山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（ http://www.museum-kai.net/ ）、知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？		
	はい	21	
	いいえ	5	
	見ていない	85	
	【ご意見】		
	少し見にくかった。		113
J	最後に、これもぜひお聞きしたいところです。		
J01	館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？		
	よい	79	
	ふつう	70	
	わるい	6	
	【ご意見】		
	少し覚えにくい。		116
	意味があいまいです。		309
J02	入館料（常設展、企画展）は適当ですか？		
	高い	25	
	ふつう	104	
	安い	5	

	【ご意見】		
	展示毎の料金はあまりよくない。500円で全て楽しめる方がよい。		114
	県民割引などであるとよい。		122
J03	1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や年間パスポート（ミュージアム甲斐in券）を知っていましたか？		
	はい	42	
	いいえ	108	
J04	定期観覧券や年間パスポート（ミュージアム甲斐in券）を利用したいと思いますか？		
	はい	29	
	いいえ	101	
J05	以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。		
	よい	38	
	ふつう	52	
	わるい	2	
	【ご意見】		
	少しだけ良くなったと思う。		313
	親しみやすくなりました。		337
J06	博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？		
	はい	105	
	いいえ	18	
J07	もう一度、この館に来たいですか？		
	はい	132	
	いいえ	6	
	【ご意見】		
	魅力的な展示があれば。		115
	一度見たので忘れたころに来たい。		116
	今度のもっとゆっくと観たいです。今回は1時間しかいられず残念でした。		276
	観たい企画展があれば来る。		297
J08	通信簿ツアーは、博物館がもっと利用しやすくなるよう、皆様のご意見をうかがうために毎年実施しています。質問項目が多くご迷惑をおかけしますが、通信簿ツアーが他の博物館・美術館にも、もっと広まればよいと思いますか？		
	はい	9	
	いいえ	0	
	【ご意見】		
	工夫がなされている。飽きがなかった。		119
	アンケートの項目が多すぎる。もう少し対話形式とすることをしたらどうか。		273
	その他意見		
	今回の鉄道展、大いに期待して来たが思ったより感じるものがない。楽しめるものがなく、ただ物を展示しているだけ。新幹線物語でも電車が動いている3D映像があれば大人も喜ぶ。「プラレールで遊ぼう」コーナーは、もっと広く大きく遊べるようにしてほしい。リニアモーターカーのコーナーは昼休みで動いていなかったが、折角来たのだから係員が交代で勤務して子どものために動かしてほしい。		130
	館内に子供が利用できるアトラクションや体験があるとよい。スタッフが多い。		301
	映像鑑賞のコーナーでは、デジタル化の時代なので、各自が操作できる選択があったほうがよいのではないかな。		309
	とても素敵な建物・お庭・展示でした。また来たいと思います。		318
	他の公共施設と比べて人寄せが少ないように感じます。大勢の人に来てもらえないのは、何か物足りなく魅力に欠けているのではないのでしょうか。人の集まる日に自動販売機の飲食にしても売り切れ・品不足とはちょっとあきれます。		335

※「評価者No.」は通信簿の提出者それぞれに機械的に付与した番号であり、同一番号は同一人物の回答によるものであることを示す。

※「ご意見」欄には、主な意見のみを抜粋して掲載した。

■ 評価結果の分析

通信簿ツアー（以下「ツアー」）は、平成18年度に実施して以来、平成25年度（以下「本年度」）で8回目を迎えた。本事業の実施によって寄せられた利用者からの声に対しては、その都度、可能な限り対応をし、より親しみやすい博物館づくりを継続的に実施してきた。

この結果、「受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたでしょうか？」（B02）という設問に対して、「よい」回答率が74.2%、「ふつう」回答率が25.0%を占めた。依然として高い評価を得ているが、平成24年度には「よい」回答率が83.8%、「ふつう」回答率が16.2%を占めており、「よい」回答率が低下している傾向がある。

また、「館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？」（H01）という設問でも、「よい」回答率が53.3%、「ふつう」回答率が45.3%となり、平成24年度の「よい」回答率が70.9%、「ふつう」回答率が29.1%という結果に対して、低下の傾向が顕著となっている。

このように、スタッフによる利用者への接遇は、いまだ高い評価を得ている一方、スタッフの入替がサービスの維持・向上に悪影響を及ぼさないよう、今後注意して対応する必要がある。

次に、展示については、「室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？」（D05）という設問では、「はい」回答率が88.8%、「いいえ」回答率が11.2%となったほか、「今回の企画展は面白かったですか？」（D10）という設問でも、第1回・第2回調査で「はい」回答率が98.4%、「いいえ」回答率が1.6%、また第3回調査では「はい」回答率が100.0%となった。平成24年度には、D05で「はい」回答率が91.8%、「いいえ」回答率が8.2%、D10で「はい」回答率が97.5%、「いいえ」回答率が2.5%であったことから、これまでと同様に常設展・企画展とも内容や工夫に対する評価が高かった状況がうかがわれる。

この一方、「途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？」（B05）という設問では、「はい」回答率が36.4%、「いいえ」回答率が63.6%であって、平成24年度の「はい」回答率が38.5%、「いいえ」回答率が61.5%と同様の結果であった。

また、常設展で2か月ごとにテーマを変えながら実施している展示替えについて、より多くの来館者に気づいていただけるよう、平成25年度から、展示室の入口に加えてエントランスロビーにも展示替えを案内するパネルを設置したが、「常設展示室内では、2か月ごとに資料の展示替えを行っています。昨年度の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？」（D02）という設問に対して、「はい」回答率が46.1%、「いいえ」回答率が53.9%となり、平成24年度の「はい」回答率が47.4%、「いいえ」回答率が52.6%とほとんど変化がない結果を得た。

さらに、資料閲覧室の利用について、「資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？」（E01）という設問では、「はい」回答率が30.4%、「いいえ」回答率が69.6%となり、平成24年度の「はい」回答率48.6%、「いいえ」回答率51.4%と比較して、さらに低下している。このことは、「古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？」（E02）という設問の「はい」回答率47.5%、「いいえ」回答率52.5%、また「本年度は10回、館内での「古文書相談日」が開かれています。知っていましたか？」（E03）という設問の「はい」回答率15.2%、「いいえ」回答率84.8%という結果と同じく、いずれも「いいえ」回答率が「はい」回答率を上回った。

これらの状況は、「チケット購入時に、一言伝えてもらえるとうれしいです。」（B05）、「ごちゃごちゃしている。掲示が離れていてわかりにくい。」（B07）などの回答から、県立博物館からの案内の表示場所がわかりにくかったこと、説明が不十分であったことに起因すると考えられる。今回の結果をふまえて、これまで以上に利用者の視線に立った適切なインフォメーションをしていかなければならないと考える。

以上、平成25年度の通信簿ツアーでは、これまで蓄積されてきた県立博物館の長所や改善点に関する課題がより鮮明となった。今後、平成27年度に迎える開館10周年度に向けて、これらの課題に対応する必要がある。

第Ⅱ編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス

(1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査研究」（第Ⅱ編）第2章参照 以下、章のみ）
- ・「資料の収集・保管・活用」（第3章）
- ・「展示」（第4章）
- ・「企画・交流事業、県民参画」（第5章・第8章）

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。19頁に掲げる「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連し合いながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること（第6章）、あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図ること（第7章）が必要である。

また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時に、ネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく（第9章・第10章）。

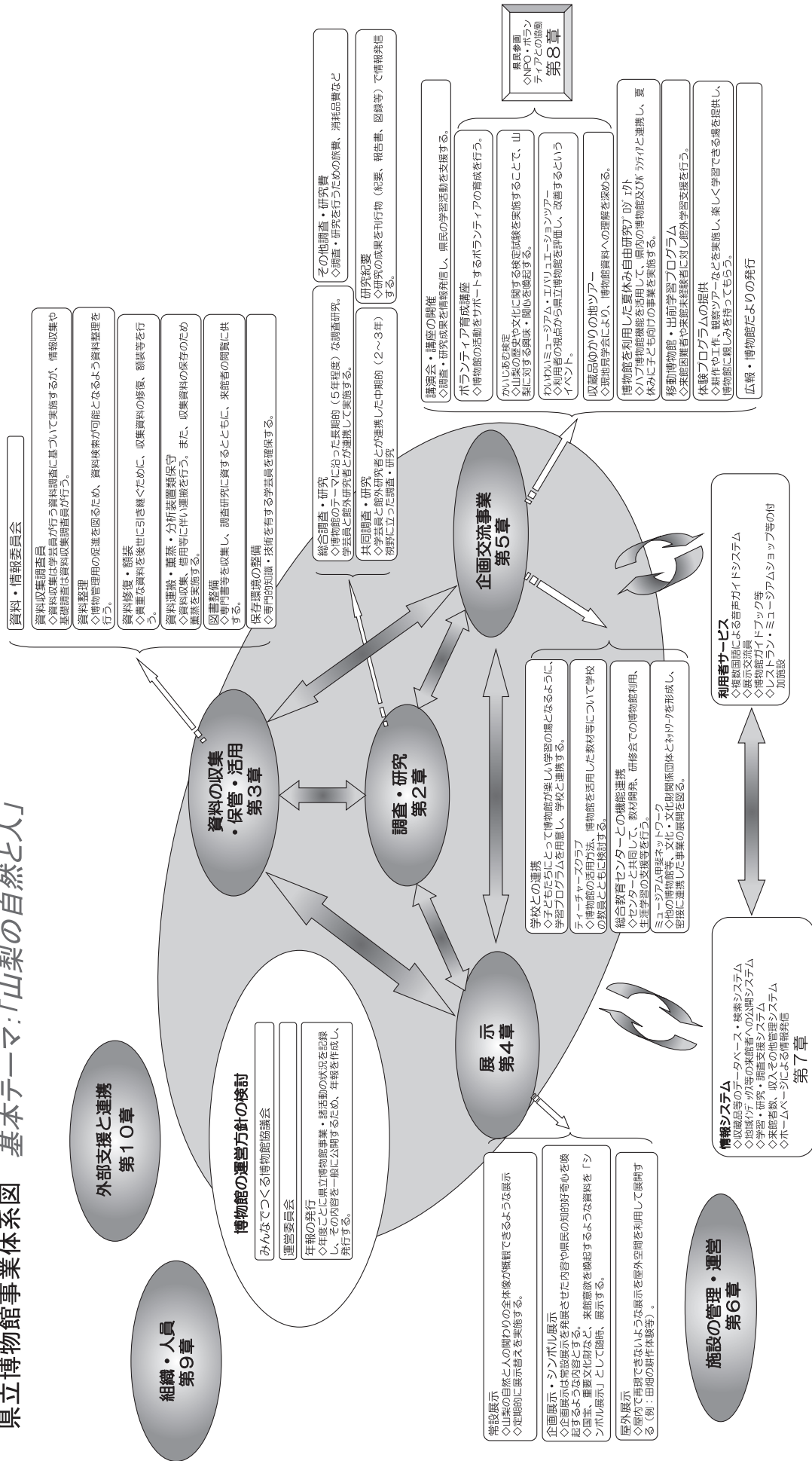
(2) 平成25年度利用者状況一覧

県立博物館の事業・活動は、調査・研究、資料の収集・保管・活用・展示、企画交流事業、施設の整備・管理、情報の発信と公開、県民参画など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

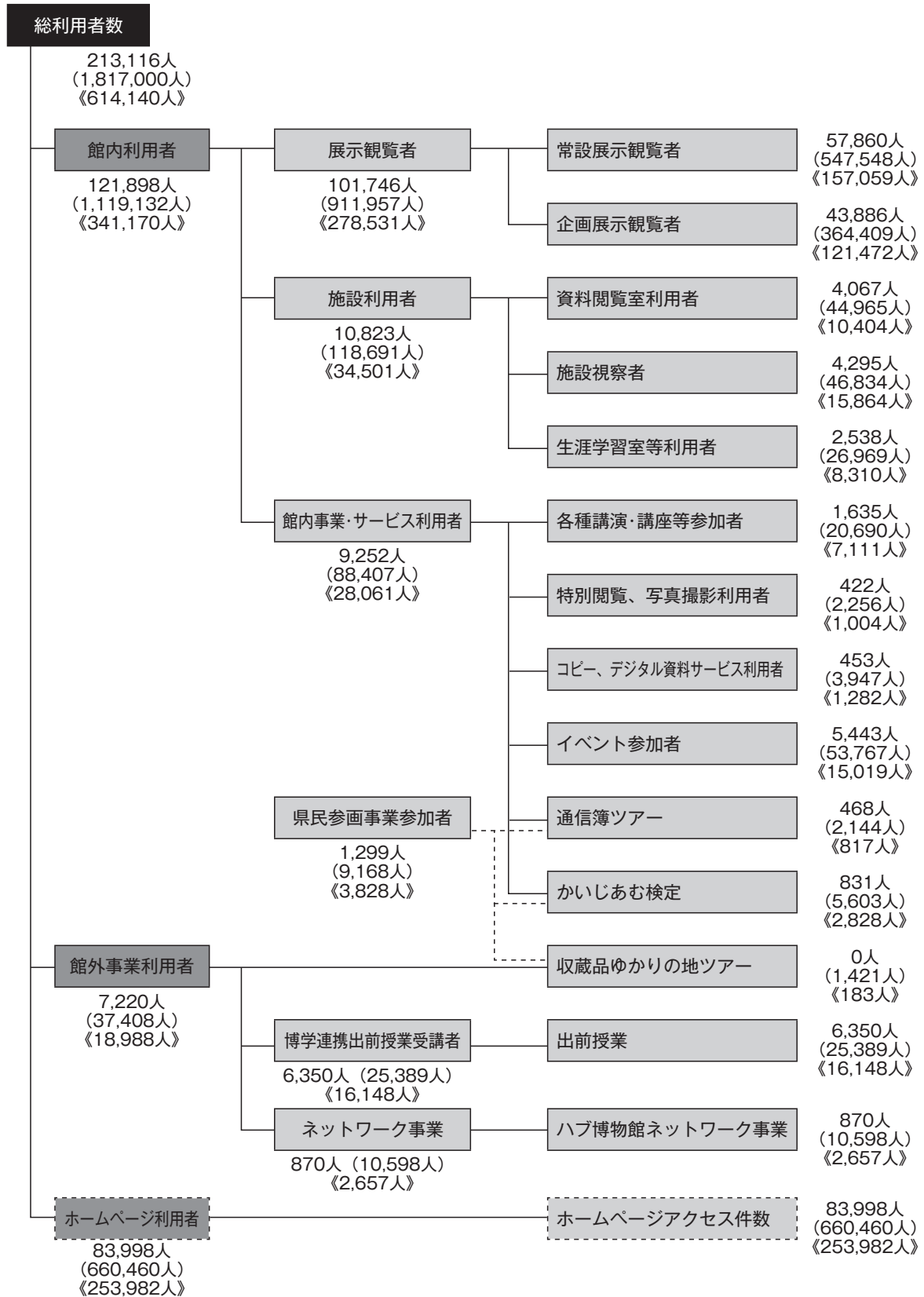
これらミュージアムサービスについて、数値実績として表現できるものについて一覧化したものが20～21頁の「平成25年度 県立博物館利用者状況」である。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していく。

- ※1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- ※2 一覧に示す利用者数は平成25年度分（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の実績である。なお（ ）内の数値は平成17年度分から平成25年度分まで、また、《 》の数値は平成23年度分から平成25年度までの実績数値を加えたものである。
- ※3 県民参画事業のうち、「交流拠点形成事業」及び「わいわいミュージアム」は平成18年度で終了した。代わりに平成19年度からは、「かいじあむ検定」、「通信簿ツアー」が新規に実施された（第8章）。このため、平成17～25年度までの実績を示すにあたり、「かいじあむ検定」の場合は平成18年度までの「交流拠点形成事業」の実績を、「通信簿ツアー」の場合は平成18年度までの「わいわいミュージアム」の実績でそれぞれ集計した。また、「収藏品ゆかりの地ツアー」は、平成23年度で終了した。

県立博物館事業体系図 基本テーマ:「山梨の自然と人」



■平成25年度 県立博物館利用者状況



※ () 内の数値は平成17年度分から平成25年度分までの実績数値の総計である。

※ 《 》 内の数値は平成23年度分から平成25年度分までの実績数値の総計である。

第2章 調査・研究

平成25年度における県立博物館の調査・研究では、外部資金による調査研究として、日本学術振興会 科学研究費助成事業（科研費）による調査研究は、前年度より4件が継続し、それぞれ最終年度を迎えた（「日韓内陸地域における雑穀農耕の起源に関する科学的研究〔基盤研究B〕」、「前近代の治水・利水技術と環境変化に関する研究〔若手研究B〕」、「遺跡出土馬の系統分類のための基礎的研究〔同〕」、「日本古代・中世期における中部内陸地域の交通・交易体系に関する基礎的研究〔同〕」）。また、「木食行における作仏の宗教的意義に関する研究－木喰行道・白道の初期作例を通じて〔若手研究B〕」（平成25～27年度）が新たに採択された。

平成24年度に実施した甲州市福寺遺跡の発掘調査について整理作業を実施し、『福寺遺跡 埋蔵金貨及び渡来銭貨発見地点の発掘調査報告書』（山梨県立博物館 調査・研究報告8）として刊行した。県費による調査・研究としては、総合調査・研究「日韓内陸地域における生業の歴史に関する研究」（平成26年度まで継続）のほか、共同調査・研究「山岳信仰の歴史民俗的研究」（平成25年度終了）、「等々力万福寺と初期浄土真宗の布教について」（平成26年度まで継続）、「大和郡山市所在 柳沢家関係史料に関する研究」（平成26年度まで継続）の4件を実施した。このうち平成25年度終了の「山岳信仰の歴史民俗的研究」の成果は、報告書『河口集落の歴史民俗的研究』（山梨県立博物館調査・研究報告7）として刊行された。

博物館職員がそれぞれの専門分野に応じておこなった個別調査・研究の結果については『山梨県立博物館研究紀要』第8集のほか、関連する学術雑誌などに発表された。

加えて、山梨県が実施している山梨県富士山総合学術調査について、平成24年度から事務局を博物館に移して第2次調査（平成27年度まで継続）を行い、多くの博物館職員が調査員として参加した。

(1) 外部資金による調査・研究

① 科学研究費補助金 基盤研究（B）「日韓内陸地域における雑穀農耕起源に関する科学的研究」（課題番号 22320166）

■調査・研究の目的

近年、大型植物遺存体、微化石、植物圧痕などの自然科学的研究法が発達し、縄文時代の利用植物の中に、栽培植物と考えられる存在も注目されるようになってきた。本研究では、日本の内陸地域における縄文～弥生時代の植物化石の調査を行い、雑穀類の出現と展開を明らかにするとともに、石器などの道具類の分析を通じて、その収穫形態や農耕様式を明らかにする。また、日本国外からの渡来した雑穀農耕を明らかにするため、韓国内の先史～青銅器時代の植物化石、石器等の分析研究を行う。

以上の調査を踏まえて、改めて両地域の内陸地域における雑穀農耕の起源とその農耕形態を解明することを目的とする。

■研究体制

研究代表者 中山誠二（学芸課長）

研究分担者 外山秀一（皇學館大学）、庄田慎矢（独立行政法人奈良文化財研究所）

研究協力者 秋山圭子（釈迦堂遺跡博物館）、網倉邦生（日本考古学協会）、植月 学（山梨県立博物館）、関間俊明（韮崎市教育委員会）、佐野 隆（北杜市教育委員会）、長沢宏昌（日本考古学協会）、中沢道彦（日本考古学協会）、原田 幹（愛知県教育委員会）、保坂太一（南アルプス市教育委員会）、金 炳燮（慶南発展研究院）、兪 炳珠（ウリ文化財研究院）、金 姓旭（蔚山発展研究院）

■活動記録

平成25年5月26日（日） 日本考古学協会第79回総会で、中山らが「日韓におけるアワ・キビ農耕の開始に関する調査研究」を口頭発表（於：駒沢大学）

平成25年8月25日（日） 日韓共同研究シンポジウム「日韓における穀物栽培の開始と農耕技術」を山梨

県立博物館で開催し、下記の発表を行った。

- 庄田慎矢「紀元前6千年紀から紀元前後までの日韓編年対比」
- 中山誠二「日韓における栽培植物と穀物農耕の開始」
- 兪 炳瑑「韓国新石器時代から青銅器時代の集落の特徴と変化」
- 金 炳燮「韓国新石器時代から青銅器時代の農耕関連遺跡」
- 外山秀一「プラント・オパール胎土分析からみた雑穀の利用」
- 原田 幹「韓国新石器時代から青銅器時代の石器使用痕分析」
- 佐野 隆「日本内陸地域の縄文集落と生業構造」
- 濱田竜彦・中沢道彦「西日本－突帯文土器分布圏－における栽培植物の出現」

平成26年3月26日（水） 調査・研究報告書『日韓における穀物農耕の起源』を刊行

■活動内容と成果

過去4年間において行った各分野における分析の整理を行った。また、これまでの調査成果を公開するため、山梨県立博物館において日韓共同研究シンポジウム「日韓における穀物栽培の開始と農耕技術」を実施し、日韓における栽培植物や農耕の起源に関する討論を行った。

さらに、本調査研究に関する内容を『日韓における穀物農耕の起源』にまとめ、報告書の刊行を行った。

② 科学研究費補助金 若手研究B「前近代の治水・利水技術と環境変化に関する研究」

(課題番号 22720259)

■調査・研究の目的

中世から近世にかけての甲府盆地周辺地域を対象にして、人々が自らの生活基盤を守るために育んだ治水・利水技術の変遷・伝播や、それらを駆使して行われた開発行為によって引き起こされた自然環境の変化の状況などを考察し、前近代社会における自然と人間との関係を探る。

■研究体制

研究代表者 西川広平（学芸員）

研究協力者 関岡俊明（韮崎市教育委員会）、数野雅彦（山梨郷土研究会）、斎藤秀樹（南アルプス市教育委員会）、田中大輔（同）、畑 大介（帝京大学文化財研究所）、平山 優（山梨県立中央高等学校）、保阪太一（南アルプス市教育委員会）、村石眞澄（山梨県立考古博物館）、山下孝司（韮崎市教育委員会）

■活動記録

- ・平成25年8月7日（水） 資料調査（愛知県図書館）
- ・平成25年8月9日（金） 資料調査（岐阜県 海津市立歴史民俗資料館）
- ・平成25年9月4日（水） 研究会（南アルプス市ふるさと文化伝承館）
- ・平成25年10月1日（火） 資料調査（埼玉県立浦和図書館）
- ・平成25年10月10日（木） 資料調査（東京都立中央図書館）
- ・平成25年10月11日（金） 資料調査（千葉県立中央図書館）
- ・平成25年11月15日（金） 研究会（南アルプス市ふるさと文化伝承館）
- ・平成26年1月27日（月） 資料調査（東京都立中央図書館）
- ・平成26年1月28日（火） 資料調査（埼玉県立浦和図書館）
- ・平成26年2月4日（火） 資料調査（神奈川県立図書館）
- ・平成26年2月14日（金） 資料調査（県立長野図書館）
- ・平成26年2月16日（日） 資料調査（愛知県図書館）
- ・平成26年3月24日（月） 調査・研究報告書『甲斐の治水・利水技術と環境の変化』を刊行

■活動内容と成果

本研究は、平成19年度から21年度まで行った当館共同調査・研究「甲斐の治水・利水と景観の変化」の成

果をふまえて、平成22年度から開始した研究である。平成25年度は、資料データを整理するとともに下記にあげた資料調査を行った。

- ① 関東地方の各都県及び長野県・愛知県内で刊行された自治体史から、治水・利水に関する古文書を確認し、甲斐国で育まれた治水・利水技術の広がりについて調査した。
- ② これまで調査してきた甲斐国検地帳の内容をデータ化し、耕地の状況や地名の分布などについて調査した。

本年度は、これらの調査をふまえて4年間にわたる研究成果を紹介する調査・研究報告書を刊行した。今後はこの成果をふまえて、全国的な治水・利水技術の状況について研究したい。

③ 科学研究費助成基金助成金 若手研究（B）「遺跡出土馬遺体の系統分類のための基礎的研究」
(課題番号23701018)

■調査・研究の目的

馬は人・物・情報の伝達手段として、または軍事力の面で、日本史に大きな影響を及ぼしてきた。わが国在来馬の系統については、遺伝学的研究の進展により、モンゴル在来馬と近縁で、単一由来であるとの説が有力である。しかし、在来馬が具体的にどのような歴史をたどってきたのかについて、現生の馬から知り得ることは限られる。各時代にどのような系統の馬が飼育され、それが生産管理や流通形態とどう関連していたのかについては、遺跡から出土する馬遺体をもっとも直接的な証拠となり得る。本研究では上記課題について、出土馬歯の形状解析を軸に解明することを目的とする。

■研究体制

研究代表者 植月 学 (学芸員)

研究協力者 津村宏臣 (同志社大学文化情報学部)、覚張隆史 (東京大学総合博物館)

■活動記録

- ・平成25年5月22日(水)～平成26年3月30日(日)
神奈川県、長野県、モンゴル国内遺跡出土馬歯のトレース作業。過去3年間に収集した馬歯画像の編集・整理作業。
- ・平成25年7月6日(土)～7日(日)
成果発表「臼歯形状からみた日韓古代馬の関係」(高麗大学孫峻鎬氏ほかとの共同発表)。日本文化財科学会第30回大会(於弘前大学)
- ・平成25年9月22日(日)～29日(日)
モンゴル国立大学考古学・人類学科、モンゴル国立博物館：モンゴル国内先史～中世遺跡出土馬遺体の調査
- ・平成25年10月22日(火)～12月20日(金)
佐久市南近津Ⅲ遺跡・大豆田遺跡、および青森県平川市大光寺新城跡出土の馬遺体の整理作業
- ・平成25年11月16日(土)～17日(日)
成果発表「モンゴル国内遺跡出土馬の体高」(モンゴル国立博物館Tuvshinjargal Tumulbaatar氏ほかとの共同発表)。第1回日本動物考古学会大会(於慶應義塾大学)

■活動内容と成果

最終年度である今年度は、より広く東アジアの馬の中における日本在来馬の位置づけを解明するために、共通祖先とされるモンゴル国内の遺跡出土馬の調査をおこなった。先史(青銅器時代)から中世(モンゴル帝国時代)までの幅広い時期の標本を調査することにより、蒙古馬の体高や馬歯形状の変異を把握するための基礎的データを得ることができた。モンゴルの調査成果に加え、これまでに撮影・収集した東日本の遺跡出土馬歯画像のトレースと編集、整理作業を完了した。現在このデータベースをもとに馬歯形状の比較を進めており、モンゴル、韓国、日本国内遺跡出土馬の関係について学会発表や学会誌への投稿を予定している。

また、整理作業員の協力を得て、佐久市南近津Ⅲ遺跡、大豆田遺跡、青森県平川市大光寺新城跡出土の多量の古代～中世馬遺体の基礎的整理作業を進めた。いずれも馬歯のみでなく、頭骨や四肢骨の遺存良好な遺跡であり、古代から中世の馬の体格や利用法について多くの情報が得られている。その成果についても報告書や論文にまとめる計画である。

成果については日韓古代馬の馬歯形状の比較について日本文化財科学会で、モンゴル国内遺跡出土馬の体格について日本動物考古学会において発表した。論文・報告では長野県大室古墳出土の馬歯の調査成果について同遺跡報告書で報告し、馬歯に残された銜（ハミ）跡の分析について当館紀要に発表した。

④ 科学研究費助成基金助成金 若手研究B「日本古代・中世における中部内陸地域の交通・交易体系に関する基礎的研究」

(課題番号23720338)

■調査・研究の目的

多様な自然環境に規定された甲斐・信濃などの中部内陸地域における交通・交易の状況とその特徴について、文献史学・考古学など多角的な考察をとおして、交通・交易を通じて形成された他地域との文化交流のあり方や、日本列島の交通体系における当該地域の位置づけを明らかにすることを目的とする。

■研究体制

研究代表者 海老沼真治（学芸員）

研究協力者 平川 南（山梨県立博物館）、大隅清陽（山梨大学）、杉本悠樹（富士河口湖町教育委員会）、田尾誠敏（東海大学）、鷹野義朗（甲府市教育委員会）、原 京子（法政大学）、原田和彦（長野市立博物館）、平野 修（帝京大学文化財研究所）、室伏 徹（釈迦堂遺跡博物館）

■活動記録

・平成25年4月20日（土）

茨城県土浦市 上高津貝塚ふるさと歴史の広場（考古資料館）古代交通関係展示の視察

・平成25年6月30日（日）

古代交通研究会 第17回大会「古代の運河」参加（学習院大学）

・平成25年7月24日（水）

成果発表「文献史料にみる甲斐と信濃」古代甲斐国官衙研究会第100回研究例会（於帝京大学文化財研究所）

・平成25年7月25日（木）

成果発表「御坂路－鎌倉往還」やまなし再発見講座（於山梨県生涯学習推進センター）

・平成25年8月24日（土）

成果発表「文献史料にみる甲斐と信濃」第11回飯田市地域史研究集会「古代の交通と地方社会－イナ・シナノとその周辺－」（於飯田信用金庫本店大会議室）

・平成25年9月27日（金）～10月30日（水）

交通関係文献史料のデータ入力作業（山梨県立博物館）

・平成25年11月17日（日）～18日（月）

福井県 美浜町歴史フォーラム「古代若狭の交通、往来、地域社会」への参加、福井県敦賀市・滋賀県高島市 古代北陸道関係史跡等の現地調査

・平成26年2月8日（土）～9日（日）

岐阜県関ヶ原町・垂井町・恵那市・中津川市 古代東山道関係史跡等の現地調査

・平成26年2月23日（日）～24日（月）

第40回古代城柵官衙遺跡検討会 研究集会「古代出羽国の城柵と交通－駅家・道路・交流－」参加（山形国際ホテル）、福島県郡山市 古代・中世交通関係史跡等の現地調査

・平成26年3月27日（木）

長野県軽井沢町・群馬県安中市 東山道碓氷峠周辺史跡等の現地調査。

■活動内容と成果

本研究は、平成17年度から19年度まで行った当館共同調査・研究「古代の交易と道」の成果をふまえて、平成23年度から継続している研究である。昨年度に引き続き、甲斐国・信濃国を中心に資料調査・現地調査を行った。

また、本研究に関する研究会に参加し、情報収集を行うとともに、東山道の古道関連史跡等の踏査、関連する展示見学を実施したほか、比較事例として北陸道・陸奥の古道関連遺跡等の現地調査を実施した。このほかに通年で、古代・中世の中部内陸地域交通に関わる文献史料の収集を継続した。

本年度は最終年度であるため、研究のとりまとめ、成果の公開も進め、上記の研究報告・講座を行うとともに、収集した文献史料の一部を『山梨県立博物館研究紀要』第8集に掲載したほか、飯田市地域史研究集会での発表内容を、『飯田市歴史研究所年報』12（2014年8月刊行予定）に投稿した。

⑤ 科学研究費助成基金助成金 若手研究B「木食行における作仏の宗教的意義に関する研究—木喰行道・白道の初期作例を通じて」

（課題番号 25770054）

■調査・研究の目的

甲斐出身の江戸時代後期の木食僧、行道とその弟子白道は、木食行を修しながら全国を廻国し、各地に仏像を彫り残したことで知られる、作仏聖である。彼らの活動から、木食行における作仏が有する宗教的意義について考察する。

■研究体制

研究代表者 近藤暁子（学芸員）

■活動記録

・平成26年3月25日（火） 資料（四国堂関連）等視察（日本民藝館）

■活動内容と成果

木喰行道が県内で造立した四国堂およびその安置諸像は、彼の生涯の作仏において画期をなす重要な作例として位置づけることができ、その作仏活動について考察するにおいては重要な位置を占める。そのため、今年度は四国堂の制作事情に関する再検討と、四国堂に関わる未見資料の確認を行った。今後はこの成果を踏まえて、行道および白道の初期作例に視野を広げながら、研究を進める。

(2) 県費による調査・研究

① 総合調査・研究「日韓内陸地域における生業の歴史に関する研究」

■調査・研究の目的

日韓内陸地域における植物栽培と家畜利用の歴史を比較検討することによって、内陸地域の生業の特質とその成立過程を比較文化的観点から明らかにする。科研調査に加え、動物の使用に関する視点を付加することによって、生業全体の復元をはかる。

■県立博物館担当職員

中山誠二（学芸課長）、植月 学（学芸員）

■共同調査・研究員

関間俊明（葦崎市教育委員会）、佐野 隆（北杜市教育委員会）、庄田慎矢（独立行政法人奈良文化財研究所）、外山秀一（皇學館大学）、長沢宏昌（日本考古学協会）、中沢道彦（日本考古学協会）、原田 幹（愛知県教育委員会）、保坂太一（南アルプス市教育委員会）、網倉邦生（日本考古学協会）、野代幸和（山梨県立考古博物館）

■活動記録

- ・平成25年6月8日（土）～9日（日） 研究会の開催
- ・山梨県内の動物遺存体、植物遺存体の基礎的研究

■活動内容と成果

前年調査を行った山梨県上暮地新屋敷遺跡の縄文時代早期中葉におけるツルマメ、ウルシ属圧痕、長野県大師遺跡における縄文時代前期後葉のシソ属圧痕などの事例、韓国内の松竹里遺跡、鳳溪里遺跡、安山大阜北洞遺跡の圧痕分析およびプラント・オパール土器胎土分析の成果、山梨県内および韓国内の新石器時代の石器使用痕分析、内陸地域におけるマメ類と堅果類利用の関係に関する研究成果などを報告した。

また、新石器時代の生業関連の現状と課題について議論し、科研費の研究の基礎とした。

②共同調査・研究「万福寺と山梨の浄土真宗」

■県立博物館担当職員

近藤暁子（学芸員）、海老沼真治（学芸員）

■共同調査・研究員

井澤英理子（山梨県立美術館 学芸員）

■活動記録

- ・平成25年11月28日（木）
- 県立博物館において万福寺本法然上人絵伝の状態等の視察。

■活動内容と成果

本年度は、企画展「山梨の名宝」に万福寺本法然上人絵伝を出品し、図録解説にて本資料に対するこれまでの解釈に関する概略を示した。

③共同調査・研究「大和郡山市所在 柳沢家関係史料に関する研究」

■県立博物館担当職員

西川広平（学芸員）、近藤暁子（学芸員）

■活動記録

- ・平成26年3月7日（金） 永慶寺（奈良県大和郡山市）において、同寺所蔵の「龍華山御建立以来諸色書留一」に記された仏具等を調査
- ・平成26年3月8日（土） 奈良県立図書情報館（奈良市）において、寺社明細帳等を調査

■活動内容と成果

宝永元年（1704）から享保9年（1724）にかけての20年間、甲斐国を柳沢吉保・吉里父子が統治した時代に、甲府城と城下町の整備や検地の実施、新甲金の製造、用水路の築造など、近世甲斐国の基盤がつくられた。ところが、柳沢家の甲府から大和郡山への転封にともなう資料の移動などにより、当時の状況は必ずしも明らかとなっていない。

本研究では、平成23年度に県立博物館で開催した企画展「柳沢吉保と甲府城」に際して発見された、柳沢家の旧家臣に伝わった豊田家史料や吉保の菩提寺永慶寺所蔵の資料などの調査をとおして、柳沢時代の甲斐国の様子を考察することを目的とする。

平成25年度は、同24年度に調査した永慶寺所蔵の「龍華山御建立以来諸色書留一」について、同書に記された甲府における同寺創建時の什物を対象に、現存の有無を確認する調査を実施した。また、奈良県立図書情報館に収蔵されている寺社明細帳を調査し、それに吉保・吉里関係の資料が記載されているかを確認した。

今後は、平成26年度に予定している調査・研究報告書の刊行に向けて、考察を深めていくことを考える。

④ 共同調査・研究「山岳信仰の歴史民俗的研究」

■県立博物館担当職員

丸尾依子（学芸員）、堀内 眞（学芸職員）

■共同調査・研究員

福田アジオ（山梨県文化財保護審議会委員）、浅野久枝（同志社女子大学嘱託講師）、紙谷威廣（東京立正短期大学元教授）、高橋晶子（山梨郷土研究会員）、古屋和久（身延町立大河内小学校教諭）、松田香代子（愛知大学非常勤講師）、菊池邦彦（東京都立産業技術高等専門学校教授）、堀内 亨（山梨県立ひばりが丘高等学校教諭）

■活動記録

- ・平成25年7月30日（火）
調査・研究報告書の刊行計画について検討。報告書の表題を「河口集落の歴史民俗的研究」とし、歴史分野（第1編）と民俗誌（第2編）に、特論（第3編）を加えて整理する。
- ・平成26年1月14日（火）～1月17日（金）
報告書の編集作業。原稿調整と掲載写真の整理、口絵写真の撮影をする。
- ・平成26年3月24日（月）
調査・研究報告書7『河口集落の歴史民俗的研究』を刊行。

■活動内容と成果

平成25年度は、6月に富士山が世界文化遺産に登録され、その構成資産に掲げられる河口浅間神社を中核とする河口集落についての発展的な調査がなされた。それらを取りまとめたものとして、調査・研究報告書を刊行した。

⑤ 「甲州金出土地点の詳細確認調査」

■調査・研究の目的

本調査は昭和46年に金貨と渡来銭貨が発見された甲州市福寺遺跡の出土地点を再調査することを目的とした学術調査である。発掘調査は平成24年11月15日から12月15日にかけて実施した。調査には県費の他、国庫補助（平成24年度～25年度国宝重要文化財等整備費補助金）を受けた。なお、昭和46年に出土した金貨及び渡来銭貨については平成23年に当館で購入している。

■県立博物館担当職員

中山誠二（学芸課長）、高野玄明（企画交流課長）、植月 学（学芸員）

■活動記録

- ・平成25年6月1日～平成26年2月27日
遺物・遺構の整理作業の実施

■活動内容と成果

平成25年度は、出土遺物の図化や遺構図面の整理など報告書刊行に向けた作業をおこなった。成果については、『福寺遺跡 埋蔵金貨及び渡来銭貨発見地点の発掘調査報告書』（山梨県立博物館 調査・研究報告8）』として刊行した。

(3) 個別調査・研究

① 職員の調査・研究成果

番号	調査・研究テーマ	概要	担当職員
1	武田氏系図に関する研究	中世、近世につくられた甲斐源氏や武田氏に関する系図資料の成立状況を探るとともに、彼らの由緒がどのように形成され、受け継がれてきたのかを考察する。	西川広平
2	富士信仰の造形に関する研究－彫像を中心として－	富士山信仰の造形について、主として彫像を中心に考察する。	近藤暁子

② 調査・研究活動

年 月 日	内 容	担当職員
平成25年5月6日(日)	千葉県小松寺 薬師如来像調査(千葉市美術館、東北大学調査)	近藤暁子
平成25年5月10日(金)	甲府市日枝神社 大般若経経櫃調査(県教育委員会調査)	海老沼真治
平成25年6月14日(金)	米沢市上杉博物館 武田氏関係の古文書調査	海老沼真治
平成25年7月4日(木)	笛吹市慈雲寺 普賢菩薩像調査(笛吹市教育委員会調査)	近藤暁子
平成25年8月7日(水)	愛知県図書館 愛知県内治水関係資料の調査	西川広平
平成25年8月9日(金)	岐阜県 津市立歴史民俗資料館 治水関係の古文書調査	西川広平
平成25年8月21日(水)	南アルプス市宝珠寺、笛吹市瑜伽寺、中央市永源寺仏像調査	近藤暁子
平成25年9月22日(日)～29日(日)	モンゴル国内遺跡出土馬調査	植月 学
平成25年10月1日(火)	埼玉県立浦和図書館 埼玉県内治水関係資料の調査	西川広平
平成25年10月3日(木)	本栖湖底遺跡調査	植月 学
平成25年10月10日(木)	東京都立中央図書館 東京都内治水関係資料の調査	西川広平
平成25年10月11日(金)	千葉県立中央図書館 千葉県内治水関係資料の調査	西川広平
平成25年11月1日(金)	甲府市華光院 資料調査(甲府市教育委員会調査)	中山誠二、近藤暁子、 海老沼真治
平成25年11月18日(月)	甲府市個人宅 資料調査	近藤暁子
平成25年11月18日(月)	福井県敦賀市・滋賀県高島市 古代交通関係史跡の現地調査	海老沼真治
平成25年11月26日(火)	企画展「山梨の名宝」 出品資料調査	近藤暁子
平成26年1月15日(水)～16日(木)	奈良県内出土馬具調査	植月 学
平成26年1月25日(日)～26日(月)	山口県二尊院ほか 資料調査(山口県立美術館ほか、東北大学調査)	近藤暁子
平成26年1月27日(月)	東京都立中央図書館 群馬県・栃木県内治水関係資料の調査	西川広平
平成26年1月28日(火)	埼玉県立浦和図書館 埼玉県内治水関係資料の調査	西川広平
平成26年2月4日(火)	神奈川県立図書館 神奈川県内治水関係資料の調査	西川広平
平成26年2月8日(土)～9日	岐阜県関ヶ原町・垂井町・恵那市・中津川市 古代交通関係史跡の現地調査	海老沼真治
平成26年2月10日(月)～11日(火)	高知県竹林寺 諸像調査(東北大学調査)	近藤暁子
平成26年2月14日(金)	県立長野図書館 長野県内治水関係資料の調査	西川広平
平成26年2月16日(日)	愛知県図書館 愛知県内治水関係資料の調査	西川広平
平成26年2月24日(月)	福島県郡山市 古代交通関係史跡の現地調査	海老沼真治
平成26年3月7日(金)	奈良県永慶寺 甲府時代の什物の調査	西川広平、近藤暁子
平成26年3月8日(土)	奈良県立図書情報館 寺社明細帳の調査	西川広平、近藤暁子
平成26年3月12日(水)	笛吹市天神社 天神像調査(笛吹市教育委員会調査)	近藤暁子
平成26年3月25日(火)	東京都日本民藝館 資料調査	近藤暁子
平成26年3月27日(木)	長野県軽井沢町・群馬県安中市 古代交通関係史跡の現地調査	海老沼真治

(4) 調査・研究成果の公表

① 博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第Ⅱ編第5章(1)を参照

② 博物館職員の調査・研究実績

■論文・調査報告など

氏名	名称	掲載誌名	学会(発行者)	発行年月日
植月 学	甲斐周辺における馬埋葬と頭骨埋納	『山梨県考古学会誌』第22号	山梨県考古学会	平成25年5月25日
植月 学	動物遺体	『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ』	テイケイトレード株式会社	平成25年5月31日
植月 学	貝塚から見えてきた縄文時代の生業と社会 -中里貝塚と周辺遺跡群の調査-	『第31回特別展 食いしんぼうの縄文人 いざとなったら縄文食～日本の食と心の源流～』展示図録	山梨県立考古博物館	平成25年9月24日
植月 学	清水尻Ⅱ遺跡から出土した馬歯	『清水尻Ⅰ遺跡・清水尻Ⅱ遺跡--一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ-』 秋田県文化財報告書第488集	秋田県埋蔵文化財センター	平成25年9月30日
植月 学	遺跡出土馬にみられる銜痕について	『山梨県立博物館研究紀要』第8集	山梨県立博物館	平成26年3月24日
海老沼真治	『山本菅助の実像を探る』		戎光祥出版	平成25年6月1日
海老沼真治	文献史料にみる甲斐と信濃	『第11回飯田市地域史研究集会 古代の交通と地方社会-イナ・シナノとその周辺-』資料集	飯田市歴史研究所	平成25年8月24日
海老沼真治	古代・中世甲斐国交通関係文献史料(補遺)	『山梨県立博物館研究紀要』第8集	山梨県立博物館	平成26年3月24日
近藤暁子	大善寺 日光・月光菩薩像	『平成23～25年度科学研究費補助金(基盤研究(A))生身と霊験-宗教的意味を踏まえた仏像の基礎的調査研究(課題番号23242010)研究成果報告書』	東北大学大学院文学研究科 東洋・日本美術史研究室	平成26年3月31日
中山誠二	日韓における栽培植物と穀物農耕の開始	『日韓における穀物栽培の開始と農耕技術』	山梨県立博物館・ 山梨県考古学会	平成25年8月25日
中山誠二	韓国新石器時代の穀物圧痕の評価	『白門考古論集』Ⅲ	中央大学考古学研究会	平成25年12月7日
中山誠二・ 保阪太一	鋳物師屋遺跡の植物圧痕分析	『山梨県立博物館研究紀要』第8集	山梨県立博物館	平成26年3月24日
中山誠二・ 藤森英二	大師遺跡の植物圧痕の同定	『長野県考古学会誌』147・148号	長野県考古学会	平成26年3月30日
中山誠二・ 今福利恵	美通遺跡の植物圧痕の同定	『山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター研究紀要』第30号	山梨県立考古博物館・ 山梨県埋蔵文化財センター	平成26年3月30日
中山誠二	『福寺遺跡 埋蔵金貨及び渡来銭貨発見地点の発掘調査報告書』	山梨県立博物館 調査・研究報告8	山梨県立博物館	平成26年3月30日
中山誠二他	科研費報告書『日韓内陸地域における雑穀農耕起源に関する科学的研究』	山梨県立博物館 調査・研究報告9	山梨県立博物館	平成26年3月26日
西川広平	山梨県地方史研究の動向	『信濃』65-6	信濃史学会	平成25年6月
西川広平	甲斐国湖水伝説の成立について	『山梨県立博物館研究紀要』第8集	山梨県立博物館	平成26年3月24日
西川広平	科研費報告書 『甲斐の治水・利水技術と環境変化』	山梨県立博物館 調査・研究報告10	山梨県立博物館	平成26年3月24日
西川広平	甲斐源氏-東国に成立したもう一つの政権-	『中世の人物』第2巻	清文堂出版	平成26年3月
丸尾依子	一之瀬高橋の春駒	『民俗芸能』93	日本民俗芸能刊行委員会	平成25年11月23日
丸尾依子	大木家の富士信仰関連資料	『山梨県立博物館 調査・研究報告7 河口集落の歴史民俗的研究』	山梨県立博物館	平成26年3月24日

■講演・シンポジウムなど

氏名	名称	シンポジウム名・学会名	場所	開催年月日
植月 学、孫峻鎬、津村宏臣、丸山真史、Gundem Can Yumni、庄田慎矢、菊地大樹、本郷一美	臼歯形状からみた日韓古代馬の関係	日本文化財科学会第30回大会	弘前大学	平成25年7月6日(土)
植月 学	貝塚から見えてきた 縄文時代の生業と社会 -中里貝塚と周辺遺跡群の調査-	第31回特別展「食いしんぼうの縄文人 いざとなったら縄文食～日本の食と心の源流～」特別講演会	風土記の丘研修センター	平成25年10月27日(日)
植月 学、Tuvshinjargal Tumurbaatar、Bayarsaikhan Jamsranjav、Erdene Myagmar	モンゴル国内遺跡出土馬の体高	日本動物考古学会第1回大会	慶応義塾大学	平成25年11月6日(水)
植月 学	馬の考古学	企画展「馬の文化史」講演会	釈迦堂遺跡博物館	平成25年3月1日(土)

海老沼真治	武田氏と保科氏の動向	第35回高遠町桜大学第1講座	高遠町総合福祉センター	平成25年4月29日 (月・祝)
海老沼真治	文献史料にみる甲斐と信濃	古代甲斐国官衙研究会第100回研究例会	帝京大学文化財研究所	平成25年7月24日 (水)
海老沼真治	御坂路-鎌倉往還	やまなし再発見講座	山梨県生涯学習推進センター	平成25年7月25日 (木)
海老沼真治	文献史料にみる甲斐と信濃	第11回飯田市地域史研究集会	飯田信用金庫本店	平成25年8月24日 (土)
海老沼真治	武田氏の駿河侵攻における一駒-身延文庫「科註拾塵抄」奥書の紹介-	武田氏研究会例会	帝京大学文化財研究所	平成26年1月18日 (土)
海老沼真治	山本勘助の真下家文書と武田信玄	東三河戦国史愛好会 歴史講座100回記念特別講座	ライフポート豊橋	平成26年2月7日 (金)
海老沼真治	『甲陽軍鑑』にみえる金の使用	山梨郷土研究会・武田氏研究会例会	山梨県立図書館	平成26年3月29日 (土)
近藤暁子	やまなし再発見講座「富士山を語る(富士山信仰にまつわる彫刻について)」	山梨県生涯学習推進センター	山梨県生涯学習推進センター	平成25年6月6日 (木)
近藤暁子	夏のステージジュエルカムイベント 世界遺産と富士山パネル展&富士賛美・絵画展における記念講演会	国民文化祭課	県立図書館	平成25年6月28日 (金)
中山誠二	山梨県の博物館ネットワークと災害対策	日本美術史学会	仙台市博物館	平成25年4月21日 (日)
中山誠二	日韓におけるアワ・キビ農耕の開始に関する調査研究	日本考古学協会総会	駒沢大学	平成25年5月26日 (日)
中山誠二	日韓における栽培植物と穀物農耕の開始	日韓共同研究シンポジウム「日韓における穀物栽培の開始と農耕技術」	山梨県立博物館	平成25年8月25日 (日)
中山誠二	ハヶ岳の縄文農耕	北杜市教育委員会	小淵沢生涯学習センター	平成25年9月29日 (日)
中山誠二	縄文時代のマメ科植物の利用と形態変化	日本植生史学会	高知大学	平成25年12月1日 (日)
中山誠二	山梨県立博物館の活動と総合評価	北海道開拓記念館	北海道開拓記念館	平成26年1月19日 (日)
中山誠二	歴史博物館を楽しむ	山梨大学	山梨県立博物館	平成26年1月26日 (日)
中山誠二	縄文食と弥生食-粉食・粒食文化のルーツを探る	山梨学講座	山梨県生涯学習センター	平成26年3月6日 (木)
西川広平	大久保長安と変革の時代	八王子市郷土資料館特別展講演会	八王子市生涯学習センター クリエイトホール	平成25年11月10日 (日)
丸尾依子	山梨における道祖神祭りの持続と変容	韓国・国立民俗博物館と日本・国立歴史民俗博物館の第2期第4次専門家交流 学術報告会	韓国国立民俗博物館大会議室	平成25年10月2日 (水)
丸尾依子	山梨における道祖神祭りの持続と変容	日韓比較民俗研究の新視点-博物館型研究統合の現場から-	新宿明治安田生命ホール	平成25年12月8日 (日)

■ 県立博物館館内研究会

日 時	報 告 者	内 容
平成25年10月31日 (木)	植 月 学	モンゴル国内遺跡出土馬の調査
平成25年11月27日 (水)	丸 尾 依 子	与論島の民俗調査
平成25年12月19日 (木)	小 畑 茂 雄	明治45年3月～4月東宮(大正天皇)山梨県行啓について

⑤ 刊行物

名 称	発刊日	体 裁
『山梨県立博物館研究紀要』第8集	平成26年3月24日	A4版、60頁
『山梨県立博物館調査・研究報告7 河口集落の歴史民俗的研究』	平成26年3月24日	A4版、136頁
『山梨県立博物館調査・研究報告8 福寺遺跡 埋蔵金貨及び渡来銭貨発見地点の発掘調査報告書』	平成26年3月30日	A4版、70頁
『山梨県立博物館調査・研究報告9 日韓における穀物農耕の起源』	平成26年3月26日	A4版、404頁
『山梨県立博物館調査・研究報告10 甲斐の治水・利水技術と環境の変化』	平成26年3月24日	A4版、94頁

(5) 富士山世界文化遺産学術調査・研究

■調査・研究の目的

富士山の世界文化遺産登録に向けた第1次学術調査研究を平成20年度から23年度にわたって実施し、富士山総合学術調査研究報告書を刊行した。第2次調査は、県立博物館に事務局を移し、平成24年度から27年度にかけて、世界文化遺産の登録後も継続・実施する。

■富士山総合学術調査研究委員会委員

- 石田千尋（文学部会・山梨英和大学教授）
- 上杉 陽（自然環境部会・都留文科大学名誉教授）
- 菊池邦彦（歴史考古民俗部会・東京都立産業技術高等専門学校教授）
- 清雲俊元（歴史考古民俗部会・山梨県文化財保護審議会会長）
- 萩原三雄（歴史考古民俗部会・帝京大学文化財研究所所長）
- 濱田 隆（有形文化財部会・元山梨県立美術館館長）
- 福田アジオ（歴史考古民俗部会・山梨県文化財保護審議会委員）

■県立博物館担当職員

- 中山誠二（学芸課長、歴史考古民俗部会考古班）
- 植月 学（学芸員、歴史考古民俗部会考古班）
- 海老沼真治（学芸員、歴史考古民俗部会文書班）
- 西川広平（学芸員、歴史考古民俗部会文書班）
- 宮澤富美恵（職員、歴史考古民俗部会文書班）
- 丸尾依子（学芸員、歴史考古民俗部会民俗班）
- 近藤暁子（学芸員、有形文化財部会）
- 堀内 眞（職員、事務局）

■主な活動記録

【委員会】

- ・平成25年6月26日（水）

【研究会】

- ・平成26年3月9日（日）
 - 上杉 陽 「山中湖の再生はいつか」（都留文科大学名誉教授・自然環境部会長）
 - 松田香代子「河口湖の環境にみる御師集落の展開」（歴史考古民俗部会〈民俗班〉調査員）

【各部会の開催】

- ・歴史考古民俗部会（考古・宗教考古班）
 - 平成25年12月25日（水） 帝京大学文化財研究所（第1回）
 - 平成26年2月28日（金） 帝京大学文化財研究所（第2回）
 - 平成26年3月28日（金） 山中湖臨地調査（山中湖情報館他）
- ・歴史考古民俗部会（文書班） 平成25年9月28日（土） 博物館交流室
- ・歴史考古民俗部会（民俗班） 平成25年7月30日（火） 富士河口湖町中央公民館

第3章 資料の収集・保管・活用

(1) 資料収集の方針

① 資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

- ① 絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。
- ② 衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。
- ③ 言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。
- ④ 動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。

収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従って収集を進めている。

② 資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料、情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、7名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、山梨県立博物館長が選任している。

■資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

資料・情報委員会委員

氏名	職名	専門分野
安達 文夫	国立歴史民俗博物館教授	情報工学
飯田 文彌	山梨郷土研究会常任理事	近世史・郷土史
小島 孝夫	成城大学教授	民俗学
笹本 正治	信州大学副学長	中世史
鈴木麻里子	甲府市文化財審議委員	美術史
谷口 一夫	山梨県考古学協会会長	考古学
濱田 隆	山梨県立美術館元館長	美術史

■平成25年度の資料情報委員会開催状況

- ・平成25年5月20日（月） 第16回委員会を開催
5件の収集候補資料を審議した。
- ・平成25年12月12日（木） 第17回委員会を開催
9件の収集候補資料を審議した。

(2) 資料の収集

平成25年度に収集した資料は、次表の通りである。

■購入

	資料名	特徴	製作期	員数
1	武田勝頼書状	武田勝頼が同盟国である北条氏の家臣近藤綱秀に送った書状。北条氏の厩橋（群馬県）への軍事行動の戦況について意見を述べ、勝頼自身は遠江に在陣中であることを伝えている。	天正2年（1574）	1通
2	徳川家奉行入連署状	徳川家奉行の大久保長安・原佐左が連名で、中村新三郎に対して川口郷（東京都八王子市）の中から200石の知行を与えることを伝えた文書。	天正19年（1591）	1通

■寄贈

	資料名	特徴	製作期	員数
1	佐藤家資料	現在の甲州市大和町初鹿野に居住した佐藤庫丸家に伝来した古文書。①名寄帳、②甲斐国三郡郷村高帳、③当巳年人別改帳、④当卯年人別改帳の4冊からなる。	江戸時代 （18～19世紀）	4点
2	九頭竜神祠	釜無川右岸の上高砂区にある九頭竜神の祠。天竜川（長野県・静岡県）流域で祀られていた水神である九頭竜神を、文政年間（1818～30）に当地に勧請したと伝わる。	平成25年（2013）	1基

■寄託

	資料名	特徴	製作期	員数
1	山本家資料	境川村（笛吹市）に居住していた山本家にまつわって伝存していたもので、明治～大正期にハワイに移住していた山本長吉夫妻等から父親である山本一正等に宛てた手紙類を中心とした資料群。	近代	161点
2	内田宏撮影写真 （追加分）	内田宏氏が昭和25年以降に撮影した、山梨県内の農業・祭・行事・その他生活にまつわる写真。すでに寄託を受けている写真と一連のもの。	昭和～平成16年	約9,300点

(3) 資料の整理・目録（データ）化

平成25年度は、新規収集した資料に加え、平成17年度に県立図書館より移管した資料（約85,000点）の内17,000点の中性紙封筒入替作業、7,400点のデータ修正、2,300点のデータ作成を行った。また、収集資料を目録（データ）化する作業を進め、登録データの公開作業も随時進めている。

■資料の整理

新規に収集した未整理の資料等について、目録作成、保管容器への収納、ナンバリングを行う作業である。平成25年度は、引き続き職員による作業を進めているほか、7～8月、10～11月の2回整理作業員を雇用し、既存資料・新規収集資料の整理を実施した。

■収蔵資料のマイクロ化・デジタル化

県立図書館から移管した資料のうち、利用頻度が高い「甲州文庫」については、利便性を高めるため、平成16～17年度事業としてマイクロフィルムによる撮影、デジタル画像の作成を行い、全体の約9割が完了した。残りの資料については、さらに18～19年度の2か年でマイクロ化・デジタル化を実施した。

本事業によって、甲州文庫資料のうち、古文書・図書・新聞雑誌類については、ほぼすべての資料のデジタル画像を公開した。

撮影点数：23,019点（510,518コマ）

■図書資料のデータ登録

収集した図書・雑誌類のデータ登録を、職員により随時行っている。平成25年3月13日現在の登録件数は41,263点となっている。

(4) 資料の修復・管理

① 資料の修復

■修復資料

1. 木食白道筆「宝船図」、紙本木版墨摺、江戸時代
38.3×46.9cm
2. 「のぞきからくり絵」、紙・木・ガラス（色ガラス含む）・彩色、近代
 - ①牡丹の花 65.6×187.7cm、②継母とその実子の死 57.1×115.5cm、
 - ③衣装比べ、花火 57.1×115.5cm

■資料の重要性

1. 木食白道筆「宝船図」
 - ・宝船に乗った七福神、日輪、瑞雲、松、米俵など、おめでたい品々で構成された木版画。身延出身の木喰行道の弟子、白道の作で、山梨県に関わる資料として重要である。
2. 「のぞきからくり絵」
 - ・のぞき穴のある箱の中に絵が何枚も仕掛けられ、口上に合わせて、その立体的で写実的な絵が入れ替わっていく見世物に使用された。絵には色ガラスを貼って光を透過する仕掛けが用いられており、同種の資料は現存作例が極めて少ない。当時の娯楽の様子がわかる貴重な資料である。

■修復者

- ・株式会社 墨仁堂 静岡県静岡市葵区大岩1-4-4（修復作業所：同左）

■修復の内容

1. 木食白道筆「宝船図」
 - ・修復前の状況は、表具全体にわたり強い折れが発生し、折れ山の小口が割れて肌裏紙からの剥離が起きていた。また、本紙に虫損および欠損があり、画面全体が煤けて染みの発生が見られ、全体に糊の劣化が進んで裏打紙が浮いてきていた。さらに紙表具のため、傷みが全体に進行しやすい状態にあった。
 - ・このため、すべての裏打紙まで取り替える根本修理を行った。本紙については、横折れの箇所には折れ伏せを施し、しわについては肌裏除去後に伸ばして肌裏打ちを行った。また、欠損箇所には本紙と同質の紙で補修を行い、染みについては純水を利用し、可能な範囲でクリーニングを行った。
 - ・太巻き、表具・保存箱はすべて新調した。
 - ・裏書墨書は裏打ちをして箱内に保存した。
2. 「のぞきからくり絵」
 - ・修復前の状況は、全体的に絵の具が剥落し、本紙に欠損・破れや染み、ガラス部にも割れ・欠失が見られた。木枠にも割れ、欠失があり、本紙と木枠が離れているため、取り扱いが困難な状態であった。全体的に煤けて汚れが著しく、さらに蝶番、紐などの部品も劣化が進んでいた。
 - ・そのため、本紙は兔膠水溶液で絵の具の剥落止めを行い、表面に付着している埃や塵のクリーニング、染み抜きを行い、欠損箇所には補修紙にて繕いをして補強を行った。
 - ・木枠の欠失部分は新調して補強し、蝶番・紐も新調した。
 - ・中性紙段ボールで収納箱を作成した。

② 資料の状態調査

博物館が収蔵する資料は、非常に脆弱なもので構成されるものが多い。展示に活用し、後世に伝えていくために、脆弱な部分を補修し、損傷しにくい状態にする必要がある。今後の修復・保存計画をたて、安全な状態で資料の活用を行っていくために、資料24件75点について、専門家による詳細な状態調査を行った。

■調査者

- ・株式会社 修護 東京都荒川区西日暮里2-28-4（調査作業場所：県立博物館）

■調査資料一覧

	指定	資料名	形状	員数	点数	材質
1	県	武田晴信書状（市河家文書）	卷子	1通（1巻）	1	紙本墨書
2		堀田本七十一番職人歌合	卷子	3巻	3	紙本著色
3		七十一番職人歌合	卷子	1巻	1	紙本著色
4		甲陽軍鑑（明暦2年版、上野晴朗氏収集資料）	冊子	23冊	23	紙本木版墨刷
5		甲陽軍鑑（平仮名付訓無刊記十一行本、甲州文庫）	冊子	23冊	23	紙本木版墨刷
6		甲斐国志（甲州文庫）	冊子	適宜	5	版本
7		川中島合戦図（菱川辰政筆）	掛軸	1幅	1	紙本著色
8		富士山麓八海略絵図	掛軸	1幅	1	紙本木版手彩色
9		富士山牛玉	版画	1枚	1	紙本木版
10		木喰作 神号	掛軸	1幅	1	紙本墨書
11		六義園図	卷子	1巻	1	紙本著色
12		野口小蘗筆 春山明悉図（大木コレクション）	掛軸	1幅	1	絹本著色
13		二代歌川広重筆 鴻ノ台図屏風（大木コレクション）	屏風	6曲1隻	1	紙本着色
14		諸国名所百景 甲州失立の杉	版画	1点	1	紙本多色刷木版
15		甲州勝沼の戦争図（甲州文庫）	版画	1点	1	紙本多色刷木版
16		甲府大功記（資料番号02137、02138）	版画	2点	2	紙本木版
17		歌川広重筆 甲斐国身延山 七面山之図	版画	1点	1	紙本多色刷木版
18		二代歌川広重筆 江戸名所四十八景 目黒不動	版画	1点	1	紙本多色刷木版
19		富士山北口全図	版画	1点	1	紙本多色刷木版
20		武田版画（芳虎筆）	版画	1点	1	紙本多色刷木版
21		武田版画（信州川中嶋武田上杉和陸図・国綱筆）	版画	1点	1	紙本多色刷木版
22		武田版画（天文二十三年八月十八日武田上杉川中島大合戦図・芳虎筆）	版画	1点	1	紙本多色刷木版
23		武田版画（永禄四年九月川中嶋大合戦・芳藤筆）	版画	1点	1	紙本多色刷木版
24		勝沼宿 近藤勇	版画	1点	1	紙本多色刷木版

③資料の保存環境管理

博物館では、資料を後世に伝えるために高いレベルで環境管理を行っている。これは、資料の物理的、化学的、生物的な劣化を防ぐためである。以下に、管理項目とその内容について示す。

■温湿度管理

文化財を安定した環境下で収蔵・展示するため、精度の高い温度・湿度管理を行っている。収蔵庫は24時間空調を行い、展示室については深夜電力による蓄熱時間を除く間（8時～22時）、空調を行っている。これらの管理は中央監視室にて監視し、毛髪式自記記録計及びデータロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

展示ケースについても、エアタイトケースと呼ばれるケースについては調湿剤を使用して湿度のコントロールを行うとともに、毛髪式自記記録計、データロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

■空気質管理

空気質については、化学吸着フィルターと呼ばれるフィルターを収蔵庫、展示室の空調設備に設置し、外気及び循環気に含まれる有害ガスの除去を行っている。

■照明

館内の照明のうち収蔵庫及び展示室内の照明には、紫外線が極力発生しないものを用いている。特に紫外線が多く発生する蛍光灯は、美術・博物館用と呼ばれる紫外線吸収膜付の高演色形の蛍光灯を使用している。また、他の照明では各種ハロゲンランプを用いているほか、一部はLEDスポットライトを試験的に導入している。

照度は資料の材質や状態に合わせて管理を行っており、絵画や染織品のような非常に脆弱なものは80ルクス以下、土器や金属器等は150ルクス程度の照明を行っている。

■生物被害管理

一時収蔵庫での燻蒸は、資料収集の関係上実施しなかった。資料個別に対する燻蒸については適宜燻蒸庫で行った。

(5) 資料の活用

山梨県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配慮した上で、資料を公開し、県民、博物館利用者の学習や調査研究等に活用するために、資料・情報の提供を行っている。

利用者の利便性を図るため、平成20年6月1日より開始した即日閲覧は、利用者的好评であり、88件326点を提供した。また、従来からの事前申請による原資料閲覧が、古文書等を中心として8件406点あった。

撮影は展示図録への掲載、調査研究などの目的で26件138点あり、書籍等への掲載、テレビ番組での使用などの資料写真の貸出は、289件890点となっている。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、11件96点の館外貸出を行った。

■平成25年度歴史資料等利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
歴史資料等 即日閲覧	件数	11件	8件	6件	11件	13件	5件	5件	7件	6件	6件	2件	8件	88件
	点数	14点	30点	21点	48点	68点	39点	7点	38点	15点	21点	5点	20点	326点
歴史資料等閲覧	件数	2件	1件	1件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	2件	0件	0件	8件
	点数	229点	33点	1点	0点	0点	111点	0点	0点	0点	32点	0点	0点	406点
歴史資料等撮影	件数	3件	4件	5件	1件	2件	2件	2件	2件	0件	1件	1件	3件	26件
	点数	4点	52点	14点	1点	3点	16点	2点	5点	0点	3点	2点	36点	138点
歴史資料等使用 (フィルム使用等)	件数	23件	35件	47件	35件	24件	21件	22件	20件	13件	15件	16件	18件	289件
	点数	46点	184点	254点	123点	43点	32点	46点	36点	15点	48点	28点	35点	890点
歴史資料等貸出	件数	1件	1件	1件	2件	0件	3件	2件	0件	1件	0件	0件	0件	11件
	点数	35点	14点	1点	17点	0点	6点	17点	0点	6点	0点	0点	0点	96点

第4章 展 示

(1) 常設展示

平成25年度の常設展示は、年間6回の展示替えを行ない、資料の保存に対応するとともに、展示期間ごとにテーマを設定して、来館者に親しみやすい展示内容とすることを図った。また、春期企画展（「水の国やまなし－信玄堤と甲斐の人々－」）に連動したテーマを設定することにより、展示全体に一体感をもたせ、来館者の循環を促すよう図った。

■ 展示資料一覧

・ 展示期間

- ① 平成25年2月20日（水）から平成25年4月22日（月）まで
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」
- ② 平成25年4月24日（水）から平成25年6月24日（月）まで
展示テーマ「水の国やまなし」
- ③ 平成25年6月26日（水）から平成25年8月26日（月）まで
展示テーマ「富士は日本一の山」
- ④ 平成25年8月28日（水）から平成25年10月21日（月）まで
展示テーマ「資料で巡る山梨の旅」
- ⑤ 平成25年10月23日（水）から平成25年12月13日（金）まで
展示テーマ「広重の富士三十六景」
- ⑥ 平成25年12月18日（水）から平成26年2月24日（月）まで
展示テーマ「お正月は、博物館で初詣」
- ⑦ 平成26年2月26日（水）から平成26年4月21日（月）まで
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」

・ 時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。

・ 所蔵者については、複製品は（ ）内に原資料所蔵者を記した。

・ 指定については、●は国宝、◎は国指定重要文化財、○は県指定文化財、◇は市町村指定文化財とした。

・ 絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行なっている。

【出品資料一覧】

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
自然の森の中で				
桂野遺跡渦巻文土器	縄文中期	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
原町田遺跡出土縄文土器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
縄文土器片、石器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲斐の誕生				
甲斐国分寺瓦（鬼瓦）（複製）	奈良時代	山梨県立考古博物館（笛吹市教育委員会）		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分寺瓦（軒丸瓦）	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分尼寺出土墨書土器	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」（複製）	奈良時代	山梨県立博物館（佐久市教育委員会）		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡表門」	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
寺本廃寺 瓦	白鳳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
天狗沢瓦窯跡 瓦	白鳳時代	甲斐市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡①(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡②(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡③(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 習書・戯画木簡(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡①(複製)	天平宝字6年(762)	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)	◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡②(複製)	天平宝字6年(762)	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)	◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡(複製)	天平宝字8年(764)	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国印(推定復元)	奈良時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「甲斐国司解」(複製)	天平宝字5年(761)	山梨県立博物館(正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
東畑遺跡金銅仏	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
甲斐の黒駒				
大塚古墳出土横柄板鋌留短甲(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(市川三郷町教育委員会)	○	①②③④⑤⑥⑦
狐原遺跡 焼印	平安時代	上野原市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
御崎古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
塩部遺跡 馬上顎齒	古墳時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 衝角付冑(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 眉庇付冑(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
平林2号墳 馬具	古墳時代	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
平林2号墳 大刀、鉄鍬一括	古墳時代	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製)	奈良時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	天平10年(738)	山梨県立博物館(正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
水に取り組む				
雨乞いの仏像		清水寺		①②③④⑤⑥⑦
石尊祭の薬束	平成14年(2002)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
測量器(複製)	江戸時代	山梨県立博物館(個人)		①②③④⑤⑥⑦
宮沢中村遺跡網代護岸	鎌倉時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
御幸祭川除の石	平成15年(2003)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
武田家朱印状(桑原家資料)(複製)	天正3年(1575)	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
釜無川氾濫の図(複製)		長遠寺		①②③④⑤⑥⑦
小物成山へ水神勸請願一札(甲州文庫)	文化4年(1807)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
木製人形(甲府市塩部遺跡出土)	平安時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
新版出水くどき(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
上連雀町駆付人足札(甲州文庫)	文化10年(1813)	山梨県立博物館		①
甲府上条地藏大菩薩略縁起(頼生文庫)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		②
西八幡堤絵図(新海家資料)	明治3年(1870)	山梨県立博物館		②
下条南割村他堤防絵図(千野家資料)	江戸時代(18~19世紀)	山梨県立博物館		②
甲斐国三郡川筋帳(若尾資料)	安永9年(1780) / 大正5年(1916)写	山梨県立博物館		③
嶋上条村絵図(三井家文書)	天保14年(1843)	山梨県立博物館		③
甲斐叢記 前輯四	嘉永4年(1851)	山梨県立博物館		④
甲斐国絵図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		④
武田家朱印状(保坂家文書)	永禄3年(1560)	個人	○	⑤
信玄堤絵図(保坂家文書)	文政7年(1824)	個人	◇	⑤
武田家朱印状(三井家文書)	天正2年(1574)	個人		⑥
有野村堤絵図(千野家文書)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		⑥
武田家朱印状(保坂家文書)	永禄6年(1563)	個人	○	⑦
駿遠州川々御普請絵図(平岡家文書)	文化12年(1815)	山梨県立博物館		⑦

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
戦国からのメッセージ				
武田晴信感状（三井家資料）	弘治3年（1557）	山梨県立博物館		①
武田信豊書状	戦国時代（16世紀）	個人		①
織田信長禁制（三井家資料）	天正10年（1582）	山梨県立博物館		②
武田勝頼書状（桜林家資料）	天正2年（1574）	山梨県立博物館		②
富士講経巻（村上派4世藤原月旺御見抜書写本）	天和3年（1683）	山梨県立博物館		③
甲陽軍鑑（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		③④
南都留郡河口村略図（頼生文庫）	明治14年（1881）	山梨県立博物館		⑤
甲乱記（甲州文庫）	正保3年（1646）	山梨県立博物館		⑥⑦
妙法寺記（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
筒粥神事の道具	平成17年（2005）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
平成25年度筒粥占標（小室浅間神社）	平成25年（2013）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山に生きる				
武田家朱印状（田辺家資料）	永禄3年（1560）	山梨県立博物館	○	①
穴山信君判物（佐野家資料）	天正8年（1580）	個人		①⑤
田辺伊織先祖書（田辺家資料）	寛政3年（1791）	山梨県立博物館	○	②
材木伐出図巻	江戸後期	山梨県立博物館		②
武田家朱印状（田辺家資料）	天正9年（1581）	山梨県立博物館	○	③④
富士山裾野入会場伐木一札（甲州文庫）	慶応2年（1866）	山梨県立博物館		③
富士山道しるべ	万延元年（1860）	山梨県立博物館		④
徳川家康朱印状（田辺家資料）	文禄2年（1593）	山梨県立博物館	○	⑦
穴山信友判物（佐野家資料）	弘治3年（1557）	個人		⑦
甲斐叢記	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		⑦
林業の道具を象った小正月のツクリモノ	現代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲州金（一分金 甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
江戸城西之丸御用桧板（佐野家資料）	天保9年（1838）	個人		①②③④⑤⑥⑦
大鋸	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
新規紙漉稼願書控（甲州文庫）	文久2年（1862）	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
並山日記（若尾資料）	嘉永3年（1850）	山梨県立博物館		②③④⑤⑥
枳・焼き鋸	明治以降	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
焼畑衣装（再現品）	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
里にくらす				
煙草包装紙	明治22年（1889）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
長田円右衛門感謝祭ニ付写真	昭和28年（1953）	個人		①
仙嶽關路図（大木家資料）	安政元年（1854）	山梨県立博物館		①
記憶法伝習筆記 全（埴原正直関係資料）	明治27年（1894）	個人		①
理科試験答案（埴原正直関係資料）	明治26年（1893）	個人		①
乍恐書付ヲ以奉願上候	天保13年（1842）	個人		①
旧暦正月元日右ニ御座候（埴原正直関係資料）	明治時代	個人		①
矢立（高室家資料）	天保11年（1840）	個人		①
差上申一札之事	天保4年（1833）	個人		①
おかぶと（カナカンブツ）（上野晴朗氏収集資料）	江戸時代～明治時代	山梨県立博物館		②⑦
裏見寒話 巻五（甲州文庫）	宝暦2年（1752）	山梨県立博物館		②
初節句祝儀（市川家文書）	明治33年（1901）	山梨県立博物館		②
日本歳時記	貞享5年（1688）	個人		②⑦
甲府買物独案内（甲州文庫）	嘉永7年（1854）	山梨県立博物館		②⑦
鍾馗幟（部分）	明治時代	山梨県立博物館		②

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
『甲州道中記』写本（若尾資料）	大正4年（1915）	山梨県立博物館		②⑤
黒平温泉引札	江戸時代～明治時代	山梨県立博物館		②④
祓いの人形（上野晴朗氏収集資料）	現代	山梨県立博物館		③
牛頭天王宮建立奉加帳（太田家文書）	延享元年（1744）	山梨県立博物館		③
文久2年石尊入用帳（篠原家文書）	文久2年（1862）	山梨県立博物館		③
文久2年石尊花火勤化帳（篠原家文書）	文久2年（1862）	山梨県立博物館		③
道祖神麦初穂覚控帳（西後屋敷区有文書）	天保10年（1839）	山梨県立博物館		③
市川文殊七夕祭打場花火施主一覽記録（太田家文書）	江戸時代	山梨県立博物館		③
『風俗画報』より甲州中牧村益踊（甲州文庫）	明治23年（1890）	山梨県立博物館		③
風祭出銭集帳（五味家文書）	嘉永6年（1853）	山梨県立博物館		③
四方津村四ヶ村組合雨乞に付託入用控（甲州文庫）	天保10年（1839）	山梨県立博物館		③
金草鞋十二編身延山道中記（甲州文庫）	文政2年（1819）	山梨県立博物館		④⑤⑥
往来手形（上野晴朗氏収集資料）	明治時代	山梨県立博物館		④⑤
秋葉三尺坊札（五味家文書）	明治時代	山梨県立博物館		④⑤
秋葉神社火災防護御札（太田家文書）	明治時代	山梨県立博物館		④⑤
秋葉三尺坊神札（大木家文書）	明治時代	山梨県立博物館		④⑤
大嶽山那賀都神社神札（大木家文書）	明治時代	山梨県立博物館		④⑤
大嶽山大権現神札（大木家文書）	明治時代	山梨県立博物館		④⑤
甲府あびす講煙火大会番組	昭和7年（1932）	山梨県立博物館		④⑤
身延参詣甲州道中膝栗毛（甲州文庫）	安政4年（1857）	山梨県立博物館		④⑤
甲州道中記（甲州文庫）	明治14年（1881）	山梨県立博物館		④
西部下村法眼寺屋根葺替村中茅勤化覚	明和8年（1771）	山梨県立博物館		⑤
『峡中新聞』第四号（大木家資料）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		⑥
「道祖神祭礼再開願」（武藤家文書）	天保11年（1840）	山梨県立博物館		⑥
ヒブセ（おやなぎ）	平成17年（2005）	山梨県立博物館		⑥
『風俗画報』（頼生文庫）	明治24年（1891）	山梨県立博物館		⑥
ハイボコサン	平成17年（2005）	山梨県立博物館		⑥
甲州市塩山「一之瀬高橋の春駒」の水祝儀の祝儀品	平成22年（2010）	個人		⑥⑦
奈良田の小正月のツクリモノ	昭和	山梨県立博物館		⑥
山の神の弓矢	現代	山梨県立博物館		⑥
大和耕作絵抄	大正4年（1915） 原本は元禄年間	個人		⑦
甲府買物独案内（甲州文庫）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		⑦
流し罐（上野晴朗氏収集資料）	現代	山梨県立博物館		⑦
立罐（上野晴朗氏収集資料）	不明	山梨県立博物館		⑦
押絵罐（山梨県教育委員会収集資料）	明治時代～昭和時代	山梨県立博物館		⑦
キの神神札	現代	山梨県立博物館		⑦
峡中紀行（甲州文庫）	明治30年（1897） 原本は宝永3年（1706）	山梨県立博物館		⑦
鎮目村山梨岡神社キ神由来記（甲州文庫）	慶応2年（1866）	山梨県立博物館		⑦
煙草庵丁	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
煙草箱	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
千野村絵図（複製）	江戸時代（19世紀）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍馬帽	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
馬草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
城下町の賑わい				
稲荷曲輪出土瓦	江戸時代（17世紀）	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府城跡出土鯉瓦（復元品）	江戸時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
高札	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府上水木樋		甲府市水道資料館		①②③④⑤⑥⑦
輪宝	江戸時代（17世紀）	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
人質曲輪出土桐文様瓦	室町時代（16世紀）	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
本丸出土花菱紋瓦	江戸時代	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
簪（広瀬家資料）		個人		①②③④⑤⑥⑦
大木呉服店の写真（大木家文書）		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国産美術水晶細工品略図（山本家資料）		山梨県立博物館		①②③
甲斐国産水晶細工販売品（山本家資料）		山梨県立博物館		①②③
甲斐国産水晶細工発売広告（山本家資料）		山梨県立博物館		①②③
商家建家図面（大木家資料）	大正8年（1919）	山梨県立博物館		①②③
甲金増方願書控（甲州文庫）		山梨県立博物館		①②
甲府買物独案内（甲州文庫）	嘉永7年（1854）	山梨県立博物館		①
山梨県特産物説明（甲州文庫）	明治45年（1912）	山梨県立博物館		①
生石灰砂利等に付書上（甲州文庫）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		①
山梨県下各家商業便覧銅版（甲州文庫）		山梨県立博物館		①
御尋に付甲府上水仕様申上書 （頼生文庫、享保17年御用留のうち）	享保17年（1732）	山梨県立博物館		②
懷宝甲府絵図（甲州文庫）	嘉永3年（1850）	山梨県立博物館		②
甲府上水陣場堰筋御修復仕様帳（頼生文庫）	文化4年（1807）	山梨県立博物館		②③
甲府上水陣場堰筋御修復仕様書（頼生文庫）	文化4年（1807）	山梨県立博物館		②③
陣場堰普請諸用留（絵図面）	文化4年（1807）	山梨県立博物館		②③
疫病除御守（大木家資料）	江戸時代	山梨県立博物館		③④
安産御守（大木家資料）	江戸時代	山梨県立博物館		③④
小御嶽御守（大木家資料）	江戸時代	山梨県立博物館		③④
壺中軒日記（甲州文庫）	元文5年（1740）	山梨県立博物館		③④
先触状（甲州文庫）	寛政10年～文化2年 （1798-1805）	山梨県立博物館		④
府中伝馬に付柳町定（甲州文庫）	寛永13年（1636）	山梨県立博物館		④
旅籠屋宿取届綴（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		④⑤
道中覚（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		④⑤
甲府買物独案内（甲州文庫）	文化4年（1807）	山梨県立博物館		④⑤
諸国道中商人鑑（甲州文庫）	文政10年（1827）	山梨県立博物館		④⑤
甲州道中細見記（甲州文庫）	安政5年（1858）	山梨県立博物館		④⑤
八日町高札建替につき達（甲州文庫）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		④⑤⑥
半三郎より辻屋仁助宛金子借用証文（山下家文書）	天保6年（1835）	山梨県立博物館		⑤
芝居番付（若尾資料）	天保12年（1841）	山梨県立博物館		⑤
甲州一蓮寺地内 正木稲荷之略図（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
緑町家数間敷改帳（甲州文庫）	享和3年（1803）	山梨県立博物館		⑤⑥
甲州道中記（若尾資料）	大正4年（1915）写	山梨県立博物館		⑥
甲斐廻手振（若尾資料）	大正5年（1916）写	山梨県立博物館		⑥⑦
正月初売りの広告（「峡中広告集」より）（甲州文庫）	明治27年（1894）	山梨県立博物館		⑥
甲府八日町正月初売之景 原画（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		⑥

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
甲府市横近習町大木呉服店より勘左衛門宛初売出し広告のはがき（関本家文書）	明治41年（1908）	山梨県立博物館		⑥⑦
初売出し案内はがき（大木家文書）	大正元年（1912）	山梨県立博物館		⑥⑦
年始之祝詞二付書状（三枝家資料）	江戸時代	山梨県立博物館		⑥⑦
道祖神祭礼旧式悪例改方に付願書（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		⑥⑦
松平美濃守様御家中覚（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
御家中御役人付（甲州文庫）	享保4年（1717）	山梨県立博物館		⑦
芝居番付（甲州文庫）	文化8年（1811）	山梨県立博物館		⑦
武田勝頼以下追遠之碑建立広告（「峡中広告集」より）（甲州文庫）	明治14年（1881）	山梨県立博物館		⑦
甲府町年寄役之記（甲州文庫）	寛延元年（1767）	山梨県立博物館		⑦
舞鶴城稲荷大神祭観桜会煙火番組（甲州文庫）	大正10年（1921）	山梨県立博物館		⑦
変貌する景観				
絹糸（繭糸検査事務所資料）	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山繭の糸（繭糸検査事務所資料）	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府勸業試験場出土ワイン瓶	明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
七十一番職人歌合	江戸時代	山梨県立博物館		①
離別一札之事（太田家資料）	明治6年（1873）	山梨県立博物館		①
小沼然糸株式会社新築工場図（上條氏収集資料）	大正時代	個人		①
工場調査ニ関スル件ニ付回答（上條氏収集資料）	大正13年（1924）	個人		①
西山梨郡湯村鷺の湯谷の湯馬の湯沿革及現在の状況（廣瀬家資料）	明治時代	山梨県立博物館		②③④
湯村温泉沿革現況（若尾資料）	大正6年（1917）	山梨県立博物館		②③④
湯村八景（廣瀬家資料）	寛保元年（1741）	山梨県立博物館		②
大日本物産図会 甲斐国葡萄培養図	明治10年（1877）	山梨県立博物館		②
葡萄三説（甲州文庫）	明治23年（1890）	山梨県立博物館		②③④⑤⑥
大日本山梨葡萄酒会社株券	明治14年（1881）	山梨県立博物館		②
山梨県統計書（甲州文庫）	大正6年（1917）	山梨県立博物館		②
富士風穴略説（甲州文庫）	明治時代	山梨県立博物館		③
風穴秋蚕説（甲州文庫）	明治34年（1901）	山梨県立博物館		③④
秋！紅葉の富士五湖へ（甲州文庫）	大正～昭和	山梨県立博物館		③
富士山麓景勝開発計画書（甲州文庫）	大正～昭和	山梨県立博物館		③
史蹟名勝天然記念物調査報告 第4集 天然記念物之部	昭和4年（1929）	山梨県立博物館		③
生糸改会社規則（大木家文書）	明治6年（1873）	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
生糸改会社規則（甲州文庫）	明治6年（1873）	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
生糸繭茶共進会規則（大蔵省御布達）（甲州文庫）	明治12年（1879）	山梨県立博物館		④⑤⑥
繭生糸共進会出品目録雛形（関本家文書）	明治18年（1885）	山梨県立博物館		④
生糸掛紙（甲州文庫）	明治時代	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
生糸包紙（甲州文庫）	明治時代	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
甲州生糸商標（甲州文庫）	明治時代	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
「並山日記 三」（甲州文庫）	嘉永3年（1850）	山梨県立博物館		⑤⑥
写真絵はがき類 温泉（甲州文庫）	明治時代以降	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
山梨県病院温泉試験其成分効能併記（大木家文書）	明治時代以降	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
山梨蚕種家案内（古屋家資料）	明治39年（1906）	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
大日本物産図会 甲斐国葡萄培養図（複製）	明治10年（1877）	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
海州滝温泉絵図と開業広告（甲州文庫）	明治17年（1884）	山梨県立博物館		⑦
山梨県勸業場製糸米国博覧会出品記録（甲州文庫）	明治8年（1877）	山梨県立博物館		⑦
甲州葡萄掛紙貼付帳（甲州文庫）	-	山梨県立博物館		⑦

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
信仰の足跡				
役行者像（複製）	平安時代（12世紀）	山梨県立博物館（円楽寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
甲斐勝沼柏尾経塚出土経筒（複製）	康和5年（1103）	山梨県立博物館（東京国立博物館）	◎	①②③④⑤⑥⑦
金峰山出土品（釘、古銭、鏡、薙鎌）	平安時代～明治時代	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
地藏菩薩立像	乾元2年（1303）	個人		①②③④⑤⑥⑦
富士山五合五勺経ヶ岳出土経巻（複製）	平安時代	山梨県立博物館（個人）		①②③④⑤⑥⑦
愛染明王坐像（複製）	平安時代（12世紀）	山梨県立博物館（放光寺）	◎	①②③⑥⑦
韋駄天立像	南北朝時代	個人		⑦
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図（甲州文庫）①	江戸時代	山梨県立博物館		①
聖観音菩薩立像	鎌倉時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
蔵王権現立像	平安時代	山梨県立博物館	○	②③④⑤⑥
富士山牛玉	江戸時代	山梨県立博物館		③
鰐口	享禄元年（1528）	蓮華寺	○	④⑤
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図（甲州文庫）②	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
甲斐を駆ける武士たち				
関東下知状（複製）	応長元年（1311）	山梨県立博物館（大善寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
長寛勅文写本（複製）	江戸時代	山梨県立博物館（熊野神社）	◇	①②③④⑤⑥⑦
銅製経筒および付属品（複製）	建久8年（1197）	山梨県立博物館（個人）	○	①②③④⑤⑥⑦
『小笠原流故実伝書』（水島ト也）	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤
『犬追物図説』（伊勢貞丈）	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤
諏訪神号旗（複製）	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館（恵林寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
孫子の旗（複製）	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館（恵林寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
小桜草威鎧 兜・大袖付（楯無鎧）復元品	平安・鎌倉時代	山梨県立博物館（菅田天神社）	●	①②③⑤⑥⑦
武田晴信像（複製）	室町時代	山梨県立博物館（持明院）		①②③④⑥⑦
山本勘助像	江戸時代	山梨県立博物館		①⑦
武田晴信書状（市河家文書）	弘治3年（1557）	山梨県立博物館	○	①⑦
武田家朱印状（市河家文書）	永禄11年（1567）	山梨県立博物館	○	①
信玄公御屋形図	江戸時代	山梨県立博物館		①⑦
武田二十四将図	江戸時代	山梨県立博物館		②
木馬	江戸時代	長禅寺		②
「おかぶと」の木型（甲州文庫）	江戸時代～明治時代	山梨県立博物館		②
絵本信玄一代記（甲州文庫）	寛政2年（1790）	山梨県立博物館		②⑦
武田晴信書状	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館		③
武田信玄出陣之図（甲州文庫）	江戸時代（19世紀）	山梨県立博物館		③
信州和田塩尻峠合戦図（甲州文庫）	江戸時代（19世紀）	山梨県立博物館		③
曾我物語（大木家文書）	江戸時代	山梨県立博物館		③
武田晴信書状	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館		④
武田信玄陣立書	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館		④⑦
大般若波羅蜜多経 卷四五八	貞治4年（1365）	山梨県立博物館		④
武田信玄書状	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館		⑤
上杉謙信書状	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館		⑤
南松院武田系図（南松院資料）	江戸時代（17世紀）	南松院		⑤
武門便幼	宝暦7年（1757）	山梨県立博物館		⑤
祝いのお膳（復元）	-	山梨県立博物館		⑥
甲陽軍鑑（甲州文庫）	江戸時代（17世紀）	山梨県立博物館		⑥
武田流当家献立要伝書（甲州文庫）	天明元年（1781）	山梨県立博物館		⑥
上杉景勝判物（市河家文書）	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館	○	⑥

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
直江兼統書状(市河家文書)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館	○	⑥
川を彩る高瀬舟				
鯉沢河岸跡 ガラス瓶	明治時代～大正時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
足半草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土遺物	江戸時代～明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土動物遺体	江戸時代～明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土泥面子	明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
富士川舟運関係会社印鑑類	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢御蔵駆付人足札(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①
道がつなく出会い				
古府中絵図	慶応4年(1868)	山梨県立博物館	○	①
八日市場 市場之図	寛政5年(1793)	山梨県立博物館		①
鞍	江戸時代	山梨県立博物館		①
ニホンオオカミ頭骨	江戸時代～明治時代	個人		①②
市川村暴瀉病流行日記	安政5年(1858)	山梨県立博物館		①②
疫病退散に付差紙	安政5年(1858)	山梨県立博物館		①②
暴瀉病薬方書	安政5年(1858)	山梨県立博物館		①②
安政五年午八月朔日より同下旬まで 流行病にて死失の者並煩居候者取調帳	安政5年(1858)	山梨県立博物館		①②
暴瀉病療治方町触写	安政5年(1858)	山梨県立博物館		①②
金桜神社境内図	幕末以降	山梨県立博物館		①②
水戸御用木札(南松院資料)	江戸時代	南松院		②
御朱印御用木札(南松院資料)	江戸時代	南松院		②
甲州南松院木札(南松院資料)	江戸時代	南松院		②
水戸御用旗(南松院資料)	江戸時代	南松院		②
水戸様御由緒筆記(南松院資料)	江戸時代(19世紀)	南松院		②
水戸前中納言烈公様御逝去納経記録(南松院資料)	万延元年(1860)	南松院		②
徳川家康朱印状(右左口区有文書及び関連資料一括)	天正10年(1582)	宿区蔵(寄託)		③
石櫃(右左口区有文書及び関連資料一括)	江戸時代	宿区蔵(寄託)		③
鑑札(右左口区有文書及び関連資料一括)	江戸時代	宿区蔵(寄託)		③
焼小手(右左口区有文書及び関連資料一括)	江戸時代	宿区蔵(寄託)		③
右左口人形	江戸時代	宿区蔵(寄託)		③
富士大山登山饒別日下恵(大木家資料)	天保14年(1843)	山梨県立博物館		③④
富士講行着(大木家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		③④
富士山神札(大木家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		③④
猿橋模型	昭和59年(1984)	山梨県立博物館		④⑤⑥
五代目大木喜右衛門夫妻像 初代歌川広重筆	天保12年(1841)頃	山梨県立博物館	○	⑤
東海道五十三次画卷	江戸時代	個人		⑥
三月節供雛人形(大木家資料)	明治時代～昭和初期	山梨県立博物館		⑦
木喰作 弘法大師坐像	寛政13年(享和元年・1801)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
渥美短頸壺	平安時代(12世紀)	山梨県立博物館	○	①②③⑥⑦
新巻常滑大甕	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
駒橋出土埋蔵銭	室町時代	個人		①②③④⑤⑥⑦
青磁碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
灰釉皿	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付皿	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
躑躅ヶ崎館跡出土陶磁器	室町時代	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
瀬戸瓶	鎌倉時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
一宮町東原 常滑甕	鎌倉時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
無紋碗	室町時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
江戸文化の往来				
駒宮村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1809）	都留市	◇	①
川合村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1809）	都留市	◇	②
忍草村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1806）	都留市	◇	③
下和田村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1806）	都留市	◇	④
内野村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1807）	都留市	◇	⑤
林村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1808）	都留市	◇	⑥
朝日小沢村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1809）	都留市	◇	⑦
甲斐国志写本	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
歌川広重筆 甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧（複製）	天保12年（1841）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑦
狩野派 桃鳩図（大木コレクション）	江戸時代前期	山梨県立博物館		①
十時梅屋筆 春景山水図（大木コレクション）	寛政12年（1800）	山梨県立博物館		①
矢野橋村筆 桃花峯図（大木コレクション）	大正10年（1921）	山梨県立博物館		①⑦
福田浩湖筆 桃源郷図（大木コレクション）	大正2年（1913）	山梨県立博物館		①
近藤東来筆 覚円峰図（大木コレクション）	大正4年（1915）	山梨県立博物館		①
源季俊筆 雛図（大木コレクション）	江戸時代	山梨県立博物館		①⑦
岡田半江筆 山水図（大木コレクション）	江戸時代後期	山梨県立博物館		②
平野五岳筆 山水図（大木コレクション）	明治16年（1883）	山梨県立博物館		②
渡辺雪峰筆 唐人物図（大木コレクション）	明治23年（1890）	山梨県立博物館		②
渡辺雪峰筆 漁翁図扇面（大木コレクション）	明治35年（1902）	山梨県立博物館		②
富岡鉄斎筆 甲斐猿橋図（大木コレクション）	近代	山梨県立博物館		②
近藤東来筆 山水図（大木コレクション）	大正3年（1914）	山梨県立博物館		②
池大雅筆 富岳図	江戸時代中期	山梨県立博物館		③
中居墨峰筆 富士山絶頂之図	安政6年（1859）	山梨県立博物館		③
滑稽富士詣（九）（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		③
富士山百景狂歌集（甲州文庫）	万延元年（1860）	山梨県立博物館		③
歌川広重筆 不二三十六景のうち「東都永代橋佃島」	嘉永5年（1852）	山梨県立博物館		③（～7/28）
歌川広重筆 不二三十六景のうち「上総水更津海上」	嘉永5年（1852）	山梨県立博物館		③（～7/28）
歌川広重筆 富士三十六景のうち「東都佃沖」	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		③（～7/28）
歌川広重筆 富士三十六景のうち「上総黒戸の浦」	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		③（～7/28）
歌川広重筆 不二三十六景のうち「箱根山中湖水」	嘉永5年（1852）	山梨県立博物館		③（7/29～）
歌川広重筆 不二三十六景のうち「信濃諏訪湖」	嘉永5年（1852）	山梨県立博物館		③（7/29～）
歌川広重筆 富士三十六景のうち「はこねの湖すい」	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		③（7/29～）
歌川広重筆 富士三十六景のうち「信州諏訪之湖」	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		③（7/29～）
天龍道人筆 山水押絵貼屏風（大木コレクション）	江戸時代	山梨県立博物館		④
天龍道人筆 葡萄図（大木コレクション）	享和元年（1801）	山梨県立博物館		④
天龍道人筆 葡萄図（大木コレクション）	享和元年（1801）	山梨県立博物館		④
歌川広重筆 富士三十六景「鴻之臺とね川」	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		⑤（～11/18）
歌川広重筆 富士三十六景「武蔵越かや在」	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		⑤（～11/18）
歌川広重筆 富士三十六景「駿河薩タ之海上」	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		⑤（～11/18）
歌川広重筆 富士三十六景「伊勢二見か浦」	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		⑤（～11/18）
歌川広重筆 富士三十六景「甲斐大月の原」	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		⑤（～11/18）

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
歌川広重筆 富士三十六景「東都目黒夕日か岡」	安政5～6年 (1858～9)	山梨県立博物館		⑤ (11/20～)
歌川広重筆 富士三十六景「武蔵本牧のはな」	安政5～6年 (1858～9)	山梨県立博物館		⑤ (11/20～)
歌川広重筆 富士三十六景「東海堂左り不二」	安政5～6年 (1858～9)	山梨県立博物館		⑤ (11/20～)
歌川広重筆 富士三十六景「信濃塩尻峠」	安政5～6年 (1858～9)	山梨県立博物館		⑤ (11/20～)
歌川広重筆 富士三十六景「房州保田ノ海岸」	安政5～6年 (1858～9)	山梨県立博物館		⑤ (11/20～)
二代歌川広重筆 甲府道祖神祭幕絵 東都名所 洲崎潮干狩	元治元年 (1864)	山梨県立博物館		⑥
野口小蘗筆 梅花卉図屏風 (大木コレクション)	明治8年 (1875)	山梨県立博物館		⑦
野口小蘗筆 百合花園 (大木コレクション)	明治時代	山梨県立博物館		⑦
野口小蘗筆 茉莉花園 (大木コレクション)	明治時代	山梨県立博物館		⑦
野口小蘗筆 玉堂富貴図 (大木コレクション)	近代	山梨県立博物館		⑦
転換期に向き合う				
煙草入		個人		①
西八代郡鴨狩津向村略図 (頼生文庫)	明治15年 (1882)	山梨県立博物館		①
大砲の弾	慶応4年 (1868)	山梨県立博物館		①②③
勝沼駅近藤勇驍勇之図 (甲州文庫)	慶応4年 (1868)	山梨県立博物館		①②③④
近世侠客有名鏡	明治時代	山梨県立博物館		①②③④
天保騒動の一揆進行の絵図 (複製) (手塚家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
柏尾戦争記 (甲州文庫)	慶応4年 (1868)	山梨県立博物館		②③
柏尾の戦にて土佐藩兵の分捕品書上 (太田家文書)	慶応4年 (1868)	山梨県立博物館		②
甲斐国旧定維持に付願書 (甲州文庫)	慶応4年 (1868)	山梨県立博物館		②
柏尾之戦記 (内外新報 第48号) (甲州文庫)	慶応4年 (1868)	山梨県立博物館		③
横浜篠原忠右衛門より東油川村息正次郎宛書簡 (戊辰戦争風聞) (篠原家文書)	慶応4年 (1868)	山梨県立博物館		③
大小切租法存続歎願書 (甲州文庫)	明治5年 (1872)	山梨県立博物館		④⑤⑥
東京日日新聞 第169号 大小切騒動 (甲州文庫)	明治5年 (1872)	山梨県立博物館		④⑤⑥
大小切強願之儀聞届取消之達 (甲州文庫)	明治5年 (1872)	山梨県立博物館		④⑤⑥
電信線損害予防通達に付廻状 (甲州文庫)	明治5年 (1872)	山梨県立博物館		④⑤⑥
勝沼駅近藤勇驍勇之図 (複製)	慶応4年 (1868)	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
近世侠客有名鏡 (複製)	明治時代	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
大小切制度据置方歎願書 (甲州文庫)	明治5年 (1872)	山梨県立博物館		⑦
東京日日新聞 第170号 大小切騒動 (甲州文庫)	明治5年 (1872)	山梨県立博物館		⑦
大小切廃止反対運動の禁止に付布達 (甲州文庫)	明治5年 (1872)	山梨県立博物館		⑦
一ツとせいぶし 甲斐の評はん大小切 (甲州文庫)	慶応4年 (1868)	山梨県立博物館		⑦
巨富を動かす				
昭和時代のベンチ	昭和	個人		①②③④⑤⑥⑦
甲州屋の年末年始の状況に関する書簡 (篠原家文書)	文久3年 (1863)	山梨県立博物館		①
若尾家の年賀状 (甲州文庫)	大正5年 (1916)	山梨県立博物館		①
武田神社奉建会の役員委嘱状 (長谷川家文書)	大正7年 (1918)	山梨県立博物館		①
武田神社写真帖 (甲州文庫)	昭和13年 (1938)	山梨県立博物館		①⑦
武田機山公記念展覧会出陳目録 (甲州文庫)	大正8年 (1919)	山梨県立博物館		①
機山公記念展覧会出陳古文書写 (若尾資料)	大正8年 (1919)	山梨県立博物館		①
武田信玄銅像ミニチュア	昭和44年 (1969)	個人		①
山梨県郷土資料第一輯 水力電気篇 (甲州文庫)	昭和13年 (1928)	山梨県立博物館		②
甲府電灯株式会社認可申請書他 (甲州文庫)	明治29年 (1896)	山梨県立博物館		②
甲府電力株式会社株券 (甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		②
早川第一発電所工事写真帖	大正14年 (1925)	山梨県立博物館		②
若尾逸平銅像ミニチュア	大正2年 (1913)	個人		②③④⑤⑥⑦

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
富士身延鉄道全通記念風呂敷	昭和3年（1928）	個人		③
富士身延鉄道沿線名所図絵（甲州文庫）	昭和3年（1928）	山梨県立博物館		③
富士山麓開発に関する意見（甲州文庫）	大正6年（1917）	山梨県立博物館		③
「風俗画報」（雨宮邸内祝賀の宴）	明治39年（1906）	個人		③
神名川横浜新開港図	万延元年（1860）	山梨県立博物館		④
道中諸入用控（篠原家文書）	慶応4年（1868）	山梨県立博物館		④
明治五年旅行諸日記（篠原家文書）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		④
明治元年道中諸入用控帳（篠原家文書）	明治元年（1868）	山梨県立博物館		④
中央東線鉄道線路概況（甲州文庫）	明治36年（1903）	山梨県立博物館		④
汽車旅行甲斐通手引（甲州文庫）	明治36年（1903）	山梨県立博物館		④
中央鉄道旅行案内（頼生文庫）	明治36年（1903）	山梨県立博物館		④
甲武中央篠井線旅行案内（甲州文庫）	明治38年（1905）	山梨県立博物館		④
旅行の友 創刊号（甲州文庫）	昭和6年（1931）	山梨県立博物館		④
若尾逸平扇面	明治時代	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
『若尾逸平』（若尾資料）	大正3年（1914）	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
『起業秀才明治百商伝 若尾逸平君伝』	明治13年（1880）	山梨県立博物館		⑤
貴族院多額納税者議員互選名簿（甲州文庫）	明治27年（1894）	山梨県立博物館		⑤
貴族院多額納税者議員写真帖（甲州文庫）	明治23年（1890）	山梨県立博物館		⑤
甲信鉄道起業取調書（甲州文庫）	明治21年（1888）	山梨県立博物館		⑤
家屋新築落成祝宴案内状（大木家文書）	明治23年（1890）	山梨県立博物館		⑤
おもちゃ籠	大正4年（1915）	山梨県立博物館		⑥
若尾家の年賀状（横浜若尾幾造から甲府若尾民造宛） （甲州文庫）	大正4年（1915）	山梨県立博物館		⑥
若尾家の年賀状（甲州文庫）	大正5年（1916）	山梨県立博物館		⑥
お年賀の御礼状（甲州文庫）	大正8年（1919）	山梨県立博物館		⑥
新年会の招待状（甲州文庫）	大正5年（1916）	山梨県立博物館		⑥
甲府繁盛寿語呂久（甲州文庫）	明治35年（1902）	山梨県立博物館		⑥⑦
機山公社殿建設規則（甲州文庫）	明治14年（1881）	山梨県立博物館		⑦
武田神社奉建会趣意書（甲州文庫）	大正4年（1915）	山梨県立博物館		⑦
勘左衛門宛武田神社奉建会評議員委嘱状及同会の趣意書 （関本家文書）	大正6年（1917）	山梨県立博物館		⑦
共生する社会【地方病とのたたかい】				
スチブナル	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病克服（こくふく）に向けて使用された実物道具類	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病予防溝渠（こうきょ）プレート	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
俺は地方病博士だ	大正6年（1917）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
杉浦健造先生頌徳誌	昭和9年（1934）	山梨県立博物館		①②
死体解剖御願（写し）	明治30年（1897）	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
共生する社会【明治40年の大水害】				
水害時に使用した舟	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
明治四十年八月山梨県下水害地巡視日記（古文書雑輯（2））	明治40年（1907）	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
山梨県水害史（甲州文庫）	大正2年（1913）	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
水害写真集（甲州文庫）	明治時代	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
山梨県山林救済意見（甲州文庫）	明治35年（1902）	山梨県立博物館		②③
北海道移住者調（若尾資料）	明治時代～大正時代	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
北海道移住民資料（若尾資料）	大正8年（1919）	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
山梨県農会の大水害善後策（篠原家文書）	明治40年（1907）	山梨県立博物館		④
明治四十年及四十三年水害区間一覽図（若尾資料）	大正時代	山梨県立博物館		⑤

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
山梨県ノ森林整治（甲州文庫）	明治36年（1903）	山梨県立博物館		⑥⑦
共生する社会【山梨と戦争】				
E46集束焼夷弾（模型）	－	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍靴	昭和16年（1941）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府四十九連隊施設鬼瓦	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
歩四九御用バッジ	昭和	山梨県立博物館		①
軍隊関係写真	昭和	山梨県立博物館		①
極秘諸規定教育射撃更正航空綴（田中家資料）	昭和	山梨県立博物館		①
警防団ヘルメット	昭和	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
警防団ビューグル	昭和	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
米機の撒いたビラ（甲州文庫）	昭和20年（1945）	山梨県立博物館		③⑦
私の家の平面図と防空計画（樋口家資料）	昭和	山梨県立博物館		③
警戒警報・空襲警報 発令下当番日記	昭和	山梨県立博物館		③⑦
金属供出関係書類（大木家文書）	昭和14年（1939）	山梨県立博物館		⑦
貯蓄報国の途（市川家資料）	昭和14年（1938）	山梨県立博物館		⑦
【関東大震災90周年展示】				
関東大震災記（樋口家資料）	大正12年（1923）	山梨県立博物館		④⑤⑥
東京大震災の様子を伝える書簡（関本家文書）	大正12年（1923）	山梨県立博物館		④⑤⑥
大正12年の日記（関本家資料）	大正12年（1923）	山梨県立博物館		④⑤⑥
東京市全図 最新大正大震災被害明細（頼生文庫）	大正12年（1923）	山梨県立博物館		④⑤⑥
関東大震災実況写真（若尾資料）	大正12年（1923）	山梨県立博物館		④⑤⑥

(2) 企画展・シンボル展

■開催企画展・シンボル展一覧

	展覧会名	会期
①企画展	i 水の国やまなし－信玄堤と甲斐の人々－	平成25年3月30日（土）から同年5月27日（月）まで
	ii 山梨の近代人物と鉄道	平成25年7月20日（土）から同年9月2日（月）まで
	iii 山梨の名宝	平成25年10月19日（土）から同年12月2日（月）まで
	iv 手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから	平成26年3月21日（土）から同年5月19日（月）まで
②シンボル展	i 北斎の富嶽三十六景	平成25年6月15日（土）から同年7月8日（月）まで

※平成26年3月21日（土）から同年5月19日（月）まで実施した「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」展については平成26年度年報で詳述する。

① 企画展

i 水の国やまなし—信玄堤と甲斐の人々—

【会 期】平成25年3月30日（土）から同年5月27日（月）まで
会期59日、展示日数52日

【主 催】山梨県立博物館

【協 力】テレビ山梨

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、
エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、
日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、
山梨新報社、山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、
読売新聞甲府支局、甲斐市教育委員会、中央市教育委員会、
韮崎市教育委員会、南アルプス市教育委員会、
市川三郷町教育委員会、昭和町教育委員会、
身延町教育委員会

【会 場】企画展示室

【入場者数】5,632人

【担 当】学芸員 西川広平、海老沼真治

【概 要】

四方を囲む山々から多くの河川が流れる山梨は、水資源の豊かな地域として全国的に有名である。山梨の人々は古くから水との関わりを持ち続け、信玄堤に代表される治水・利水技術や水資源を利用した生業を営むとともに水に対する信仰を育んできた。本展では、科研費研究の成果を反映させながら、山梨と水との関わりの深さを紹介し、それによって育まれた文化や交流の広がりを探る。

【関連イベント】

■かいじあむ古文書講座「水に関する古文書を読む1・2」

・講 師：西川広平（学芸員）

・日 時：平成25年4月27日（土）、5月25日（土）午後1時30分～3時

・場 所：生涯学習室

■「水の国やまなし」シンポジウム

・主 催 山梨県立博物館、山梨郷土研究会

・講 師：服部英雄氏（九州大学大学院教授）

齋藤秀樹氏（南アルプス市教育委員会）

西川広平（学芸員）

畑 大介氏（帝京大学文化財研究所）

・パネルディスカッション司会 中山誠二（学芸課長）

・日 時：平成25年5月11日（土）午後1時～5時

・場 所：山梨県総合教育センター大研修室

■かいじあむ子ども工房「蛇籠づくりに挑戦！」

・講 師：南アルプス市上高砂地区の皆さん

・日 時：平成25年4月13日（土）午後1時～3時

・場 所：体験学習室外テラス・庭

■かいじあむ子ども工房「むかしのテトラポット『聖牛』を作ろう」

・日 時：平成25年4月28日（日）、5月26日（日）

開始時間：午前10時、11時、午後1時、2時（各回50分程度）

・場 所：体験学習室



展示会ちらし



展示風景

・対象：小学生以上

■学芸員によるギャラリー・トーク

・日時 平成25年3月30日（土）、31日（日）、4月13日（土）、27日（土）、
5月4日（土）、25日（土）
午後3時から1時間程度

※その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施

午後3時から30分間程度

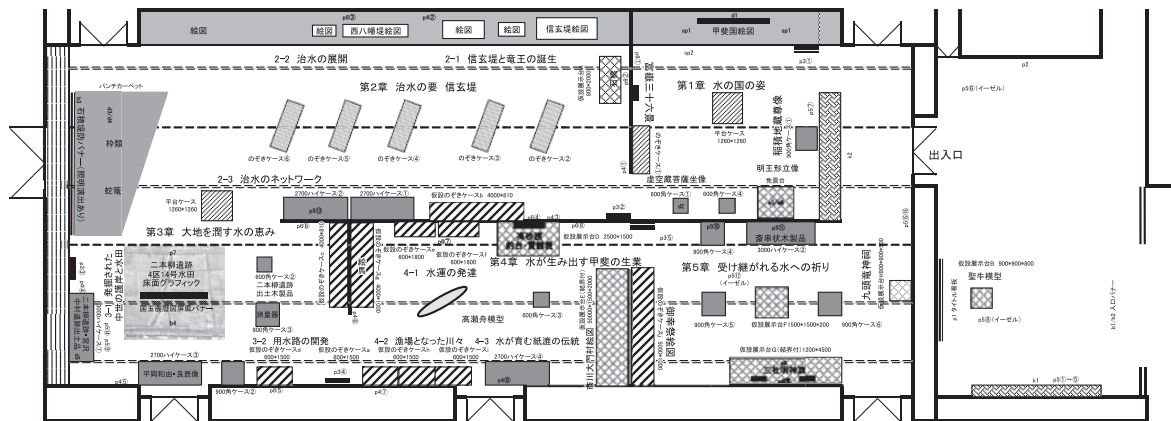
【出品資料一覧】

番号	資料名	指定	数量	分野	所蔵者
1	聖牛模型（南アルプス市上高砂地区制作）		1	復元	山梨県立博物館
第Ⅰ章 水の国の姿					
2	富嶽三十六景「甲州石斑澤」		1	絵画	山梨県立博物館
3	富士三十六景「甲斐御坂越」		1	絵画	山梨県立博物館
4	富嶽三十六景「甲州三坂水面」		1	絵画	山梨県立博物館
5	富士三十六景「甲斐大月原」		1	絵画	山梨県立博物館
6	甲斐国絵図		1	絵図	山梨県立博物館
7	甲斐国絵図		1	絵図	山梨県立博物館（甲州文庫）
8	銅造虚空蔵菩薩坐像（鎌倉時代、13世紀後半）		1	彫刻	南アルプス市法善寺
9	木造明王形立像（鎌倉時代、13世紀前半）		1	書籍	韮崎市苗敷山穂見神社
10	稲積地藏尊像（寛政元年、掛軸）		1	絵画	山梨県立博物館（大木家文書）
11	甲陽軍鑑 品第四（上条地藏、法城寺）		1	書籍	山梨県立博物館（甲州文庫）
12	甲斐国志 古跡部・仏寺部（法城寺跡・宝生寺）		2	書籍	山梨県立博物館（甲州文庫）
13	甲斐叢記前輯 巻之四（苗敷山）		1	書籍	山梨県立博物館
第Ⅱ章 治水の要 信玄堤					
14	永禄3年8月2日 武田家朱印状	○	1	古文書	甲斐市個人（保坂家文書）
15	亥（永禄6年）7月6日 武田家朱印状	○	1	古文書	甲斐市個人（保坂家文書）
16	乙亥（天正3年）12月23日 武田家朱印状	○	1	古文書	甲斐市個人（保坂家文書）
17	丑（天正5年）7月12日 武田家朱印状	○	1	古文書	甲斐市個人（保坂家文書）
18	（天正9年）6月29日 武田家朱印状	○	1	古文書	甲斐市個人（保坂家文書）
19	（文禄5年）閏7月25日 浅野吉明書状		1	古文書	山梨県立博物館（今沢家文書）
20	永禄4年銘 石橋	◇	1	石造物	甲斐市個人
21	信玄堤絵図（文政12年・1829/原図貞享5年・1688）		1	絵図	山梨県立博物館
22	信玄堤絵図（江戸後期、19世紀）		1	絵図	山梨県立博物館
23	信玄堤絵図（文政7年・1824）	◇	1	絵図	甲斐市個人（保坂家文書）
24	延喜式卷二十六（慶長写本）		1	書籍	国立公文書館（内閣文庫）
25	勝山記写本		1	書籍	富士吉田市個人
26	甲斐国志（山川部）		2	書籍	山梨県立博物館（甲州文庫）
27	天正2年正月11日 武田家朱印状		1	古文書	中央市個人（三井家文書）
28	天正8年3月9日 穴山信君判物		1	古文書	中央市個人（三井家文書）
29	丑（慶長6年）5月26日 徳川家奉行連署状		1	古文書	中央市個人（三井家文書）
30	承応3年3月27日 覚		1	古文書	南アルプス市個人（矢崎家文書）
31	承応3年3月16日 覚（幕府奉行人連署状）		1	古文書	南アルプス市個人（矢崎家文書）
32	西郡筋有野村川除御詔之村々書立		1	古文書	南アルプス市個人（矢崎家文書）
33	堤防絵図（西八幡堤）		2	絵図	山梨県立博物館（新海家文書）
34	有野村堤絵図（石積出）		1	絵図	山梨県立博物館（千野家文書）
35	下条南割村絵図（将棋頭）		1	絵図	山梨県立博物館（千野家文書）
36	下条南割村堤防絵図（十六石）		1	絵図	山梨県立博物館（千野家文書）
37	明治廿九年度水害関係書・御影村水害図		2	古文書 絵図	南アルプス市教育委員会
38	釜無川氾濫絵図		1	絵図	南アルプス市長遠寺
39	御手伝御普請・御入用御普請御役人付		1	古文書	山梨県立博物館（有泉家文書）

番号	資 料 名	指定	数量	分 野	所 蔵 者
40	和歌書上		1	古文書	山梨県立博物館（斎藤家資料）
41	一宮浅間宮帳		7	書籍	市川三郷町一宮浅間神社
42	「久貞公年譜」三（古田家文書）		1	書籍	竹田市立歴史資料館（古田家文書）
43	鳥取藩家老日記		2	古文書	鳥取県立博物館
44	普請日論見鑑		1	書籍	山梨県立博物館
45	堤防橋梁組立絵図		1	書籍	八王子市郷土資料館（平家文書）
46	浅川絵図		1	絵図	八王子市個人（関根家文書）
47	駿遠州川々御普請絵図		4	絵図	甲斐市個人（平岡家文書）
48	富士三十六景「駿遠大井川」		1	絵画	山梨県立博物館
49	柁類（韭崎市塩川下河原堤防遺跡出土）		1	考古	韭崎市教育委員会
50	竹蛇籠（南アルプス市上高砂区制作）		1	復元	山梨県立博物館
51	甲斐国巨摩郡大野村絵図面		1	絵図	身延町個人
52	粘土節録音データ		1	音声	
第三章 大地を潤す水の恵み					
53	宮沢中村遺跡5面出土網代護岸・杭（鎌倉期）		4	考古	山梨県立考古博物館
54	二本柳遺跡2区出土杭（平安・鎌倉）		5	考古	山梨県立考古博物館
55	二本柳遺跡4区出土棒状木製品（平安・鎌倉）		1	考古	山梨県立考古博物館
56	二本柳遺跡4区出土鋸形木製品（平安・鎌倉）		1	考古	山梨県立考古博物館
57	嶋上条村絵図		1	絵図	山梨県立博物館（三井家文書）
58	四か村堰御普請願書		1	古文書	山梨県立博物館（竜王村文書その他）
59	徳島堰筋流路図		1	絵図	山梨県立博物館（千野家文書）
60	甲斐国三郡川筋帳		1	古文書	山梨県立博物館（若尾資料）
61	甲州武川・西郡筋新田堰修復御普請入用勘定帳		1	古文書	南アルプス市個人（矢崎家文書）
62	平岡和由・良辰像	◇	2	彫像	北杜市浄居寺
63	窪田幸左衛門像		1	絵画	北杜市個人
64	測量器		1	歴史	北杜市個人
65	永田家代々水積相動候に付き口上書下書（永田家文書）		1	書籍	茨城県常陸太田市個人
66	本書（辰野口江関普請場敷覚）（永田家文書）		1	書籍	茨城県常陸太田市個人
67	永田家水積役心得（永田家文書）		1	書籍	茨城県常陸太田市個人
第四章 水が生み出す甲斐の生業					
68	瑞泉寺縁起 巻四		1	絵画(折本)	京都市瑞泉寺
69	甲州道中身延詣図巻		1	絵画	山梨県立博物館
70	富士川水運積荷木札		162	歴史	山梨県立博物館
71	水行直仕形絵馬	◇	1	絵画	富士川町横向七面堂
72	水行難船場有形絵馬	◇	1	絵画	富士川町横向七面堂
73	高瀬舟模型		1	模型	身延町教育委員会
74	高砂渡 鞆台		1	歴史	南アルプス市教育委員会
75	高砂渡 橋梁渡船賃表		1	歴史	南アルプス市教育委員会
76	丙子（天正4年）11月10日 穴山信君判物		1	古文書	南部町個人（森家文書）
77	辰（天正8年）8月25日 穴山信君朱印状		1	古文書	南部町個人（森家文書）
78	甲斐名所寿古六（「境川乃鮎」「忘川 舟」）		1	絵画	山梨県立博物館（甲州文庫）
79	川々鮎運上請負人入札触		1	古文書	山梨県立博物館（甲州文庫）
80	桂川筋登り鮎法度に対し不埒の心得吟味願		1	古文書	山梨県立博物館（甲州文庫）
81	もじり漁漁具		2	民俗	身延町教育委員会
82	西島紙漉道具	○	4	民俗	身延町個人
83	並山日記		1	書籍	山梨県立博物館（若尾資料）
84	甲斐叢記		1	書籍	山梨県立博物館
85	西未の印	○	1	民俗	身延町個人
86	甲州河内改印	○	1	民俗	身延町個人
87	市川大門村並絵図	◇	1	絵図	市川三郷町
第五章 受け継がれる水への祈り					
88	棒状木製品（二本柳遺跡出土）		4	考古	山梨県立考古博物館

番号	資 料 名	指定	数量	分野	所 蔵 者
89	棒状木製品・人形ほか（大師東丹保遺跡出土）		10	考古	山梨県立考古博物館
90	斎串（平城京左京一条三坊大路側溝出土）		10	考古	奈良文化財研究所
91	箸状木製品（静岡市 上土遺跡立石地区出土）		10	考古	静岡県埋蔵文化財センター
92	斎串状木製品（平田宮第2遺跡出土）		18	考古	山梨県立考古博物館
93	井戸曲物・杵・土器・石製品（平田宮第2遺跡出土）		26	考古	山梨県立考古博物館
94	甲斐叢記（「東御幸」）		1	書籍	山梨県立博物館
95	御幸祭絵図（甲斐国一二三御幸ノ図）		1	絵画	山梨市個人
96	三社明神旗	◇	2	歴史	甲斐市個人
97	九頭竜神祠		1	民俗	南アルプス市上高砂区

【展示平面図】



ii 山梨の近代人物と鉄道

【会 期】平成25年7月20日(土)から同年9月2日(月)まで
会期日数45日、展示日数44日

【主 催】山梨県立博物館、山梨日日新聞社・山梨放送

【後 援】J R東日本八王子支社、J R東海、朝日新聞甲府総局、
NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、
産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、
日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、
山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

【協 力】株式会社丸政、株式会社みどりや、山梨交通株式会社、
レール・パル351

【企 画】東映

【会 場】企画展示室

【入場者数】29,391人

【担 当】学芸員 植月 学、小畑茂雄

【概 要】

中央線が甲府まで開通して110年を迎えることを記念し、そのあゆみや日本の鉄道発展に貢献した山梨の人々を紹介するとともに、当時日本最長の笹子トンネル工事からリニア中央新幹線まで、山梨や日本における地域間の交流や発展に果たした鉄道の役割やその未来について様々な角度から紹介した。



展覧会ちらし

【関連イベント】

■かいじあむ検定「近代人物ゆかりの地をめぐるツアー」

- ・日時：平成25年8月3日（土）
午前10時～11時30分、午後1時30分～3時

- ・場所：JR勝沼駅周辺および企画展示室
- ・共催：NPO法人つなぐ

■かいじあむ検定「やまなしの近代人物と鉄道」ミニ展示

- ・日時：平成25年8月6日（火）～18日（日）午前9時～午後5時
- ・場所：山梨県立図書館 1F 交流ルーム101
- ・共催：山梨県立図書館、NPO法人つなぐ

■かいじあむ講座「山梨の近代人物について」

- ・日時：平成25年8月11日（日）午後1時30分～3時
- ・場所：山梨県立図書館 2F 多目的ホール
- ・講師：高橋 修 氏（東京女子大学准教授）
- ・共催：山梨県立図書館、NPO法人つなぐ

■かいじあむ子ども工房「ミニバスに試乗してみよう」

- ・日時：平成25年7月28日（日）午前10時30分～午後3時
- ・場所：エントランス前広場
- ・協力：山梨交通株式会社

■古文書講座「山梨の近代人物について1・2」

- ・日時：平成25年7月27日（土）、8月24日（土）午後1時30分～3時
- ・生涯学習室
- ・講師：小畑茂雄（当館学芸員）

■学芸員によるギャラリートーク

- ・平成25年7月20日（土）、21日（日）、27日（土）、8月24日（土）
午後3時から1時間程度

※それ以外の開催日には展示交流員によるガイドツアーを実施

午後3時から30分間程度



展示風景

【出品資料一覧】

番号	資料名	点数	年代	所蔵者
ロビー展示				
1	レール	2	明治20年（1887）	山梨交通株式会社
第1章 日本の鉄道の歴史				
2	7100形蒸気機関車（模型）	1	-	個人
3	2軸客車（模型）	1	-	個人
4	4030形蒸気機関車（模型）	1	-	個人
5	8100形蒸気機関車（模型）	1	-	個人
6	C53形機関車（模型）	1	-	個人
7	国鉄ED17形電気機関車（模型）	1	-	個人
8	国鉄D51形機関車（模型）	1	-	個人
9	国鉄モハ51形電車（模型・2両編成）	1	-	個人
10	国鉄C62形蒸気機関車（模型）	1	-	天賞堂
11	国鉄ED71形電気機関車（模型）	1	-	天賞堂
12	国鉄EF64形（1000番台）電気機関車（模型）	1	-	個人
13	国鉄ED75形電気機関車（模型）	1	-	天賞堂
14	JR東日本253系電車（模型）	1	-	個人

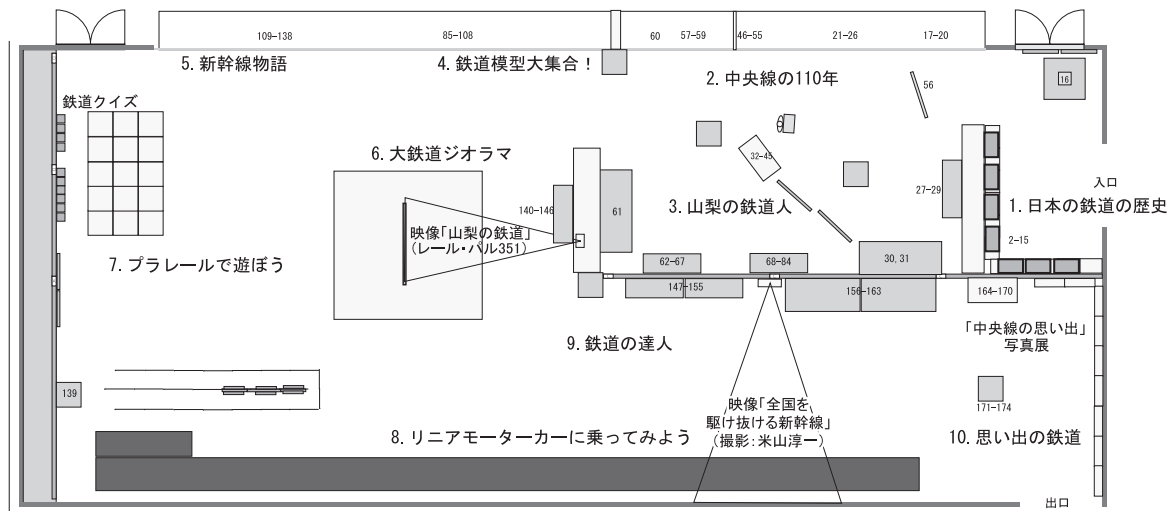
番号	資料名	点数	年代	所蔵者
15	J R東日本E653系電車(模型)	1	-	個人
第2章 中央線の110年				
16	上野原駅跨線橋橋脚	1	明治34年(1901)	上野原市教育委員会
前史				
17	三代歌川広重筆 東京府下名所尽 新橋ステーション	1	明治7年(1874)	個人
18	三代歌川広重筆 東京真景図会 新橋汐留ステーション	1	明治8年(1875)	個人
19	文鎮(鉄道50周年記念・双頭レール使用)	1	大正11年(1922)	個人
20	汽車汽船旅行案内	1	明治33年(1900)	個人
ふたつの「中央線」と建設まで				
21	甲信鉄道起業目論見	1	明治20年(1887)	山梨県立博物館(大木家文書)
22	山梨鉄道起業意見書	1	明治22年(1889)	山梨県立博物館(甲州文庫)
23	山梨鉄道会社創立再願書	2	明治22年(1889)	個人
24	蒸気車往復繁栄之図	1	明治22年(1889)	山梨県立博物館(甲州文庫)
25	鉄道期成同盟陳情書	1	明治24年(1891)	山梨県立博物館(大木家文書)
26	中央鉄道意見書 全	1	明治27年(1894)	個人
笹子トンネルの開鑿				
27	伊藤博文揮毫「因地利」拓本	1	昭和41年(1966)	株式会社みどりや
28	法被型紙	4	明治時代	甲州市教育委員会
29	中央線甲府八王子間記念写真	1	明治35年(1902)	個人
30	牧野遺跡出土煉瓦	18	明治時代	上野原市教育委員会
31	勝沼上町事務所跡出土遺物	45	明治時代	甲州市教育委員会
中央線をめぐる文化				
32	構内営業許可証	1	-	株式会社丸政
33	「ささご」駅名標	1	-	株式会社みどりや
34	駅弁掛け紙	16	昭和	株式会社丸政・山梨県立博物館
35	笹子餅暖簾	1	昭和	株式会社みどりや
36	駅構内販売規定	3	-	株式会社みどりや
37	駅弁パッケージ	8	昭和	株式会社丸政
38	ほろほろランチ	1	昭和	桂川館
39	構内販売帖	3	昭和9~11年 (1934-36)	株式会社みどりや
40	復刻汽車土瓶	1	昭和	株式会社丸政
41	汽車土瓶	2	明治~大正時代	山梨県立考古博物館
42	汽車土瓶(断片)	15	明治~大正時代	山梨県立考古博物館
43	駅弁販売員法被	1	-	株式会社丸政
44	笹子餅番重	1	-	株式会社みどりや
45	駅弁掛け紙・笹子餅レット	16	大正~昭和	桂川館・株式会社みどりや・ 山梨県立博物館
中央線の開通				
46	中央線開通祝賀関係資料	1	明治36年(1903)	山梨県立博物館(高室家資料)
47	甲府一長野方向板	1	昭和	個人
48	中央線鉄道案内	1	明治36年(1903)	山梨県立博物館
49	中央鉄道甲府ステーション石版図	1	明治36年(1903)	山梨県立博物館
50	急行アルプス 新宿一南小谷(辰野経由)方向板	1	昭和	個人
51	甲府停車場開通式	1	明治36年(1903)	山梨県立博物館(甲州文庫)
52	初代甲府駅舎図面	1	明治時代	個人
53	甲府運輸事務所管内停車場平面図	1	明治43年(1910)	個人
54	日本全国鉄道路線図(鉄道時報第224号付録)	1	明治37年(1904)	個人
55	中央線案内	1	明治45年(1912)	個人
56	腕木式信号機	1	-	甲斐市教育委員会
中央線の近代化				
57	中央線電化記念写真帖	1	昭和6年(1931)	山梨県立博物館(甲州文庫)
58	上野原一甲府一小淵沢 甲斐路の今と昔 中央線開通50周年	1	昭和28年(1953)	個人

番号	資料名	点数	年代	所蔵者
59	甲府一新宿間 複線完成祝賀会プログラムほか	4	昭和45年 (1970)	個人
第3章 山梨の鉄道人				
若尾逸平				
60	若尾逸平一代図屏風	1	大正時代	南アルプス市白根桃源美術館
61	若尾逸平皮羽織	1	-	南アルプス市白根桃源美術館
雨宮敬次郎				
62	雨宮敬次郎還暦祝賀園遊会演芸番組	1	明治39年 (1906)	個人
小野金六				
63	富士身延鉄道開業記念写真帳	1	昭和3年 (1928)	個人
64	富士身延鉄道沿線名所図会	1	昭和3年 (1928)	山梨県立博物館 (甲州文庫)
堀内良平				
65	富士急行2000形電車 (フジサン特急3両編成 模型)	1	-	個人
66	富士山麓電気鉄道株式会社開通記念郵便はがき	1	昭和4年 (1929)	山梨県立博物館 (長谷川家文書)
67	富士山麓電気鉄道株式会社富士山麓土地株式会社株式募集	1	-	個人
根津嘉一郎				
68	東武鉄道社紋	1		東武博物館
69	東武鉄道自慢のロマンスカー1720形 (6両編成 模型)	1	昭和35年 (1960)	個人
70	時代物「絵葉書」	3	-	個人
71	東武鉄道路線図 (レプリカ)	1	-	東武博物館
小林一三				
72	阪急電鉄夙川―甲陽園間の電車全面の方向板	1	昭和50年代	個人
73	沿線甲陽園公園絵はがき	3	-	個人
74	阪神急行電鉄時代の沿線案内類	3	-	個人
75	箕面有馬電気軌道開通当時の1形電車絵はがき	1	-	個人
76	京阪神急行電鉄社章	1	昭和18年 (1943)	個人
77	阪急百貨店発売の便箋 (レターペーパー)	1	昭和10年代	個人
78	阪急電車模型 (2両編成)	1	-	個人
79	昭和12年に開場した西宮球場絵はがき	1	昭和12年 (1937)	個人
80	観艦式記念絵はがき	1	昭和10年代	個人
81	阪急百貨店の包装紙	1	昭和30年代	個人
82	開業当時の宝塚駅と温泉場絵はがき	2	明治43年 (1910)	個人
83	阪急電車絵はがき	1	昭和	個人
早川徳次				
84	東京地下鉄道パンフレット	1	昭和	個人
第4章 鉄道模型大集合!				
85	8620形蒸気機関車 (48638号機) ナンバープレート	1	-	個人
86	あずさ他の記念乗車券数種	4	昭和	個人
87	181系特急「あずさ」車体切り抜きプレート (クハ181-101)	1	昭和	個人
88	E F 1 3形電気機関車牽引準急「穂高」 (模型 8両編成)	1	-	個人
89	115系800番台 中央線用近郊型電車 (模型 6両編成)	1	-	個人
90	71系 中央線用横須賀形電車 (模型 3両編成)	1	-	個人
91	115系身延線ワインレッド色 (模型 3両編成)	1	-	個人
92	183系特急「あずさ」 (模型 8両編成)	1	-	個人
93	183系特急「あずさ」特別塗色 (模型 9両編成)	1	-	個人
94	E D 1 7形電気機関車 (模型)	1	-	個人
95	E D 5 1形電気機関車 (模型)	1	-	個人
96	E D 1 5形電気機関車 (模型)	1	-	個人
97	E D 6 1形電気機関車 (模型)	1	-	個人
98	E F 6 4形電気機関車 (模型)	1	-	個人
99	C 5 6形蒸気機関車と客車・貨物混合列車 (模型 6両編成)	1	-	個人
100	165系急行「アルプス」 (模型 8両編成)	1	-	個人
101	181系特急「あずさ」 (模型 9両編成)	1	-	個人

番号	資料名	点数	年代	所蔵者
102	500系新幹線「のぞみ」号(模型 16両編成)	1	-	個人
103	0系新幹線「ひかり」号(模型 16両編成)	1	-	個人
104	ED17形電気機関車・ED16形電気機関車と旧型客車(模型 7両編成)	1	-	個人
105	キハ58系急行「アルプス」(模型 4両編成)	1	-	個人
106	DE10形ディーゼル機関車牽引の12系団体列車(模型 5両編成)	1	-	個人
107	80系湘南形電車 急行「富士川」(模型 4両編成)	1	-	個人
108	70系横須賀形電車(模型 4両編成)	1	-	個人
第5章 新幹線物語				
109	国鉄トラベルフォトニュース「東海道新幹線 試運転開始」	1	昭和30年代	個人
110	国鉄トラベルフォトニュース「東海道新幹線 “夢の超特急” 試作電車」	2	昭和30年代	個人
111	国鉄トラベルフォトニュース「来年の開通めざし急ピッチに工事進む 東海道新幹線」	1	昭和38年(1963)	個人
112	国鉄トラベルフォトニュース「いよいよ今秋開通 東海道新幹線の準備すすむ」	1	昭和39年(1964)	個人
113	「東京―大阪間 楽しい日帰りの旅も」ポスター	1	昭和39年(1964)	個人
114	「東海道に新しい名所も」ポスター	1	昭和39年(1964)	個人
115	「1982年の旅は210km(東北新幹線開業告知)」ポスター	1	昭和57年(1982)	個人
116	「東北新幹線6月23日開業」ポスター	1	昭和57年(1982)	個人
117	超特急ひかり1号新大阪行表示板	1	昭和	個人
118	特急こだま117号新大阪行表示板	1	昭和	個人
119	0系新幹線車体切り抜き形式プレート(「22-84」・「21-106」)	2	昭和	個人
120	0系新幹線車内形式プレート(「21-76」・「22-10」・「16-4」・「15-4」)	4	昭和	個人
121	0系新幹線をあしらった記念品スプーン	1	昭和	個人
122	東海道新幹線試乗会 記念タイピン・カフス	3	昭和	個人
123	新幹線パッケージの煙草(Peace)・マッチ	2	昭和	個人
124	0系新幹線リュックで使われていた時計	1	昭和	個人
125	車内検札用はさみ(N鉄)	1	昭和	個人
126	乗務員ワッペン(「車掌長」・「乗客掛」・「客専」)	3	昭和	個人
127	0系新幹線食堂車で使われていた食器一式(皿3種・ボウル・カップ2種・フォーク・ナイフ2種)	1	昭和	個人
128	0系新幹線食堂車表示プレート	1	昭和	個人
129	0系新幹線 食堂車のメニュー2種	2	昭和	個人
130	新幹線記念品各種	9	昭和～平成	個人
131	新幹線パンフレット(100系車両・300系スーパーひかり・N700系・E5系はやぶさ登場および新青森開通・E5系はやぶさ・E6系こまち登場・九州新幹線直通開始)	7	昭和～平成	個人
132	東海道新幹線ポスター「90年代へ たしかな1本の道でありたい。東海道新幹線。」	1	平成	個人
133	新ダイヤ&品川駅開業記念品	1	平成15年(2003)	個人
134	JR東海品川駅開業記念N700系クリスタル置物	1	平成15年(2003)	個人
135	JR東海N700系試乗会記念品USB	1	平成	個人
136	JR東海N700系試乗会参加証	1	平成	個人
137	東北新幹線はやぶさ記念品各種	2	平成23年(2011)	個人
138	JR九州800系新幹線試乗会記念クリスタル置物	1	平成	個人
第6章 大鉄道ジオラマ				
第7章 プラレールで遊ぼう				
第8章 リニアモーターカーに乗ってみよう				
139	山梨リニア実験線 超電導リニア模型	3	平成	リニア中央新幹線建設促進 山梨県期成同盟会

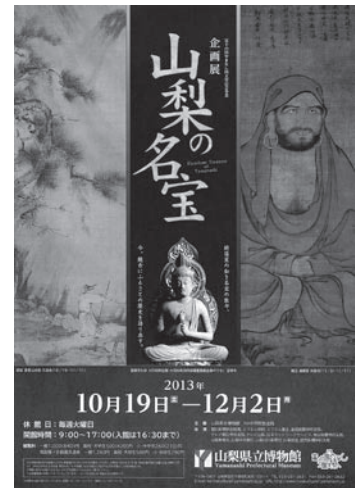
番号	資料名	点数	年代	所蔵者
第9章 鉄道の達人				
星 晃				
140	星晃氏初の設計となる三等寝台車ナハネ10形(模型)	1	-	個人
141	星晃氏設計のナハ10系軽量客車(試作車)昭和30年(1955)頃の姿(模型)	1	-	個人
142	星晃氏設計の新型車両展示会で配布されたパンフレット各種(ナハネ10形寝台車・ナハ10形3等客車・オシ17形食堂車・モハ20系「特急こだま号」・キハ80系特急ディーゼル動車・155系「ひので形」修学旅行電車)	6	昭和30年代	個人
143	新幹線試作電車の高速度記録(256km/h)記念プレート	1	昭和38年(1963)	個人
144	車両内部に取り付けられていたメーカー・国鉄工場プレート(昭和26年 汽車会社東京製作所・昭和7年製造 汽車会社東京支店・昭和36年更新修繕 国鉄幡生工場・昭和25年鋼体化改造 国鉄大宮工機部・昭和38年改造 国鉄多度津工場)	5	昭和	個人
145	星晃氏設計の80系湘南型電車設計図面(複写)	2	昭和	個人
146	車両の妻面に取り付けられていたプレート(鉄道省・運輸省・日本国有鉄道)	3	昭和	個人
白土 貞夫				
147	富士身延鉄道・身延線関係写真絵葉書(芝川駅・身延駅・下部駅2種)	4	昭和	個人
148	富士山麓電気鉄道(現富士急行)関係写真絵葉書(金鳥居2種・谷村・富士山)	4	昭和	個人
149	甲府駅周辺関係写真絵葉書(駅前通り2種・初代甲府駅舎2種・柳町通り・甲府市役所前の山梨交通電車線・2代目甲府駅舎2種)	8	大正～昭和	個人
150	中央東線関係絵葉書(勝沼駅スイッチバック・初鹿野駅付近・笹子隧道3種・小淵沢駅2種・大月駅・猿橋3種・上野原駅・与瀬駅2種・浅川駅・八王子駅・立川駅・多摩川橋梁・新宿駅2種)	20	大正～昭和	個人
151	小林一三関係鉄道(阪急電鉄)絵葉書	6	大正～昭和	個人
152	根津嘉一郎関係鉄道(東京地下鉄道・南海鉄道・東武鉄道)絵葉書	6	大正～昭和	個人
153	富士五湖めぐりパンフレット	2	昭和	個人
154	雨宮敬次郎関係鉄道(大日本軌道・東京市街鉄道・甲武鉄道)絵葉書	6	明治時代	個人
155	小野金六関係鉄道(富士身延鉄道)絵葉書	6	大正時代	個人
関田 克孝				
156	子供向け乗物絵本の附録(すごろく・紙工作キット・図解)	3	昭和	個人
157	乗物絵本見開き	10	昭和	個人
158	明治期の乗物絵本	10	明治時代	個人
159	大正期の乗物絵本	10	大正時代	個人
160	昭和戦前期の乗物絵本	18	昭和	個人
161	昭和戦後期の乗物絵本	24	昭和20年代	個人
162	近現代の乗物絵本	18	昭和30～50年代	個人
163	絵本に登場した中央線	3	昭和～平成	個人
第10章 思い出の鉄道				
164	第一期生沿線視察記念写真	1	昭和5年(1930)	山梨交通株式会社
165	電車線廃止記念写真集	1	昭和37年(1962)	山梨交通株式会社
166	旅客運賃表(山梨交通電車)	1	昭和32年(1957)	山梨交通株式会社
167	創立60周年記念車両模型	1	平成17年(2005)	山梨交通株式会社
168	車両竣工図表	1	昭和4年(1929)	山梨交通株式会社
169	「車掌」腕章	2	昭和	山梨交通株式会社
170	切符(山梨交通電車)	14	昭和37年(1962)	山梨交通株式会社
171	JR 駅長制服	1	昭和～平成	個人
172	国鉄夏用制帽	1	昭和	個人
173	JR 冬用制帽	1	平成	個人
174	「乗客専務」(車掌)腕章	1	-	個人

【展示平面図】



iii 山梨の名宝

- 【会 期】平成25年10月19日（土）～12月2日（月）
会期日数45日間、展示日数39日
- 【主 催】山梨県立博物館、NHK甲府放送局
- 【後 援】朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、
産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、
日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、
山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局
- 【会 場】企画展示室
- 【入場者数】9,275人
- 【担 当】学芸課長 中山誠二、学芸員 近藤暁子、海老沼真治
- 【概 要】



展覧会ちらし

山梨には、先人たちによって生み出され、また、守り伝えられてきた文化財が、数多く残されている。考古資料・絵画彫刻・古文書など、多岐にわたるそれらは、いずれも人々の思いや、その時々を社会状況を反映した、「歴史」そのものにほかならない。本展では、国民文化祭の開催にあわせて、そうした数々の文化財を一堂に会し、それらを育んできた本県の豊かな歴史への認識を新たにするとともに、そうした文化財を後世へと受け継いでいくことが現在を生きる我々の使命であることを、来館者に喚起することを目的とした。

【関連イベント】

■記念講演会「絵画をみている 山梨県下の作品を中心に」

- ・講 師 有賀祥隆氏（山梨県文化財保護審議会委員、東京藝術大学客員教授）
- ・日 時 平成25年11月3日（日） 午後1時30分～3時
- ・場 所 生涯学習室

■記念講演会「仏像 祈りと風景」

- ・講 師 長岡龍作氏（東北大学大学院教授）
- ・日 時 平成25年11月24日（日） 午後1時30分～3時
- ・場 所 生涯学習室



展示風景

■民俗芸能公演「国指定重要無形民俗文化財 天津司舞」

- ・上演 天津司舞保存会
- ・日時 平成25年11月17日（日） 午後1時30分～3時
- ・場所 庭

■かいじあむ検定「山梨の名宝 ミニ展示」

- ・日時 平成25年10月8日（火）～20日（日）
- ・場所 甲府市立図書館

■山梨の名宝をめぐるツアー

- ・日時 平成25年11月9日（土） 第1部 午前11時から1時間程度
第2部 午後2時から2時間程度
- ・場所 第1部 企画展示室
第2部 ゆかりの地（山梨市清白寺ほか）ウォーキング

■かいじあむ古文書講座「名宝に関する古文書を読む」

- ・講師 海老沼真治（当館学芸員）
- ・日時 平成25年10月26日（土） 午後1時30分～3時
同 11月23日（土） 同
- ・場所 生涯学習室

■かいじあむ子ども工房「蓮の花を作ろう」

- ・日時 平成25年11月24日（日） 午前10時30分～午後3時
- ・場所 ロビー

■ギャラリートーク

- ・日時 平成25年10月19日（土）、20日（日）、11月2日（土）、9日（土）、16日（土）、30日（土）
午後3時から1時間程度（11月9日は午前11時から）
- ・その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施 午後3時から30分間程度

【出品資料一覧】

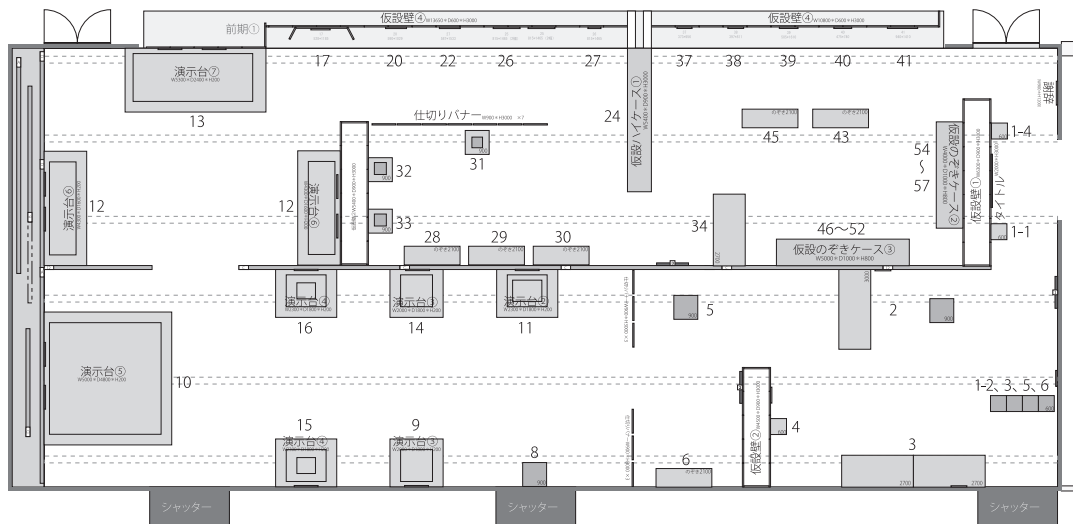
●国宝、◎重要文化財、○県指定文化財

No.	指定	資料名	員数	材質・技法	法量 (cm)	時代	所蔵者	前期 (10.19~ 11.11)	後期 (11.19~ 12.2)
第一章 文化の黎明									
1	◎	鋳物師屋遺跡出土品	6点	土製	1 円錐形土偶 高25.2 幅13.0 2 鉢形土器 高13.5 幅21.0 3 深鉢形土器 高23.0 幅12.6 4 把手付深鉢形土器 高18.0 幅12.5 5 深鉢形土器 高42.5 高28.2 6 深鉢形土器 高39.5 高31.0	縄文時代中期中葉 (藤内式)	南アルプス市	○	○
2	◎	一の沢遺跡出土品	7点	土製	1 把手付深鉢形土器 高60.0 幅60.0 2 把手付深鉢形土器 高50.0 幅45.0 3 把手付深鉢形土器 高45.0 幅52.0 4 把手付深鉢形土器 高26.0 幅29.0 5 把手付深鉢形土器 高36.0 幅32.0 6 把手付深鉢形土器 高56.0 幅51.0 7 深鉢形土器 高55.0 幅48.0	縄文時代中期中葉 (井戸尻式)	山梨県立 考古博物館	○	○
3		甲斐銚子塚古墳出土品		1面 青銅製 1 罎龍鏡 直径15.7 1面 青銅製 2 三角縁陳氏作獣車馬鏡 直径22.1 1面 青銅製 3 仿製獸文帯三神獸鏡 直径20.7 1面 青銅製 4 菱形画文帯環状乳神獸鏡 直径14.5 5点 石製 5 車輪石 直径8.5～12.0 厚0.8～1.2 4点 石製 6 石鈿 直径7.0～8.3 厚0.9～1.7 2点 石製 7 石製杵① 高11.4 幅5.3 石製杵② 高8.0 幅3.0	古墳時代前期 (4世紀)	東京国立博物館	○	○	
4	◎	神獸鏡 赤烏元年五月廿五日在銘 鳥居原狐塚古墳出土	1面	青銅製	直径12.5	三国時代 赤烏元年 (238)	一宮浅間神社 (市川三郷町)	○	○

No.	指定	資料名	員数	材質・技法	法 量 (cm)	時 代	所 蔵 者	前期 (10.19~ 11.11)	後期 (11.13~ 12.2)
5	◎	柏尾山経塚出土品	2点	銅製鑄造 陶製	1 経筒 高29.7 口径17.7 2 外筒 高36.5 口径26.8	平安時代 康和五年 (1103)	東京国立博物館	○	○
第二章 敬虔なる祈り									
6	○	塑造仏像残欠	6個	塑造 漆箔	縦17.4~24.3 横5.5~16.8	奈良時代 (8世紀)	瑜伽寺	○	○
7	◎	葉師如来及両脇侍像	3軀	木造 漆箔	葉師如来像 像高85.4 日光菩薩像 像高103.3 月光菩薩像 像高103.0	平安時代 (9~10世紀)	大善寺	○ (10.30~)	○
8	◎	葉師如来立像	1軀	木造 古色	像高43.3	平安時代 (9~10世紀)	明王寺	○	○
9	◎	聖観音菩薩立像	1軀	木造 漆箔	像高97.5	平安時代 (12世紀)	永源寺	○	○
10	◎	大日如来及四波羅蜜菩薩坐像	5軀	木造 彩色	大日如来像 像高100.4 金剛波羅蜜菩薩像 像高79.1 宝波羅蜜菩薩像 像高78.9 法波羅蜜菩薩像 像高78.7 羯磨波羅蜜菩薩像 像高79.4	平安時代 (12世紀)	宝珠寺	○	○
11	◎	愛染明王坐像	1軀	木造 彩色	像高89.4	平安時代 (12世紀)	放光寺	○	○
12	○	十二神将立像	12軀	木造 彩色	子神像 像高88.5 丑神像 像高85.0 寅神像 像高89.5 卯神像 像高84.3 辰神像 像高94.0 巳神像 像高85.4 午神像 像高85.3 未神像 像高89.1 申神像 像高87.4 酉神像 像高86.2 戌神像 像高87.1 亥神像 像高84.4	鎌倉時代 (12~13世紀)	瑜伽寺	○	○
13	◎	吉祥天及二天像 蓮慶作	3軀	木造 彩色 玉眼	吉祥天像 像高108.8 持国天像 像高116.8 多聞天像 像高118.7	鎌倉時代 寛喜三年 (1231)	福光園寺	○	○
14	◎	聖徳太子立像	1軀	木造 彩色 玉眼	像高114.5	鎌倉時代 (14世紀)	仁勝寺	○	○
15	◎	中峰明本 (普応国師) 坐像 院広・院遵作	1軀	木造 彩色 玉眼	坐高82.5	南北朝時代 文和二年 (1353)	栖雲寺	○	○
16	◎	夢窓疎石 (夢窓国師) 坐像 行成作	1軀	木造 彩色 玉眼	坐高79.1	南北朝時代 延文二年 (1357)	古長禪寺	○	○
17	●	夏景山水図 胡直夫筆	1幅	絹本着色	縦118.5 横52.8	宋時代 (12~13世紀)	久遠寺	○	
18	●	達磨図 蘭溪道隆賛	1幅	絹本着色	縦108.2 横60.6	鎌倉時代 (13世紀)	向嶽寺	○ (11.3~)	
19	◎	釈迦八相図	3幅	絹本着色	第一幅 縦118.5 横83.0 第二幅 縦117.6 横81.2 第三幅 縦117.9 横81.2	鎌倉時代 (13世紀)	久遠寺		○
20	○	地藏十王図	1幅	絹本着色	縦102.9 横59.0	鎌倉時代 (13世紀)	大聖寺	○	
21	○	弘法大師捨身図	1幅	絹本着色	縦98.5 横49.5	鎌倉時代 (13~14世紀)	大聖寺		○
22	○	十字架捧持マニ像	1幅	絹本着色	縦153.3 横58.7	元時代 (13~14世紀)	栖雲寺	○	
23	○	熊野曼荼羅	1幅	絹本着色	縦107.0 横64.5	鎌倉時代 (14世紀)	南北八代熊野神社		○
24	◎	法然上人絵伝	2幅	絹本着色	第一幅 縦153.7 横110.5 第二幅 縦153.7 横110.5	鎌倉時代 (14世紀)	山梨県立博物館	○	○
25	◎	仏涅槃図 伝雲彩筆	1幅	絹本着色	縦208.3 横146.5	室町時代 永享七年 (1435)	大蔵経寺		○
26	○	善光寺如来絵伝	2幅	絹本着色	第一幅 縦146.5 横81.5 第二幅 縦145.8 横82.0	室町時代 (15世紀)	善光寺	○	
27	◎	陶弘景聴松図 天与清啓賛	1幅	紙本墨画 淡彩	縦90.0 横29.4	室町時代 嘉吉二年 (1442)	山梨県立博物館	○	
28	◎	仁王経疏 卷上 本 円測撰	1巻	紙本墨書	縦27.3 横1925.0	奈良時代 (8世紀)	個人	○	○
29	◎	本朝文粹	2巻	紙本墨書	卷第三(栞紙) 縦28.8 横1666.8 卷第十三(鳥の子紙) 縦28.8 横1972.6	鎌倉時代 建治二年 (1276)	久遠寺	○ (巻三)	○ (巻十三)
30	◎	塩山和混合水集板木	1枚	木造	縦25.3 横98.7	南北朝時代 至徳三年 (1386)	向嶽寺	○	○
31	◎	鰐口	1口	銅製鑄造	面径38.0 胴厚12.7	鎌倉時代 貞応三年 (1224)	明王寺	○	
32	○	男神鏡像	1面	銅製鑄造	鏡径26.4 縁厚0.5	鎌倉時代 天福元年 (1233)	高尾山穂見神社	○	
33	○	蔵王権現鏡像	1面	銅製鑄造	鏡板径35.5 縁厚0.9	室町時代 (15世紀)	金櫻神社(山梨市)	○	○

No.	指定	資料名	員数	材質・技法	法量 (cm)	時代	所蔵者	前期 (10.19~ 11.11)	後期 (11.13~ 12.2)
第三章 戦国の雄、威風堂々									
34	◎	太刀 銘一	1口	鉄製	長さ64.5 反り2.9	鎌倉～南北朝時代 (13～14世紀)	武田神社	○	○
35	◎	武田信虎像 武田信廉筆・春国 光新賛	1幅	絹本着色	縦82.0 横46.5	戦国時代 天正二年 (1574)	大泉寺		○
36	◎	武田信虎夫人像 武田信廉筆・ 安之玄穩賛	1幅	絹本着色	縦87.6 横37.3	戦国時代 天文 二十二年 (1553)	長禅寺		○
37	○	穴山信友像 希庵玄密賛	1幅	絹本着色	縦93.6 横37.3	戦国時代 永禄十年 (1567)	円蔵院	○	
38	○	穴山信友夫人像 天桂玄長賛	1幅	絹本着色	縦81.1 横39.7	戦国時代 永禄九年 (1566)	南松院	○	
39	○	穴山勝千代像 桂岩徳芳賛	1幅	絹本着色	縦90.5 横49.5	戦国時代 天正十九年 (1591)	最恩寺	○	
40	○	小山田信有像	1幅	絹本着色	縦74.0 横47.5	戦国時代 (16世紀)	長生寺	○	
41	◎	松梅図 呉太素筆	1幅	絹本墨画	縦141.0 横94.0	元時代 (14世紀)	大泉寺	○	
42	○	渡唐天神像 伝武田信玄筆 鉄山宗純賛	1幅	紙本着色	縦121.9 横49.7	戦国時代 (16世紀)	一蓮寺		○
43	◎	大般若経 民部卿浄心・隆舜筆	2冊	紙本墨書 折本	卷四十 縦25.7 横12.1 卷百九十四 縦25.7 横12.4	鎌倉時代 建長六年 (1254)	法善寺	○ (巻四十)	○ (巻百九十四)
44	○	版本法華経	7冊	紙本墨摺 折本	縦31.8 横12.3	明時代 景泰二年 (1452)	久遠寺		○
45	◎	般若心経 後奈良天皇筆	1巻	紺紙金字 紙本墨書	本経 縦27.3 横69.0 包紙 縦34.5 横50.6	戦国時代 天文十九年 (1550)	浅間神社	○	
46	○	伏見天皇綸旨 (大善寺文書)	1通	紙本墨書	縦31.7 横47.2	鎌倉時代 (正応四年・1291)	大善寺	○	○
47	○	関東下知状 (大善寺文書)	1通	紙本墨書	縦32.9 横51.6	鎌倉時代 延慶三年 (1310)		○	○
48	○	大善寺炎上堂宇什物注進状案 (大善寺文書)	1通	紙本墨書	縦36.6 横44.0	南北朝時代 暦応二年 (1339)		○	○
49	○	武田信武施行状 (大善寺文書)	1通	紙本墨書	縦31.2 横51.0	南北朝時代 延文二年 (1357)		○	○
50	○	続吉讓状 (大善寺文書)	1通	紙本墨書	縦30.0 横45.8	室町時代 応永六年 (1399)		○	○
51	○	前河内守沙弥常俊寄進状 (大善寺文書)	1通	紙本墨書	縦30.9 横46.1	室町時代 応永六年 (1399)		○	○
52	○	鎌倉府巻教請取状 (大善寺文書)	1通	紙本墨書	縦27.0 横37.1	室町時代 永享九年 (1437)		○	○
53	○	向嶽寺境内図 (向嶽寺文書)	1幅	紙本墨書	縦127.3 横178.5	戦国時代 (16世紀)			○
54	○	武田信昌・同信繩連署寺中法度 (向嶽寺文書)	1通	紙本墨書	縦33.4 横97.9	戦国時代 (文亀四年・1504)			○
55	○	武田信玄判物 (向嶽寺文書)	1通	紙本墨書	縦34.0 横48.0	戦国時代 永禄十二年 (1569)		向嶽寺	○
56	○	後奈良天皇徽号勅書 (向嶽寺文書)	1通	紙本墨書	縦33.1 横49.7	戦国時代 天文十六年 (1547)		○	○
57	○	大内記雑掌国教勅書・繪旨副書 (向嶽寺文書)	1通	紙本墨書	縦34.1 横51.7	戦国時代 天文十六年 (1547)		○	○

【展示平面図】



※前期 (10月28日まで) の平面図

② シンボル展

i 北斎の富嶽三十六景

【会 期】平成25年6月15日（土）～7月8日（月）

会期日数24日間、展示日数21日

【主 催】山梨県立博物館、NHK甲府放送局

【会 場】企画展示室

【入場者数】13,850人

【担 当】学芸員 近藤暁子、杵名貴彦

【概 要】

世界で最も有名な富士図の一つである葛飾北斎の「富嶽三十六景」。本作は、北斎が70歳を過ぎた天保元年（1830）頃から数年をかけて刊行され、はじめ36図、後に10図が追加されて46点となったもので、北斎が様々な富士山の表情を卓越した発想による構図と技術で表現した本作を通じて、世界文化遺産登録が成った富士山の信仰の歴史や文化的価値について紹介することも目的とした。また、一部の作品の線描を立体的に表現して、視覚障害者等に向けた「触覚展示」も試験的に実施した。

【関連イベント】

■記念講演会「“北斎・富嶽三十六景”出現の謎～富嶽三十六景の歴史的意義～」

- ・講 師 安村敏信氏（萬美術屋 前板橋区立美術館館長）
- ・日 時 平成25年6月16日（日） 午後1時15分～2時45分まで
- ・場 所 生涯学習室

■かいじあむ古文書講座「富士山に関する古文書を読む」

- ・講 師 宮澤富美恵（当館職員）
- ・日 時 平成25年6月22日（土） 午後1時30分～3時まで
- ・場 所 生涯学習室

■かいじあむ子ども工房1「立体浮世絵を作ろう」

- ・日 時 平成25年6月23日（日） 午前10時30分～午後3時
- ・場 所 生涯学習室

■かいじあむ子ども工房2「浮世絵をすってみよう」

- ・日 時 平成25年7月6日（土）
午前10時～11時30分、午後1時～2時30分
- ・場 所 体験学習室

■伝統木版画摺り実演「北斎・神奈川沖浪裏のできるまで～浮世絵版画の世界～」

- ・実 演 アダチ伝統木版画技術保存財団
- ・日 時 平成25年6月30日（日） 午前11時30分～午後1時、午後2時30分～4時
- ・場 所 企画展示室特設スペース

■ギャラリートーク

- ・日 時 平成25年6月15日（土）、16日（日）、23日（日）、29日（土）、7月7日（日）
午後3時から30分程度

【出品資料一覧】

	資 料 名	制 作 時 期	法 量	技 法
1	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	天保元～5年（1830～34）頃	大判（25.6×37.7cm）	木版多色摺
2	富嶽三十六景 凱風快晴	天保元～5年（1830～34）頃	大判（25.6×37.7cm）	木版多色摺
3	富嶽三十六景 山下白雨	天保元～5年（1830～34）頃	大判（26.3×37.8cm）	木版多色摺
4	富嶽三十六景 深川万年橋下	天保元～5年（1830～34）頃	大判（25.7×37.8cm）	木版多色摺
5	富嶽三十六景 東都駿臺	天保元～5年（1830～34）頃	大判（25.6×37.6cm）	木版多色摺



展示風景



展覧会ちらし

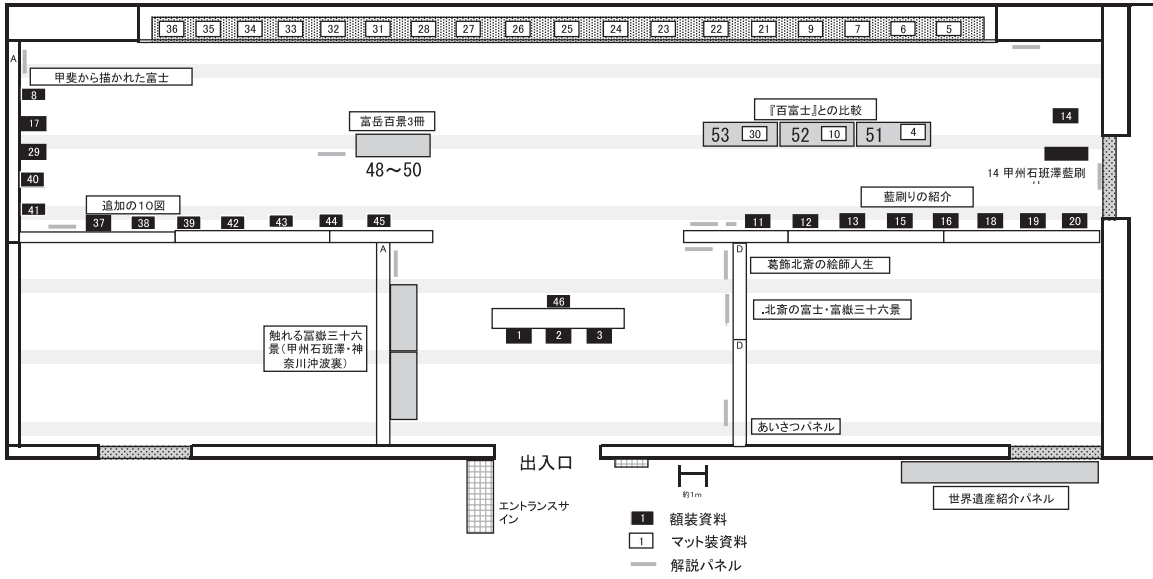
	資 料 名	制 作 時 期	法 量	技 法
6	富嶽三十六景 青山圓座姿	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×38.5cm)	木版多色摺
7	富嶽三十六景 武州千住	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×37.8cm)	木版多色摺
8	富嶽三十六景 甲州犬目峠	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.8cm)	木版多色摺
9	富嶽三十六景 尾州不二見原	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×37.9cm)	木版多色摺
10	富嶽三十六景 武州玉川	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×37.7cm)	木版多色摺
11	富嶽三十六景 武陽佃島	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×37.8cm)	木版多色摺
12	富嶽三十六景 相州七里濱	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×37.8cm)	木版多色摺
13	富嶽三十六景 信州諏訪湖	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.8cm)	木版多色摺
14	富嶽三十六景 甲州石班澤	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.9cm)	木版多色摺
15	富嶽三十六景 常州牛堀	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.2×38.3cm)	木版多色摺
16	富嶽三十六景 相州梅澤左	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×37.8cm)	木版多色摺
17	富嶽三十六景 甲州三寫越	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.5×37.8cm)	木版多色摺
18	富嶽三十六景 東都浅艸本願寺	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×37.7cm)	木版多色摺
19	富嶽三十六景 駿州江尻	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.5×37.6cm)	木版多色摺
20	富嶽三十六景 遠江山中	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.5cm)	木版多色摺
21	富嶽三十六景 礪川雪ノ旦	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.7cm)	木版多色摺
22	富嶽三十六景 下目黒	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.8×38.5cm)	木版多色摺
23	富嶽三十六景 東海道吉田	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (26.5×38.5cm)	木版多色摺
24	富嶽三十六景 上総ノ海路	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.8cm)	木版多色摺
25	富嶽三十六景 登戸浦	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×37.7cm)	木版多色摺
26	富嶽三十六景 江戸日本橋	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (26.3×38.7cm)	木版多色摺
27	富嶽三十六景 隅田川関屋の里	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.0cm)	木版多色摺
28	富嶽三十六景 相州箱根湖水	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×37.5cm)	木版多色摺
29	富嶽三十六景 甲州三坂水面	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.7cm)	木版多色摺
30	富嶽三十六景 東海道程ヶ谷	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×37.7cm)	木版多色摺
31	富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略圖	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.7cm)	木版多色摺
32	富嶽三十六景 御厩川岸より兩國橋夕陽見	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.8cm)	木版多色摺
33	富嶽三十六景 五百らかん寺さざみどう	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.5cm)	木版多色摺
34	富嶽三十六景 隠田の水車	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.5cm)	木版多色摺
35	富嶽三十六景 相州江の寫	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.7cm)	木版多色摺
36	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略圖	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.5cm)	木版多色摺
37	富嶽三十六景 本所立川	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (26.8×38.2cm)	木版多色摺
38	富嶽三十六景 從千住花街眺望ノ不二	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.6cm)	木版多色摺
39	富嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×37.7cm)	木版多色摺
40	富嶽三十六景 甲州伊沢暁	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.9cm)	木版多色摺
41	富嶽三十六景 身延川裏不二	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.5×37.7cm)	木版多色摺
42	富嶽三十六景 相州仲原	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (26.9×39.6cm)	木版多色摺
43	富嶽三十六景 駿州大野新田	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.7×36.6cm)	木版多色摺
44	富嶽三十六景 駿州片倉茶園ノ不二	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.7cm)	木版多色摺
45	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.7cm)	木版多色摺
46	富嶽三十六景 諸人登山	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (26.0×38.8cm)	木版多色摺
47	富嶽三十六景 甲州石班澤 (藍摺)	天保元～5年 (1830～34) 頃	大判 (25.6×37.7cm)	木版藍摺
48	富嶽百景 初編	天保5年 (1834)	22.6×15.6cm	木版墨摺
49	富嶽百景 二編	天保6年 (1835)	22.6×15.6cm	木版墨摺
50	富嶽百景 三編	刊行年不詳	22.6×15.6cm	木版墨摺
51	百富士 一 江府中	明和4年 (1767)	25.3×18.0cm	木版墨摺
52	百富士 二 裏富士 武州 相州 甲州 駿州	明和4年 (1767)	25.3×18.0cm	木版墨摺
53	百富士 三 東海道	明和4年 (1767)	25.3×18.0cm	木版墨摺

※所蔵はすべて山梨県立博物館

(触覚展示) 「触れる富嶽三十六景」	
1	神奈川沖浪裏
2	甲州石班澤

※常磐大学中村研究室制作

【展示平面図】



(3) 展覧会関係刊行物

名称	発行年月日	体裁
1 「水の国やまなし —信玄堤と甲斐の人々— 展図録	平成25年3月30日	A4版 136頁
2 「北斎の富嶽三十六景」展 リーフレット	平成25年6月15日	B5版 8頁 (発行：NHK甲府放送局・ 山梨県立博物館)
3 「山梨の近代人物と鉄道」展 リーフレット	平成25年7月20日	A4版 8頁
4 「山梨の名宝」展図録	平成25年10月19日	A4版 144頁
5 「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」展図録	平成25年6月29日	A4版変形 236頁 (発行：NHKプロモーション)



1



2



3



4

第5章 企画交流事業

(1) 特別イベント「かいじあむ交流広場」

平成26年1月2日（木）～平成26年3月3日（月）

県立博物館は、あらゆる人がさまざまな活動に参加し、出会い、楽しみながら学ぶことができる「人・モノ・情報」が交流する博物館を目指している。

この実現に向けて、開館以来、博物館スタッフが、ボランティア、NPO、教職員さらには県内の博物館施設等に所属する学芸員・文化財主事と相互に連携し合いながら、各種イベントや学校等への出前授業などの博物館活動を行ってきた。

本特別イベントでは、県立博物館で生まれた様々な交流活動の様子を、「学芸員おすすめの一品」「縄文王国山梨」ほか実物資料の展示を交えながら紹介した。



構成

- 1 かいじあむ交流の輪
- 2 力作ぞろい
児童生徒の作品発表
- 3 学芸員 おすすめの一品
- 4 縄文王国山梨



(2) 生涯学習サービス事業

① 講演会・講座・シンポジウム等

■講演会

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
平成25年 6月7日(日)	高橋 修(茨城大学教授)	「武田家の祖 新羅三郎義光とその一族」	恩賜林記念館	40
6月16日(日)	安村敏信 (萬美術館 前板橋区立美術館館長)	「“北斎・富嶽三十六景”出現のナゾ ～富嶽三十六景の歴史的意義～」	県立博物館	132
11月3日(日)	有賀祥隆(山梨県文化財保護審議会委員 東京藝術大学客員教授)	「絵画をみてる 山梨県下の作品を中心に」	県立博物館	40
11月24日(日)	長岡龍作(東北大学大学院教授)	「仏像 祈りと風景」	県立博物館	102
平成26年 1月11日(土)	小川忠広(写真家)	「縄文人は芸術家？」	県立博物館	40
2月11日(日)	小林公明(井戸尻考古館前館長)	「土器、文様から図像へ」	県立博物館	60

■講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
平成25年 5月19日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 1」	県立博物館	42
7月21日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 2」	県立博物館	31
9月15日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 3」	県立博物館	28
11月10日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 4」	県立博物館	40
平成26年 1月19日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 5」	県立博物館	33

3月16日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 6」	県立博物館	32
平成25年 4月27日(土)	西川広平(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 水に関する古文書を読む 1」	県立博物館	84
5月25日(土)	西川広平(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 水に関する古文書を読む 2」	県立博物館	71
6月22日(土)	宮澤富美恵(当館職員)	「かいじあむ古文書講座 富士山に関する古文書を読む」	県立博物館	67
7月27日(土)	小畑茂雄(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 近代人物に関する古文書を読む 1」	県立博物館	62
8月24日(土)	小畑茂雄(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 近代人物に関する古文書を読む 2」	県立博物館	63
10月26日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 名宝に関する古文書を読む 1」	県立博物館	50
11月23日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 名宝に関する古文書を読む 2」	県立博物館	57
平成26年 1月25日(土)	宮澤富美恵(当館職員)	「かいじあむ古文書講座 古文書に見る山梨の歴史」	県立博物館	54
平成24年 4月27日(土)	-	「古文書相談 1」	県立博物館	4
5月25日(土)	-	「古文書相談 2」	県立博物館	3
6月22日(土)	-	「古文書相談 3」	県立博物館	4
7月27日(土)	-	「古文書相談 4」	県立博物館	6
8月24日(土)	-	「古文書相談 5」	県立博物館	7
9月28日(土)	-	「古文書相談 6」	県立博物館	3
10月26日(土)	-	「古文書相談 7」	県立博物館	2
11月23日(土)	-	「古文書相談 8」	県立博物館	3
平成26年 1月25日(土)	-	「古文書相談 9」	県立博物館	4

■シンポジウム

日 時	内 容	開催場所	参加者(人)
平成25年5月11日(土)	<p>「水の国やまなし」シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 服部英雄氏(九州大学大学院教授) 「景観と治水・利水(灌漑施設)」 ・報告1 斎藤秀樹氏(南アルプス市教育委員会) 「水の国やまなしを支えた堤防技術の変遷」 ・報告2 西川広平(当館学芸員) 「甲府盆地の開発と用水路」 ・報告3 畑 大介氏(帝京大学文化財研究所) 「遺跡に見る水の信仰」 ・パネルディスカッション 司会 中山誠二(当館学芸課長) 	山梨県総合教育センター 大研修室	96
平成25年8月25日(日)	<p>日韓共同研究シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> 「日韓における穀物栽培の開始と農耕技術」 ・庄田慎矢氏(奈良文化財研究所) 「紀元前6千年紀から紀元前後までの日韓編年対比」 ・中山誠二(当館学芸課長) 「日韓における栽培植物と穀物農耕の開始」 ・兪 炳瑑氏(ウリ文化財研究院) 「韓国新石器時代から青銅器時代の集落の特徴と変化」 ・金 炳燮氏(慶南発展研究所) 「韓国新石器時代から青銅器時代の農耕関連遺跡」 ・外山秀一氏(皇學館大学) 「プラント・オパール土器胎土分析からみた雑穀の利用」 ・原田 幹氏(愛知県教育委員会) 「韓国新石器時代から青銅器時代の石器使用分析」 ・佐野 隆氏(北杜市教育委員会) 「日本内陸地域の縄文集落と生業構造」 ・浜田竜彦氏(鳥取県立むきばんだ史跡公園)・中沢道彦(長野県) 「西日本-突帯文土器分布圏-における栽培植物の出現」 ・討論 司会 植月 学(当館学芸員) 	県立博物館	50

■やまなし再発見講座（山梨県生涯学習推進センターと共催）・かいじあむ講座

◎「名峰 富士山を語る」

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者（人）
平成25年6月6日（木）	近藤暁子（当館学芸員）	「富士山信仰にまつわる彫刻について」	山梨県生涯学習推進センター	95
6月13日（木）	堀内 眞（当館嘱託職員）	「富士に集う心 －絵画資料にみる講中登山－」	山梨県生涯学習推進センター	103

◎「山梨の国宝」

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者（人）
平成25年11月28日（木）	西川広平（当館学芸員）	「国宝「楯無鎧」とその伝来」	山梨県生涯学習推進センター	96

◎「かいじあむ講座（単独）」

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者（人）
平成25年8月11日（日）	高橋 修 （東京女子大学准教授）	「かいじあむ講座 山梨の近代人物について」	県立図書館	31
講演会・講座・シンポジウム等参加者数合計				1,635

② 体験プログラム

日時	内容	開催場所	参加者（人）
平成25年4月20日（土）	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	10
5月18日（土）	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5
6月15日（土）	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
7月20日（土）	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5
8月17日（土）	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5
9月21日（土）	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	4
10月19日（土）	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5
11月16日（土）	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	10
12月21日（土）	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	6
平成26年1月18日（土）	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5
2月15日（土）	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	中止
3月15日（土）	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	6
平成25年4月13日（日）	かいじあむ子ども工房 「蛇籠作りに挑戦」	県立博物館	34
4月28日（日）	かいじあむ子ども工房 「むかしのテトラポット「聖牛」を作ろう」	県立博物館	16
5月26日（日）	かいじあむ子ども工房 「むかしのテトラポット「聖牛」を作ろう」	県立博物館	19
6月23日（日）	かいじあむ子ども工房 「立体浮世絵を作ろう」	県立博物館	35
7月6日（日）	かいじあむ子ども工房 「浮世絵を摺ってみよう」	県立博物館	65
7月28日（日）	かいじあむ子ども工房 「ミニバスに試乗してみよう」	県立博物館	385
8月25日（日）	かいじあむ子ども工房 「ミニバスに試乗してみよう」	県立博物館	中止
9月22日（日）	かいじあむ子ども工房 「お米ができるまでを体験しよう」	県立博物館	51
10月27日（日）	かいじあむ子ども工房 「ころ柿を作ろう」	県立博物館	21
11月24日（日）	かいじあむ子ども工房 「蓮の花をつくろう」	県立博物館	35
12月22日（日）	かいじあむ子ども工房 「しめ縄をつくろう」	県立博物館	38
平成25年1月11日（日）	かいじあむ子ども工房 「小正月のまゆ玉作り」	県立博物館	43
2月26日（日）	かいじあむ子ども工房 「節分のお面を作ろう」	県立博物館	37
2月23日（日）	かいじあむ子ども工房 「茶道を体験しよう」	県立博物館	中止
3月9日（日）	かいじあむ子ども工房 「茶道を体験しよう」	県立博物館	74
3月23日（日）	かいじあむ子ども工房 「マンガ家になろう」	県立博物館	45
平成25年5月3日（金・祝）	かいじあむ子ども祭り（鎧・十二単衣・紙かぶと・缶バッジ）	県立博物館	113
5月4日（土）	かいじあむ子ども祭り（鎧・十二単衣・紙かぶと・缶バッジ・草餅）	県立博物館	155
5月5日（日）	かいじあむ子ども祭り（鎧・十二単衣・弓矢）	県立博物館	107
5月6日（月）	かいじあむ子ども祭り（鎧・十二単衣・草餅）	県立博物館	151

6月30日(日)	伝統木版画摺り実演 「北斎・神奈川沖浪裏のできるまで～浮世絵版画の世界～」	県立博物館	500
8月14日(水)	かいじあむの夏祭り	県立博物館	920
8月15日(木)	かいじあむの夏祭り	県立博物館	814
11月17日(日)	民俗芸能公演「国指定重要無形民俗文化財 天津司舞」	県立博物館	300
11月20日(木)	かいじあむの秋祭り(切り紙、紙芝居、方言カルタ、ウォークラリー、鎧、単衣、折り紙、芋煮、収穫祭)	県立博物館	418
平成26年1月2日(木)	かいじあむのお正月(おみくじ、福引き、書き初め、凧作り)	県立博物館	303
1月3日(金)	かいじあむのお正月(おみくじ、福引き、書き初め、餅つき、凧作り)	県立博物館	626
3月30日(日)	特別展開連イベント「アニメ上映会」	県立博物館	70
体験プログラム参加者数合計			5,443

③ その他

展示交流員が毎週土曜日に常設展示の見どころを案内する「常設展スルーガイド」や、企画展・シンボル展の開催期間中には「ガイドツアー」、毎週日曜日に体験型展示を案内する「あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば」を定期的を実施した。

(3) 博学連携

① かいじあむティーチャーズクラブ

i 会員の状況

学校の先生方にティーチャーズクラブを知ってもらうために、各種研究会・研修会に赴き加入依頼を行った。前年度実績2,820名からさらに増加した。また、平成25年度教職員による視察件数は1,399件である。

ii 会員数

校 種	会員数(人)
小学校	1,142
中学校	541
高等学校	1,086
教育庁	99
総合教育センター	69
市町村他	24
総 計	2,961

iii 活動実績

- ・平成25年6月 6日(木) 第1回研究会 実践研究の進め方の提案等
- ・ 8月 7日(水) 夏季研修会 博物館研修(見学など)
- ・ 8月20日(火) 夏季研修会 博学連携ワークショップ等
- ・平成26年2月10日(月) 第2回研究会 大雪のため中止
- ・ 3月24日(月) 『博物館活用事例集⑩』発行

② 授業の一環としての博物館利用

	来館日時	学 校 名	人数(人)			来館日時	学 校 名	人数(人)	
			児童生徒	引率				児童生徒	引率
1	4月17日(水)	早川中学校(班)	4	1	51	7月25日(水)	山梨学院大学付属小学校	30	2
2	4月17日(水)	須玉中学校(班)	4	0	52	7月29日(月)	山梨学院大学付属小学校	30	2
3	4月19日(金)	玉幡中学校(班)	24	0	53	7月30日(火)	山梨学院大学付属小学校	30	2
4	4月19日(金)	六郷中学校	27	5	54	8月2日(金)	境川児童館	60	10
5	4月19日(金)	増穂中学校(班)	11	0	55	8月9日(金)	相川・春日居ふれあい交流団	80	20
6	5月2日(水)	御殿場市立神山小学校	117	4	56	8月14日(水)	神金・井尻・玉宮児童クラブ	20	6
7	5月9日(水)	谷村第一小学校	76	5	57	8月29日(水)	目黒区立駒場小学校	64	10
8	5月9日(水)	玉穂南小学校	46	3	58	9月4日(水)	石田小学校	66	4
9	5月10日(金)	大月東中学校	66	6	59	9月5日(水)	貢川小学校	78	4
10	5月11日(土)	河口湖北中学校	80	9	60	9月5日(水)	目黒区立油面小学校	58	12
11	5月12日(月)	都留第二中学校	30	1	61	9月6日(金)	大里小学校	105	6
12	5月15日(水)	笛吹高校	303	16	62	9月6日(金)	里垣小学校	52	4
13	5月15日(水)	勝山小学校	37	3	63	9月6日(金)	里垣小学校	46	4
14	5月15日(水)	小立小学校	54	3	64	9月6日(金)	伊勢小学校	55	4
15	5月15日(水)	田富中学校(班)	3	0	65	9月16日(月)	府中市立府中第十小学校	121	15
16	5月15日(水)	玉穂中学校(班)	2	0	66	9月19日(水)	北新小学校	22	3
17	5月16日(水)	市川東小学校	8	4	67	9月19日(水)	朝日小学校	34	3
18	5月16日(水)	台東区立御徒町台東中学校	91	6	68	9月20日(金)	山城小学校	153	7
19	5月16日(水)	秋山中学校	14	3	69	9月26日(水)	神金小学校	18	4
20	5月16日(水)	かえて支援学校(分教室)	11	5	70	9月26日(水)	西浜小学校	16	3
21	5月17日(金)	斐崎東中学校(班)	4	0	71	9月26日(水)	山中小学校	30	3
22	5月17日(金)	都留第一中学校	88	6	72	9月27日(金)	鳥田小学校	7	3
23	5月17日(金)	押原中学校(班)	14	0	73	9月27日(金)	清里小学校	25	3
24	5月17日(金)	櫛形中学校(班)	8	0	74	10月3日(水)	玉諸小学校	118	5
25	5月17日(金)	山梨大学附属中学校(班)	48	2	75	10月3日(水)	芦川小学校	4	2
26	5月18日(土)	双葉中学校	146	11	76	10月3日(水)	下吉田第二小学校	81	7
27	5月18日(土)	山梨大学	40	0	77	10月4日(金)	丹波小学校	9	5
28	5月22日(水)	笛吹高校	303	16	78	10月9日(水)	都留文科大学附属小学校	15	3
29	5月22日(水)	塩山北小学校	79	5	79	10月9日(水)	塩山南小学校	65	4
30	5月24日(金)	富竹中学校	92	10	80	10月9日(水)	甲府東小学校	70	4
31	5月24日(金)	忍野小学校	111	6	81	10月9日(水)	館山市立那古小学校	44	5
32	5月24日(金)	敷島中学校	194	10	82	10月10日(水)	相川小学校	60	4
33	5月24日(金)	目黒区立緑が丘小学校	40	8	83	10月10日(水)	甲運小学校	52	3
34	5月29日(水)	白州中学校	32	5	84	10月10日(水)	早川南小学校	18	5
35	5月30日(水)	若草中学校(班)	3	0	85	10月10日(水)	八田小学校	85	4
36	6月1日(土)	泉小学校	31	2	86	10月11日(金)	玉幡小学校	65	4
37	6月7日(金)	増穂南小学校	15	8	87	10月11日(金)	道志小学校	24	3
38	6月12日(水)	目黒区立第十一中学校	69	5	88	10月11日(金)	明見小学校	86	6
39	6月15日(土)	目黒区立中央中学校	176	25	89	10月17日(水)	吉田小学校	109	8
40	6月19日(水)	小平市立小平第十小学校	98	6	90	10月18日(金)	敷島北小学校	46	3
41	6月20日(水)	山中湖中学校	49	8	91	10月18日(金)	強瀬小学校	4	2
42	6月22日(土)	山梨県立大学	87	1	92	10月18日(金)	増穂小学校	101	9
43	6月28日(金)	落合小学校	34	2	93	10月18日(金)	万沢小学校	31	8
44	7月3日(水)	青森山田高校山梨校	25	3	94	10月23日(水)	明野中学校	38	3
45	7月5日(金)	甲府東高校	25	2	95	10月24日(水)	下山小学校	8	2
46	7月5日(金)	青森山田高校山梨校	20	3	96	10月24日(水)	大月東小学校	55	4
47	7月5日(金)	笛吹高校	40	2	97	10月24日(水)	猿橋中学校	70	8
48	7月6日(土)	長野県赤穂高等学校	50	5	98	10月25日(金)	富士見小学校	59	4
49	7月6日(土)	山梨県立大学	47	1	99	10月25日(金)	竜王北小学校	51	4
50	7月19日(金)	成立学園中学校	72	6	100	10月25日(金)	玉幡小学校	51	4

	来館日時	学 校 名	人数(人)			来館日時	学 校 名	人数(人)	
			児童生徒	引率				児童生徒	引率
101	10月25日(金)	鯨沢中部小学校	5	5	115	12月20日(金)	八代小学校	69	3
102	10月25日(金)	鳥沢小学校	22	3	116	1月11日(土)	青森山田高校山梨校	15	3
103	11月1日(金)	葦崎北東小学校	70	4	117	1月20日(月)	猿橋小学校	68	4
104	11月1日(金)	舞鶴小学校	47	3	118	1月22日(水)	あけぼの支援学校	2	2
105	11月6日(水)	日川小学校	40	2	119	1月29日(水)	塩山高校	116	9
106	11月6日(水)	駿台甲府小学校	69	4	120	1月31日(金)	須玉小学校	55	5
107	11月7日(木)	竜王西小学校	43	4	121	2月5日(水)	春日居小学校	55	3
108	11月8日(金)	甲府支援学校	4	4	122	2月5日(水)	塩山高校	117	9
109	11月13日(水)	山梨高校	190	11	123	2月13日(木)	菱山小学校	6	2
110	11月14日(木)	大河内小学校	11	2	124	2月28日(金)	高根東小学校	18	2
111	11月14日(木)	千塚小学校	62	4	125	2月28日(金)	ろう学校	1	1
112	11月15日(金)	甲府支援学校	4	4	126	3月7日(金)	高根西小学校	26	2
113	11月25日(月)	田富北小学校	58	4	127	3月13日(木)	御坂西小学校	84	4
114	12月12日(水)	一宮北小学校	16	2	128	3月20日(水)	あけぼの支援学校	4	4
小 計								6944	598
総 計								7,542	

③ 出前授業

■ 出前授業実施一覧

No.	実 施 日	主 催	学校・団体名(会場)	内 容	担当職員	人数
1	平成25年4月1日(月)	成城大学教務部	成城大学	「学芸員の仕事と博物館をとりまく状況」	丸尾依子	50
2	4月6日(土)	武田家旧温会	ホテル談露館	「幻の川中島合戦」	西川広平	47
3	4月15日(月)	笛吹市立富士見小学校	笛吹市立富士見小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	64
4	4月17日(水)	笛吹市立石和北小学校	笛吹市立石和北小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	38
5	4月18日(木)	笛吹市立石和西小学校	笛吹市立石和西小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	61
6	4月29日(月・祝)	第35回高遠町桜大学第1講座	高遠町総合福祉センター	「武田家と保科家の動向」 講演・パネルディスカッション	海老沼真治	200
7	5月2日(木)	山梨市立日下部小学校	山梨市立日下部小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	64
8	5月8日(水)	山梨市立八幡小学校	山梨市立八幡小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	38
9	5月9日(木)	中央市立玉穂南小学校	山梨県立博物館	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	46
10	5月10日(金)	甲府市立善誘館小学校	甲府市立善誘館小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	61
11	5月13日(月)	甲府市立舞鶴小学校	甲府市立舞鶴小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	62
12	5月13日(月)	市川三郷町立六郷小学校	市川三郷町立六郷小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	62
13	5月15日(水)	甲斐市立玉幡中学校	山梨県立博物館	「古文書講座」	古屋和彦	5
14	5月16日(木)	山梨県立かえて支援学校 分教室高等部	山梨県立博物館	「学校付近の史跡・武田信玄」	川崎 剛	11
15	5月18日(土)	甲斐市教育委員会	甲斐市敷島総合文化会館	甲斐市歴史講座「古文書の取り扱い方 ／治水に関する古文書を読む」	西川広平	20
16	5月22日(水)	山梨市立三富小学校	山梨市立三富小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	8
17	5月23日(木)	健康科学大学	健康科学大学	山梨の自然と文化・産業「山梨の歴史 遺産と産業-富士山を中心に-」	西川広平	46
18	6月5日(水)	東山梨教育協議会社会科部会	山梨県立博物館	「雨宮敬次郎と中央線」	小畑茂雄	5
19	6月6日(木)	生涯学習推進センター	生涯学習推進センター	やまなし再発見講座「富士を語る」- 富士山信仰にまつわる彫刻について-	近藤暁子	95
20	6月13日(木)	生涯学習推進センター	生涯学習推進センター	やまなし再発見講座「富士を語る」富士 土に集う心-絵画資料にみる講中登山	堀内 眞	103
21	6月14日(金)	甲斐市立双葉西小学校	甲斐市立双葉西小学校	「地区の守り神、道祖神に込められた 人々の願い」	丸尾依子	52
22	6月15日(土)	甲斐市教育委員会	甲斐市敷島総合文化会館	甲斐市歴史講座 「龍王駅開業祝賀会の古文書を読む」	小畑茂雄	24
23	6月19日(水)	甲府市立舞鶴小学校	甲府市立舞鶴小学校	「世界文化遺産 富士山について知ろ う」	川崎 剛	48
24	6月28日(金)	国民文化祭課	県立図書館	「世界遺産と富士山パネル展&富士賛 美・絵画展における	近藤暁子	40

第Ⅱ編 事業・諸活動

No.	実施日	主催	学校・団体名(会場)	内容	担当職員	人数
25	6月29日(土)	甲斐市教育委員会	甲斐市敷島総合文化会館	甲斐市歴史講座 「宇津谷村の古文書を読む」	海老沼真治	17
26	6月30日(日)	江東区地域振興部観光文化財係	山梨県立博物館	「山梨県立博物館の概要」	古屋和彦	43
27	7月1日(月)	大学コンソーシアムやまなし	山梨学院大学	観光産業論「山梨の歴史」	海老沼真治	130
28	7月3日(水)	山梨市立山梨小学校	山梨市立山梨小学校	「昔、山梨でも戦争があった」	川崎 剛	42
29	7月5日(金)	ことぶき勸学院中北・峡南教室	山梨県立博物館	「富士山学」	川崎 剛	83
30	7月5日(金)	ことぶき勸学院中北・峡南教室	山梨県立博物館	「信玄堤」	川崎 剛	83
31	7月5日(金)	山梨県立笛吹高等学校	山梨県立博物館	「富士山学」	川崎 剛	40
32	7月17日(水)	北杜市教育委員会	甲斐駒センターせせらぎ	甲斐駒センターせせらぎ竣工記念事業 連続講座3「柳澤吉保と荻生徂徠」	西川広平	53
33	7月21日(日)	甲府城下町を語る会	びゅう総合	「武田氏と保科氏の動向」	海老沼真治	50
34	7月25日(木)	山梨県生涯学習推進センター	山梨県生涯学習推進センター	やまなし再発見講座 「御坂路-鎌倉往還」	海老沼真治	80
35	8月5日(月)	東山梨教育協議会 平和・人権教育と国際連合部会	山梨県立博物館	「昔、山梨でも戦争があった」	川崎 剛	10
36	8月9日(金)	学びの広場ふえふき (石和南小学校児童保育クラブ)	石和南小学校児童保育クラブ	「山梨クイズ・紙芝居・ ペーパークラフト」	川崎 剛 吉田敦子	53
37	8月24日(土)	飯田市・飯田市教育委員会	飯田信用金庫本店大会議室	第11回飯田市地域史研究集会古代の交通と地方社会-イナ・シナノとその周辺- 報告「文献史料に見る甲斐と信濃」	海老沼真治	150
38	9月4日(水)	目黒区油面小学校	山梨県立博物館	「山梨クイズ」	川崎 剛	58
39	9月4日(水)	甲府市立里垣小学校	山梨県立博物館	「武田信玄について知ろう」	川崎 剛	52
40	9月26日(木)	オーストラリア オルバニークリーク高校	山梨県立博物館	「浮世絵」	川崎 剛	13
41	9月29日(日)	北杜市教育委員会	小淵沢生涯学習センター	「八ヶ岳山麓における縄文農耕」	中山誠二	30
42	9月30日(月)	南アルプス市立芦安中学校	南アルプス市立芦安中学校	「県内巡り事前学習」	古屋和彦	10
43	10月2日(水)	甲府市立舞鶴小学校	甲府市立舞鶴小学校	「武田信玄について知ろう」	川崎 剛	61
44	10月2日(水)	甲府市立舞鶴小学校	甲府市立舞鶴小学校	「甲府城について知ろう」	川崎 剛	61
45	10月3日(木)	大学コンソーシアム山梨	山梨英和大学	大学コンソーシアム山梨連携講座 「山梨の地誌・歴史」「近代山梨の災害について」	小畑茂雄	50
46	10月10日(木)	大学コンソーシアム山梨	山梨英和大学	大学コンソーシアム山梨連携講座 「山梨の地誌・歴史」「山梨の道祖神について」	丸尾依子	50
47	10月10日(木)	甲府市立甲運小学校	山梨県立博物館	「山梨県の歴史」	川崎 剛	52
48	10月10日(木)	南アルプス市立八田小学校	山梨県立博物館	「信玄堤について知ろう」	川崎 剛	85
49	10月23日(水)	武田神社崇敬会	常盤ホテル	「山本菅助」の実像を探る	海老沼真治	50
50	10月24日(木)	大学コンソーシアム山梨	都留文科大学	大学コンソーシアム山梨連携講座「山梨の地誌・歴史」「富士山について」	堀内 眞	100
51	10月27日(日)	山梨県立考古博物館	風土記の丘研修センター	「貝塚から見てきた縄文時代の生業と社会」	植月 学	19
52	10月27日(日)	第28回国民文化祭 甲州市実行委員会	甲州市役所1階市民ギャラリー	国文祭甲州市特別講演会 「植無鑑の歴史を探る」	西川広平	27
53	10月28日(月)	甲斐市立敷島小学校	甲斐市立敷島小学校	「世界文化遺産 富士山について知ろう」	川崎 剛	70
54	10月30日(水)	山梨県立韮崎高等学校	山梨県立韮崎高等学校	「信仰の山『富士山』」	堀内 眞	25
55	11月6日(水)	山梨市立日川小学校	山梨県立博物館	「川と水害の歴史」	川崎 剛	40
56	11月6日(水)	山梨県立山梨高等学校	山梨県立山梨高等学校	「山梨県の歴史」	川崎 剛	190
57	11月7日(木)	甲斐市立竜王西小学校	山梨県立博物館	「信玄堤について知ろう」	川崎 剛	43
58	11月8日(金)	ことぶき勸学院南都留教室・北都留教室	山梨県立博物館	「富士山学」	川崎 剛	67
59	11月8日(金)	ことぶき勸学院南都留教室・北都留教室	山梨県立博物館	「山梨クイズ」	川崎 剛	67
60	11月8日(金)	山梨県立甲府支援学校小学部	山梨県立甲府支援学校	「信玄堤について知ろう」	川崎 剛	1
61	11月10日(日)	八王子市郷土資料館	八王子市生涯学習センター	「大久保長安と変革の時代」	西川広平	116
62	11月11日(月)	甲州市立奥野田小学校	甲州市立奥野田小学校	「昔の道具体験」	丸尾依子 古屋和彦 川崎 剛	55
63	11月11日(月)	山梨市立八幡小学校	山梨市立八幡小学校	「昔、山梨でも戦争があった」	川崎 剛	28
64	11月14日(木)	笛吹市立石和北小学校	笛吹市立石和北小学校	「信玄堤について知ろう」	川崎 剛	32
65	11月15日(金)	ことぶき勸学院 甲府教室・峡東教室	山梨県立博物館	「富士山学」	川崎 剛	84
66	11月15日(金)	ことぶき勸学院 甲府教室・峡東教室	山梨県立博物館	「甲府城」	川崎 剛	84

No.	実施日	主催	学校・団体名(会場)	内容	担当職員	人数
67	11月16日(土)	甲府市立中道北小学校	甲府市立中道北小学校	「昔の道具体験」	丸尾依子 古屋和彦 川崎 剛	34
68	11月16日(土)	甲府市立中道北小学校	甲府市立中道北小学校	「信玄塚について知ろう」	川崎 剛	34
69	11月18日(月)	山梨市立牧丘第二小学校	山梨市立牧丘第二小学校	「信玄塚について知ろう」	川崎 剛	7
70	11月28日(木)	山梨県生涯学習推進センター	山梨県生涯学習推進センター	「国宝『楯無鏡』とその伝来」	西川広平	96
71	11月28日(木)	笛吹市立春日居小学校	笛吹市立春日居小学校	「信玄塚について知ろう」	川崎 剛	65
72	12月4日(水)	笛吹市立石和北小学校	笛吹市立石和北小学校	「昔、山梨でも戦争があった」	川崎 剛	35
73	12月5日(木)	山梨県職員研修所 (新任職員研修)	山梨県立博物館	「山梨県の歴史」	川崎 剛	64
74	12月5日(木)	山梨県職員研修所 (新任職員研修)	山梨県立博物館	「富士山学」	川崎 剛	64
75	12月5日(木)	山梨県職員研修所 (新任職員研修)	山梨県立博物館	「山梨県の歴史」	川崎 剛	61
76	12月5日(木)	山梨県職員研修所 (新任職員研修)	山梨県立博物館	「富士山学」	川崎 剛	61
77	12月16日(月)	甲斐市竜王中学校	甲斐市竜王中学校	「県内巡り事前学習」	古屋和彦	153
78	平成25年1月7日(火)	総合教育センター	総合教育センター	「教育課程編成上における博物館の 活用法」	古屋和彦	97
79	1月7日(火)	総合教育センター	総合教育センター	「山梨県の歴史」	川崎 剛	97
80	1月19日(日)	北海道開拓記念館	北海道開拓記念館	「かいじあむの活動と博物館通信簿」	中山誠二	50
81	1月20日(月)	甲斐市立竜王中学校	甲斐市立竜王中学校	「世界文化遺産富士山について」	古屋和彦	153
82	1月22日(水)	山梨県立塩山高等学校	山梨県立塩山高等学校	「甲州とお金」	西川広平	233
83	1月26日(日)	山梨大学	山梨県立博物館	「歴史博物館を楽しむ」	中山誠二	30
84	1月27日(月)	笛吹市立境川小学校	笛吹市立境川小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	44
85	1月28日(火)	甲府市立北新小学校	甲府市立北新小学校	「信玄塚について知ろう」	川崎 剛	22
86	1月30日(木)	山梨県立かえて支援学校分教室 高等部	山梨県立かえて支援学校 分教室	「昔、山梨でも戦争があった」・ 「甲府空襲体験談」	川崎 剛	11
87	1月30日(木)	甲斐市立敷島中学校	甲斐市立敷島中学校	「県内巡り事前学習」	古屋和彦	189
88	1月31日(金)	北杜市立須玉小学校	山梨県立博物館	「山梨県の歴史」	川崎 剛	55
89	2月3日(月)	山梨県タクシー協会 やまなし観光推進機構	山梨県立博物館	「山梨おもてなしタクシードライバー 養成講座」(山梨県の基礎情報)	高野玄明	35
90	2月5日(水)	笛吹市立一宮西小学校	笛吹市立一宮西小学校	「昔の道具を知ろう」	川崎 剛	44
91	2月6日(木)	甲斐市立玉幡小学校	甲斐市立玉幡小学校	「昔の道具体験」	古屋和彦 川崎 剛 丸尾依子	66
92	2月7日(金)	東三河戦国史愛好会	ライブポート豊橋(愛知県)	歴史講座100回記念特別講座 「山本勘助の真下家文書と武田信玄」	海老沼真治	300
93	2月13日(木)	甲州市立菱山小学校	山梨県立博物館	「昔の道具体験」	川崎 剛	6
94	2月14日(金)	笛吹市立石和南小学校	笛吹市立石和南小学校	「昔の道具体験」	古屋和彦 川崎 剛 丸尾依子	37
95	2月24日(月)	笛吹市立一宮南小学校	笛吹市立一宮南小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	21
96	2月26日(水)	山梨県立わかば支援学校高等部	山梨県立わかば支援学校	紙芝居「青い目の人形」・「昔、山梨 でも戦争があった」	川崎 剛 片山敬子	25
97	2月26日(水)	南アルプス市立白根源小学校	南アルプス市立白根源小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	29
98	2月27日(木)	山梨大学人間教育 科学部付属小学校	山梨大学人間教育 科学部付属小学校	「昔の道具体験」	古屋和彦 川崎 剛 丸尾依子	92
99	3月1日(月)	釈迦堂遺跡博物館	釈迦堂遺跡博物館	「馬の考古学」	植月 学	10
100	3月3日(月)	笛吹市立一宮南小学校	笛吹市立一宮南小学校	「昔の道具体験」	古屋和彦 川崎 剛 丸尾依子	27
101	3月6日(木)	山梨市立加納岩小学校	山梨市立加納岩小学校	「昔の道具体験」	古屋和彦 川崎 剛 丸尾依子	61
102	3月7日(金)	北杜市立高根西小学校	山梨県立博物館	「昔の道具体験」	古屋和彦 川崎 剛	26
103	3月10日(月)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	「昔の道具体験」	古屋和彦 川崎 剛 丸尾依子	27
104	3月13日(木)	笛吹市立御坂西小学校	笛吹市立御坂西小学校	「昔の道具体験」	古屋和彦 川崎 剛	84

No.	実施日	主催	学校・団体名(会場)	内容	担当職員	人数
105	3月13日(木)	笛吹市立一宮西小学校	笛吹市立一宮西小学校	「昔の道具体験」	高野玄明 川崎 剛 丸尾依子	19
106	3月13日(木)	山梨県タクシー協会 やまなし観光推進機構	山梨県立博物館	「山梨おもてなしタクシードライバー 養成講座(峡中・峡東)」	古屋和彦	12
107	3月14日(金)	山梨県タクシー協会 やまなし観光推進機構	山梨県立博物館	「山梨おもてなしタクシードライバー 養成講座(富士東部・峡北・峡南)」	高野玄明	23
108	3月14日(金)	山梨市立山梨小学校	山梨市立山梨小学校	「昔の道具体験」	高野玄明 川崎 剛 丸尾依子	47
総 計						6,350

④ 職場体験

■ 職場体験実施一覧

実施日	学校名	学年	人数(人)
平成25年5月22日(水)	南アルプス市立八田中学校	2年	6
平成25年7月10日(水)～7月12日(金)	甲斐市立双葉中学校	2年	3
平成25年7月25日(木)～7月26日(金)	山梨県立山梨高等学校	2年	3
平成25年7月31日(水)	山梨市立山梨南中学校	1年	2
平成25年8月1日(木)	山梨県立峡南高等学校	1年	1
平成25年8月3日(土)～8月4日(日)	中央市立田富中学校	2年	1
平成25年8月4日(日)～8月5日(月)	山梨大学附属中学校	2年	3
平成25年8月5日(月)	山梨英和大学	2年	1
平成25年8月8日(木)～8月10日(土)	笛吹市立御坂中学校	2年	3
平成25年8月8日(木)～8月19日(金)	笛吹市立春日居中学校	2年	2
平成25年8月12日(月)～8月16日(金)	山梨英和大学	2年	1
平成25年8月12日(月)～8月16日(金)	山梨県立大学	3年	1
平成25年11月13日(水)～11月14日(木)	山梨県立笛吹高等学校	2年	5
平成25年11月14日(木)～11月15日(金)	笛吹市立石和中学校	2年	4
小 計(中学校)			24
小 計(高等学校)			9
小 計(大学)			3
総 計			36

⑤ 「未来の山梨を描こう!募集

	応募学校数(校)	応募人数(人)
小 学 校	25	112
中 学 校	3	14
合 計	28	126

⑥ 子ども学芸員事業

「こども学芸員事業」は、平成21年12月より試行し、平成22年度より本格的に実施している。学校団体見学等での来館、または出前授業を受講の後、学習成果としてのレポートを提出すると、「子ども学芸員」に認定するという制度である。「子ども学芸員」には家族招待状を渡し、博物館の利用促進を図り、山梨の歴史や文化に対する興味や関心を高めてもらう。平成25年度は812名を認定し、現在までのところ、4,811人が初級に認定されている。

■子ども学芸員認定状況（平成26年3月末現在）

番号	日付	学校名	学年	人数	常設展	企画展	備考
1	5月13日(月)	市川三郷町立六郷小学校	6	19			修学旅行事前学習
2	5月22日(水)	山梨県立笛吹高校	1	303	○		
3	6月19日(水)	甲府市立舞鶴小学校	6	48			世界文化遺産、富士山について知ろう
4	7月3日(水)	山梨市立山梨小学校	2	42			昔、山梨でも戦争があった
5	9月6日(木)	甲府市立里垣小学校	3	46	○		
6	10月2日(水)	甲府市立舞鶴小学校	6	61			甲府城について知ろう
7	10月10日(木)	南アルプス市立八田小学校	4	85	○		
8	10月14日(月)	山梨県立甲府支援学校小学部	4	5	○		
9	10月18日(金)	富士川町立増穂小学校	4	100	○		
10	10月18日(金)	大月市立強瀬小学校	3	4	○		
11	10月24日(木)	山梨県立わかば支援学校高等部	1	19	○		
12	12月9日(月)	押し葉標本作品展		16			
13	12月9日(月)	ふるさと山梨郷土学習コンクール		12			
14	12月9日(月)	高等学校社会科学研究発表大会		15			
15	2月14日(金)	笛吹市立石和南小学校	3	37			昔の道具体験
16	2月26日(水)	山梨県立わかば支援学校高等部	2	25			昔、山梨でも戦争があった
認定数			837名				

※押し葉標本作品展及びふるさと山梨郷土学習コンクール、高等学校社会科学研究発表大会の優秀作品を平成26年1月2日から3月3日まで、当館特別イベント「かいじあむ交流広場」（企画展示室）に展示した。

⑦ 大学教育との連携

i 学芸員実習

【期間】 平成25年8月12日（月）から同年8月21日（水）まで（計10日間）

【受け入れ人数】 10人（男0人、女10人）

【実習生所属大学】

- ・山梨県内 山梨大学 5人 山梨英和大学 3人
- ・山梨県外 東京学芸大学、帝京大学 各1人

【主な実習内容】

- ・県立博物館の概要と役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員が行う調査・研究、展示、資料保存など各業務についての分野別講義及び実習
- ・企画交流事業について講義及び実習
- ・県立博物館との意見交換

ii 大学非常勤講師の受託

担当職員	大学名(科目名)	期間
植月 学	東京学芸大学(文化遺産特殊研究A)	平成25年4月1日(月)から平成25年9月30日(月)まで
植月 学	都留文科大学(博物館資料論)	平成25年10月1日(火)から平成26年3月31日(月)まで
海老沼真治	山梨県立大学(日本の歴史Ⅰ)	平成25年4月1日(月)から平成25年9月30日(月)まで
海老沼真治	身延山大学(博物館情報・メディア論)	平成25年10月1日(火)から平成26年3月31日(月)まで
沓名 貴彦	東京藝術大学(博物館資料保存論)	平成25年4月1日(月)から平成25年9月30日(月)まで
沓名 貴彦	帝京科学大学(博物館実習指導)	平成25年4月1日(月)から平成25年9月30日(月)まで
中山 誠二	山梨英和大学(博物館概論)	平成25年4月1日(月)から平成25年9月30日(月)まで
中山 誠二	都留文科大学(博物館経営論)	平成25年10月1日(火)から平成26年3月31日(月)まで
西川 広平	中央大学(日本史学基礎演習Ⅱ)	平成25年4月1日(月)から平成26年3月31日(月)まで

⑧ 発行物

名 称	発 刊 日	体 裁
『博物館活用事例集⑩ 山梨県立博物館を活用したティーチャーズクラブの先生による 学習活動事例集』	平成26年3月24日	簡易印刷

※ 県内の小・中・高・特別支援学校全校及び山梨県教育委員会、各教育事務所、市町村教育委員会、総合教育センターなどに配布した。

(4) 博物館同士のネットワーク

① ミュージアム甲斐・ネットワーク

i ミュージアム甲斐・ネットワーク会議

■平成25年度第1回会議

日時：平成25年7月4日（木）

場所：生涯学習室

内容：ミュージアム甲斐・ネットワーク名簿作成について
連絡体制の整備について
夏休み自由研究プロジェクトの開催について
研修会の開催について

■平成25年度分科会

日時：平成25年10月3日（木）

場所：生涯学習室

内容：災害対応について

■平成25年度研修会（（独）東京文化財研究所との共催）

日時：平成25年12月11日（水）、12日（木）

場所：生涯学習室

内容：「資料保存地域研修」「当館バックヤード見学」

講師：（独）国立文化財機構東京文化財研究所保存修復科学センター
佐野千絵氏（保存科学研究室室長）
北野信彦氏（伝統技術研究室室長）
吉田直人氏（主任研究員）
佐藤嘉則氏（生物科学研究室研究員）

■平成25年度第2回会議

日時：平成26年2月27日（木）

場所：生涯学習室

内容：ミュージアム甲斐・ネットワーク名簿について
来年度の活動について

ii 博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

開催日時	開催場所	参加者数 人	参加館数 館
平成25年7月15日（月・祝）	アイメッセ山梨	870	40

② 縄文王国山梨

平成25年度の事業では、平成26年1月2日（木）～3月3日（月）まで当館特別イベント「かいじあむ交流広場」において「縄文文様」をテーマとした展示を行い、縄文土器や縄文土器展開写真、イベント応募作品を展示した。

参加型イベントでは「縄文文様探し」を、平成25年9月29日（日）～11月30日（土）まで開催した。これ

は、参加者が加盟7館で展示している縄文土器の文様を撮影した写真を募集するもので、優秀者には記念品を贈呈した。併せて、応募写真は当館特別イベントにおいて展示した。

講演会等のイベントについては、平成25年12月22日（日）に、『縄文人の世界観～景観（ランドスケープ）～』と題して北杜市考古資料館において開催したほか、平成26年2月11日（火・祝）には、『土器、文様から図像へ』と題して記念講演会を当館生涯学習室において開催し、それぞれ多くの参加者があり好評を得た。

また平成25年8月24日（土）には、南アルプス市ふるさと文化伝承館において実施されたイベント「伝承館で夏まつりWith縄文王国Yamanashi」に協力した。

(5) 広報

年4回の「かいじあむ通信 K a i（交い）」の発行や、常設展チラシ・ポスター・パンフレット、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、県政たより「ふれあい」、県教育委員会広報誌「教育やまなし」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送等の各種媒体を用いて広報に努めてきた。

今後とも広報活動の充実に努め、県立博物館のPRを積極的に実施する。

■ 各種だより、リーフレット類一覧

上述のとおり、広報には各種媒体を用いてきたが、多岐にわたるため、紙媒体で県立博物館が主体となって作成したものを中心に掲載する。

誌名	発行年月日
かいじあむ通信 K a i（交い）第30号	平成25年6月1日
かいじあむ通信 K a i（交い）夏休み特別号	平成25年6月22日
かいじあむ通信 K a i（交い）第31号	平成25年9月1日
かいじあむ通信 K a i（交い）第32号	平成25年12月1日
かいじあむ通信 K a i（交い）第33号	平成26年3月12日

第6章 施設の整備・管理

(1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設・整備の管理に努めている。

■防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めることを目的に、職員を対象に訓練を実施している。

・防災訓練

回数	開催日	内容
第1回	平成25年9月13日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・火災を想定した常設展示室からの総合防災訓練 ・避難経路・消防設備等の確認 ・起震車による地震体験 ・燻煙装置による避難体験

(2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。

年 月	生涯学習室		交 流 室	
	利用人数 人	利用金額 円	利用人数 人	利用金額 円
平成25年 4月	83	12,720	0	0
5月	292	11,790	0	0
6月	194	12,440	6	440
7月	365	39,520	5	1,430
8月	240	5,770	5	0
9月	82	32,510	15	0
10月	423	19,280	0	0
11月	383	19,280	0	0
12月	10	6,190	0	0
平成26年 1月	231	32,960	10	1,540
2月	138	6,080	10	0
3月	46	0	0	0
計	2,487	198,540	51	3,410

※利用人数は「利用月」、利用金額は「収入手続を行った月」で集計している。

第7章 情報の発信と公開

(1) 資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示をとおして利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者・学芸員等の調査研究に必要な文献を的確に収集・整備し、その研究活動を支援する役割を担う。

■利用時間

午前9時から午後5時まで

(書庫内資料の請求、複写申込は午後4時30分まで)

(即日閲覧資料の請求は、午後3時まで)

入室は無料

■資料検索

資料閲覧室内の利用者端末(2台)により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報の検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名・作者名・発行者名などの一部からも検索ができる。

ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

■資料閲覧

・図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類や歴史に関する書籍、郷土研究についての資料、『山梨県史』や県内の市町村史誌類、逐次刊行物など約2,500冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。

・歴史資料等のうち「甲州文庫」の画像データは資料閲覧室内の端末で閲覧できる。

・収蔵資料のうち、即日閲覧対象資料(古文書・古記録・版木等)、「甲州文庫」及び古文書のデジタル・マイクロフィルムは即日閲覧可能である。

・即日閲覧対象外の原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」により事前に申し込み、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧する。

■資料撮影

原資料についての撮影は、「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み、許可された場合は、「歴史資料等撮影決定通知書」に従い、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で行う。

■レファレンスサービス

質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。

専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査・研究の成果に基づき回答している。

■コピーサービス(有料)

著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、「甲州文庫」等のマイクロ・デジタル化資料の複写サービスを行っている。

■展示関連資料紹介

当館で開催する企画展・シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連資料の紹介コーナーを設けている。

■キッズライブラリー

山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史の調べ方や自然観察の本、幼児のための絵本などを揃えている。

■ビデオライブラリー

山梨発見エリア内のビデオブース(3台)では、歴史・文化財に関するビデオ・DVDなどを視聴することができる。

■平成25年度資料閲覧室利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入	室	172人	255人	515人	858人	1,008人	206人	175人	350人	71人	124人	60人	273人	4,067人
ビ	デ	40件	69件	32件	159件	254件	41件	58件	47件	9件	15件	19件	46件	789件
レ	レ	20件	32件	45件	40件	46件	14件	15件	25件	7件	14件	14件	21件	293件
	利	14件	28件	36件	29件	57件	17件	10件	22件	3件	9件	9件	17件	251件
	小	34件	60件	81件	69件	103件	31件	25件	47件	10件	23件	23件	38件	544件
複	件	36件	50件	42件	52件	73件	47件	26件	44件	15件	33件	12件	23件	453件
	電	277枚	751枚	320枚	607枚	643枚	462枚	745枚	1,433枚	723枚	1,113枚	211枚	284枚	7,569枚
	マ	1,481枚	712枚	940枚	557枚	626枚	589枚	218枚	248枚	977枚	927枚	352枚	413枚	8,040枚
	小	1,758枚	1,463枚	1,260枚	1,164枚	1,269枚	1,051枚	963枚	1,681枚	1,700枚	2,040枚	563枚	697枚	15,609枚



展示関連資料紹介「山梨の近代人物と鉄道」
期間：平成25年7月20日（土）から9月2日（月）まで

(2) 博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。平成23年度にシステムの更新を行い、平成24年3月1日に本稼働させた。

このシステムは、以下の3つのシステムから構成される。

■データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料・図書資料等に関する各種情報を一元的に管理するためのシステムである。資料の受入情報から収蔵情報、付随する資料のメディアファイル類も、一元的に管理が可能となる。そして、データベースから常設展示情報端末への資料情報連携を行う展示システムも含まれる。

■利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、利用者の必要に応じて加工し、館内外で情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報検索や地域インデックスにおける各種県内情報等の発信がある。館外では、博物館ホームページにおける情報発信や、その中での収蔵資料・図書情報・レファレンスデータ検索がある。

■ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。そして、インターネットへは情報処理室から隣接する総合教育センターを経由して接続されている。館内におけるセキュリティは、山梨県情報セキュリティに準じている。

(3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日より現ホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等を公開しているほか、随時ページの増設、更新を行っている。

【ホームページの主な更新履歴】

平成25年11月25日 アクセス数65万件を突破。

平成26年1月2日 ホームページのデザインを一部リニューアル

「収蔵資料案内」ページの更新：収蔵資料・図書・レファレンスの検索を行うことができるページを、随時更新している。

検索可能件数（平成25年3月現在）

- ・収蔵資料 84,281件
- ・図書類 40,971件
- ・レファレンス 442件



QRコード
携帯電話で読み取ると、
県立博物館の携帯電話用
ホームページにアクセス
できます。

PC向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>

アクセス件数（アクセスカウンタによる数値）

年 月	件数/月	1日平均	昨年度件数
平成25年4月	6,444	215	7,974
5月	7,464	241	7,568
6月	8,948	298	6,586
7月	11,179	361	7,694
8月	13,345	430	10,770
9月	5,637	188	6,957
10月	6,603	213	7,375
11月	6,641	221	6,816
12月	3,145	101	4,376
平成26年1月	4,748	153	6,371
2月	3,252	116	6,258
3月	6,592	213	7,080
合 計	83,998	230	85,825

第8章 県民参画

(1) NPOとの連携

平成25年度、県立博物館では前年度に引き続き、NPO法人との協働による県民参画事業として、「かいじあむ検定」及び「通信簿ツアー」を実施した。

「かいじあむ検定」は、企画展・シンボル展の開催に合わせて実施し、クイズに答えながら展示の見どころを楽しんでいただくクイズラリー形式の事業が定着している。平成25年度は、「山梨の近代人物と鉄道」展及び「山梨の名宝」展に際し、展示をめぐるクイズラリーと組み合わせて、展示にゆかりのある地域を訪ねるツアーを実施し、県立博物館と県内各地の史跡や文化財とを結びつけることをめざした。

また、上記の企画展を広く紹介するため、山梨県立図書館及び甲府市立図書館の会場を使用して、展示内容をパネルで紹介するミニ展示を実施し、県立博物館への誘導を図った。このうち、山梨県立図書館では初めての実施である。

なお、「通信簿ツアー」の詳細は第Ⅰ編第2章を参照されたい。

①かいじあむ検定

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成25年8月3日(土)	山梨鉄道遺産ツアー	県立博物館 JR勝沼ぶどう郷駅周辺	230人
平成25年8月6日(火)から 同年8月18日(日)まで	「やまなしの近代人物と鉄道」ミニ展示	山梨県立図書館	205人
平成25年10月8日(火)から 同年10月20日(日)まで	「山梨の名宝」ミニ展示	甲府市立図書館	225人
平成25年11月9日(土)	山梨の名宝をめぐるツアー	県立博物館 山梨市内	171人
参加者数合計			831人

②通信簿ツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成25年8月7日(水)	通信簿ツアー(教員対象)	県立博物館	18人
平成25年8月18日(日)	通信簿ツアー(一般来館者対象)	県立博物館	210人
平成25年11月20日(水)	通信簿ツアー(一般来館者対象)	県立博物館	240人
参加者数合計			468人

※委託先のNPOについては、平成25年6月19日(水)に県民参画(NPO委託)事業審査会を開催し、その結果、両事業ともNPO法人「つなぐ」に委託することとなった。



平成25年8月3日(土)実施の「山梨鉄道遺産ツアー」の様子。JR勝沼ぶどう郷駅周辺に遺る明治時代の鉄道遺産を訪ねてクイズラリーを行った。



平成25年11月9日(土)に実施した「山梨の名宝をめぐるツアー」の様子。「山梨の名宝」展をクイズラリー形式で巡るとともに、国宝清白寺仏殿ほか山梨市内の史跡や文化財を訪ねるツアーを行った。

(2) 博物館協力会（ボランティア）との連携

当館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館会の協力員によるものである。会員数は若干の変動はあるが60名ほどであり、館の主催する様々な活動を支援してきた。

県立博物館協力会の主たる活動は次の通りである。

- ・ 来館者への展示ガイド、及び体験型展示の利用の補助。
- ・ 館蔵の図書、資料、写真などの整理。
- ・ ミュージアムショップの運営。
- ・ 館が行うイベントなどの補助や畠など野外施設の管理。
- ・ 広報物発送の補助
- ・ 協力会企画のイベントの実施

これまで会員数が70～80名で推移していたことを考えると、人数が減少傾向にあり、今後、会員増が大きな課題である。

■平成25年度の協力会の主な活動

- 平成25年 4月13日（土）・14日（日） 歴史ウォーキング（博物館近辺の史跡探訪）
- 6月 1日（土） 第1回 運営委員会
- 6月15日（土） 協力会総会（平成24年度事業・決算の報告、25年度事業・予算の決定）
- 7月19日（金） 第2回 運営委員会
- 9月19日（木）～20日（金） 第1回研修旅行（福島県 会津若松方面）
- 10月28日（月） 第3回 運営委員会
- 12月 3日（火） 第2回研修旅行（千葉県 国立歴史民族博物館）
- 平成26年 3月12日（水） 協力会だより第5号発行

その他、常時実施したのは次の活動である。

- ・ ショップ運営…ミュージアムショップ当番
- ・ 資料整理補助…「斎藤家資料」の資料専用封筒詰め、ナンバリング、目録のパソコン入力等の作業
- ・ イベント補助…年4回のお祭りイベント、月1回の子ども工房、その他不定期イベントの補助
- ・ お庭ガイド講師…毎月第3土曜日開催「ボランティアによるお庭の見どころガイド」の講師



平成25年11月20日（水・県民の日）「かいじあむの秋祭り」へのイベント補助として、お客さんに芋煮汁をふるまっているところ。



平成25年12月3日（火）に実施された第2回研修旅行で訪れた千葉県・国立歴史民俗博物館の玄関にての集合写真。

(3) かいじあむ みんなの研究

県立博物館では、平成24年12月25日に策定した開館6周年年度目から10周年年度目までの評価制度において、新たに「県民参画による調査・研究が行われているか？」を評価項目に加えた。この実現のため、平成25年度から新規に実施した事業が「かいじあむ みんなの研究」（以下「みんなの研究」という）である。

みんなの研究では、県民のみなさんが、学芸員の支援を受けながら、山梨の歴史や文化に関する調査や研究に自ら取り組み、その成果を県立博物館で発表することをめざしている。

研究テーマは、①「山梨の自然と人」という当館の基本テーマに合っていること、②実現性が高いこと、などの条件に合った応募テーマの中から、みんなでつくる博物館協議会における審査を経て決定する。そして、決定したテーマの実施者は、担当学芸員のアドバイスを受けながら、2年間かけて研究成果をまとめる。

平成25年度は、平成26年1月2日（木）から同年3月3日（月）まで開催した特別イベント「かいじあむ交流広場」の開催期間中に研究テーマを募集した。今後、平成26年度に審査を行って研究テーマを決定し、平成26年度及び同27年度の2年間にわたって、調査・研究を実施する予定である。

第9章 組織・人員

(1) 職員の資質向上

① 展示交流員研修一覧

日 時	内 容
平成25年4月中	新任交流員に対し博物館業務の研修を随時実施
平成25年9月13日（金）	①自衛防災訓練を行い、安全・安心の確保に努めるなど 幅広い研修を実施 ②常設展スルーガイドの仕方研修を実施

(2) 第三者委員会

① 山梨県立博物館運営委員会

i 運営委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

氏 名	勤 務 先 ・ 役 職 等
小澤 龍一	（財）やまなし文化学習協会山梨県生涯学習推進センター前所長 みんなでつくる博物館協議会委員長
清雲 俊元	山梨郷土研究会理事長
五味 文彦	放送大学教授 東京大学名誉教授
萩原 三雄	帝京大学教授 帝京大学文化財研究所長
早川 源	公益財団法人 山梨県総合研究所副理事長
守屋 正彦	筑波大学教授

ii 運営委員会の検討状況

■第26回運営委員会

日時：平成25年7月5日（金）

検討内容：平成26年度の企画展について

平成25年度の調査研究事業について

■第27回運営委員会

日時：平成25年11月28日（木）

検討内容：富士山世界遺産登録後の博物館のあり方について

② 山梨県立博物館資料・情報委員会

第Ⅱ編第3章1で詳述

③ みんなでつくる博物館協議会

i みんなつく委員名簿

氏名	勤務先・役職等
植松 光宏	なまよみ文庫館長
漆原 正二	山梨県農業協同中央会専務理事
小澤 龍一	(財)やまなし文化学習協会山梨県生涯学習推進センター前所長
数野 妙子	甲府市立相川小学校教諭
新海 一男	山梨県中小企業団体中央会専務理事
末木 健	中央市豊富郷土資料館館長
丹沢 良二	(株)タンザワ会長
辻 茂	甲府市立甲府南中学校元校長
出澤 忠利	(株)印傳屋上原勇七総務部長
戸田 達昭	シナプテック(株)代表
長沢 宏昌	石和温泉活性化研究会副理事長
畑 大介	山梨郷土研究会事務局長
八田 知子	ホテル八田代表
山本 育夫	特定非営利活動法人つなぐ理事長
渡辺 昭夫	前富士河口湖旅館組合組合長・現相談役

※表は平成25年9月1日(日)からの委員名簿である。なお、平成25年8月31日(土)までの委員名簿は、「平成24年度 山梨県立博物館年報」97ページを参照されたい。

ii みんなつく検討状況

■平成25年度第1回みんなつく協議会

日時：平成25年6月19日(水)

検討内容：平成25年度に開催する企画交流事業について
平成25年度に開催する企画展について
平成24年度実績について
開館10周年度に向けた新規総合評価について

■平成25年度第2回みんなつく協議会

日時：平成25年10月9日(水)

検討内容：広報活動の強化について
平成25年度実績について
平成25年度開催済みの企画展について

■平成25年度第3回みんなつく協議会

日時：平成26年2月21日(金) ※大雪のため開催中止

第10章 外部支援と連携

(1) 外部支援

■外部資金を得た調査・研究

第Ⅱ編第2章(1)で詳述

■委員等の受託

担当職員	役 職	主 管	委嘱期間
中山誠二	文部科学省学芸員関係委員	文部科学省	平成25年9月1日～ 平成26年3月31日
中山誠二	連方屋敷学術調査報告書執筆委員会委員	山梨市教育委員会	平成25年3月27日～ 事業終了
中山誠二	公益財団法人やまなみ文化基金 助成事業選考委員会委員	公益財団法人 やまなみ文化基金	平成25年2月28日～ 平成27年3月31日
西川広平	甲府市文化財調査審議会委員	甲府市教育委員会	平成24年6月1日～ 平成26年5月31日
西川広平	連方屋敷学術調査報告書執筆委員会委員	山梨市教育委員会	平成25年3月27日～ 事業終了
堀内 眞	連方屋敷学術調査報告書執筆委員会委員	山梨市教育委員会	平成25年3月27日～ 事業終了

(2) 外部との連携

昨年度、有形無形の文化財資源の保存と活用に努めるという共通の目的を持ち、博物館の相互の交流と連携を図ることを実践の貫徹を目指すため、「全国歴史民俗系博物館協議会」が設立された。

今年度は、平成25年7月11日(木)・12日(金)に第2回年次集会在横浜市歴史博物館で行われた。県立博物館は、中部ブロックに属し、平成24年度から副幹事館として務め、「災害対応」について、ブロックごとに協議が行われた。

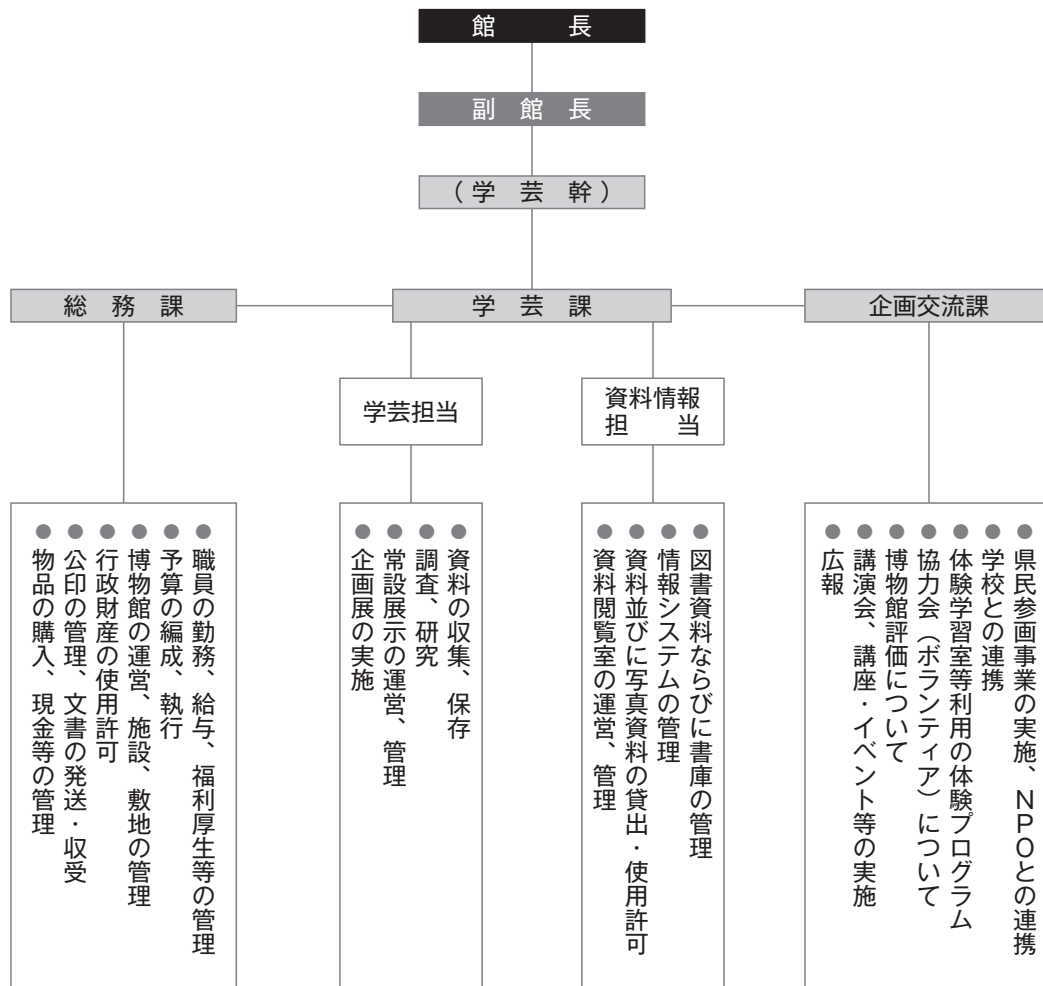
■全国歴史民俗系博物館協議会への参加

開催年月日	参加職員	場 所	内 容
平成25年7月11日(木)	中山誠二 (学芸課長)	神奈川県 横浜市歴史博物館	全国歴史民俗系博物館協議会 設立集会(第2回年次集会) ○総会 ○研究集会 ・基調講演 ・報告 ○検討会 ・各ブロックにおける災害対応

第Ⅲ編 各種資料

1 組織・職員等名簿

■ 組織図



関係委員会

運営委員会

- 博物館運営全般の専門的指導
- 企画展テーマ等に関する協議
- 共同調査、研究テーマ等に関する協議

資料・情報委員会

- 資料収集の適否の審議
- 資料・情報の収集方針の検討
- 資料・情報の活用計画検討

みんなでつくる博物館協議会

- 利用者の立場からの博物館運営の検討
- 博物館評価制度の検討

■関係委員及び職員名簿

●山梨県立博物館運営委員会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●山梨県立博物館資料・情報委員会委員

第Ⅱ編第3章(1)参照

●みんなでつくる博物館協議会

第Ⅱ編第9章(2)参照

●博物館職員 (H26.3.31現在)

館長 平川 南
副館長 中澤 卓夫
総務課
課長 河野 彰
主査 荻野 貴史
主任業務員 白倉 政富
非常勤嘱託 村松 亜紀子
非常勤嘱託 小幡 理美
非常勤嘱託 古屋 恵里佳
非常勤嘱託 片山 敬子
非常勤嘱託 天野 幸代
非常勤嘱託 松野 美波
非常勤嘱託 石川 利彦
非常勤嘱託 米岡 京子
非常勤嘱託 今福 一仁
非常勤嘱託 今宮 美香
非常勤嘱託 若木 俊一郎
非常勤嘱託 矢崎 明子
非常勤嘱託 小澤 美香
非常勤嘱託 吉田 敦子
非常勤嘱託 三森 若菜
非常勤嘱託 笠井 歩
非常勤嘱託 酒井 美奈子
臨時職員 早川 美保

学芸課

課長 中山 誠二 考古学
学芸担当
学芸員 植月 学 古環境
学芸員 近藤 暁子 美術
学芸員 小畑 茂雄 歴史
学芸員 海老沼 真治 歴史
非常勤嘱託 堀内 眞
非常勤嘱託 川崎 奈緒

資料情報担当

副主幹 外川 豊子
学芸員 丸尾 依子 民俗
非常勤嘱託 宮澤 富美恵
非常勤嘱託 郷田 敦子
非常勤嘱託 石原 宝
非常勤嘱託 原田 亜紀

企画交流課

課長 高野 玄明
副主幹・教育主事 古屋 和彦
副主幹・教育主事 川崎 剛
学芸員 沓名 貴彦 保存科学
学芸員 西川 広平 歴史
非常勤嘱託 村松 良子

2 平成25年度予算額

単位：千円

事業名	予算額	事業内容
博物館事業費	74,130	企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費
歴史資料等収集費	13,642	歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備
博物館運営費	213,796	施設管理、常設展示機器管理、非常勤職員人件費
合計	301,568	

※職員給与を除く

3 年間日誌

■主な出来事及び新聞記事から抄

- 平成25年6月15日（土） 富嶽三十六景 北斎作品並ぶ（平成25年6月16日付「山梨日日新聞」）
- 平成25年6月22日（土） 富士山が世界文化遺産に登録される（平成25年6月23日付「山梨日日新聞」ほか）
- 平成25年7月1日（月） 平川南館長 第37回野口賞（芸術・文化部門）を受賞（同日付「山梨日日新聞」）
ブラジル・ミナスジェライス州文化長官が来館、富嶽三十六景展などを視察
- 平成25年7月5日（金） 富嶽三十六景展1万人突破
- 平成25年7月20日（土） 山梨の近代人物と鉄道展開催（平成25年7月20日付「山梨日日新聞」）
- 平成25年8月5日（月） 鉄道展1万人突破（平成25年8月6日付「山梨日日新聞」）
- 平成25年8月19日（月） 鉄道展2万人突破（平成25年8月20日付「山梨日日新聞」）
- 平成25年10月19日（土） 山梨の名宝展（平成25年10月18日付「山梨日日新聞」）
- 平成26年2月9日（日） 山梨研究 学芸員が支援（同日付「山梨日日新聞」）
- 平成26年2月15日（土）～17日（月）、19日（水）
大雪のため臨時休館
- 平成26年3月21日（金） 「手塚治虫×石ノ森章太郎」展県立博物館できょう開幕
（同日付「山梨日日新聞ほか」）

平成25年度 山梨県立博物館年報

発行日 2014（平成26）年9月29日
編集・発行 山梨県立博物館
〒406-0801
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055（261）2631
印刷 港北出版印刷株式会社
